

令和7年度 こども家庭庁 主催
保育所長・主任保育士等研修の実施
及び普及・啓発一式

実績報告書

【周知・広報版】

こども家庭庁へ提出した実績報告書から内容を抜粋し、報告いたします。

令和8年3月12日
(株) ベネッセスタイルケア

1. 本事業の概要

目的・研修開催の広報・研修受講者の管理・受講者への事前・事後課題・修了証の発行

2. 研修の開催実績

研修日程（日時・場所）・受講者数及び修了者数・受講者の属性・研修内容

3. 研修開催状況

4. 受講者による研修内容の評価・改善策（アンケート等の結果）

1. 本事業の概要

■ 1-1. 本事業の目的（仕様書より）

「保育政策の新たな方向性」に基づき、人口減少に対応しながら、こどもまんなか社会の実現を図るため、保育政策について、今後は、待機児童対策を中心とした「保育の量の拡大」から、「地域のニーズに対応した質の高い保育の確保・充実」と、「全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援する取組の推進」に政策の軸を転換。

あわせて「保育人材の確保・テクノロジーの活用等による業務改善」を強力に進め、制度の持続可能性を確保していくこととなった。

その中で保育人材の育成や保育の質の確保・向上のための地域における体制の整備を進め、保育の質の確保・向上を図ることが取り組みの方向性として示されている。

本事業では、保育所、幼保連携型認定こども園及び地域型保育事業（以下「保育所等」という。）の長を対象に、最新の保育施策の動向や、保育所等の運営・管理における課題等について学ぶための研修を実施するとともに、主任保育士及び実習指導を行う保育士を対象に、最新の保育施策の動向や関係法令、保育所等の運営における課題への対応等を学ぶための研修を実施し、研修により得られた知見を広く公表し、保育所等の運営に係る課題や解決策等について周知・広報を図る。

■ 1-2. 研修会開催の広報

- (1) こども家庭庁より、47都道府県及び市区町村に、メールで実施要項の送付を行っていただきました。
- (2) 47都道府県及び1,741市区町村に7月に実施概要を送付し、管下の市区町村・保育所等への周知を依頼しました。
- (3) 専用Webサイトを作成し、かつ、プレスリリースや弊社のSNS等を活用し、広報・周知しました。

■ 1-3. 研修受講者の管理

本事業の遂行にあたり、以下の場合に必要となる研修受講者の情報については、「個人情報保護方針」を遵守し、使用及び管理しました。

- ・申込専用Webサイトにて各研修の申込受付
- ・eラーニングシステムの個人ごとのログインIDおよび受講管理
- ・Zoomミーティングへの入室確認・管理
- ・お問合せフォームでの対応・管理

■ 1-4. 受講者への事前・事後課題

受講者に対して、各研修内容に即した選択項目を事前に課し、また、事後課題については、各科目別に選択項目や記述式課題等を課し、参加する研修内容の事前知識を把握するとともに、事後に記載された項目との比較や、研修会の効果測定、内容や実施方法等のニーズを把握・分析するため行いました。

■ 1-5. 修了証の発行

3日間の研修を受講し、さらに事前・事後課題を期間内に提出した方に発行いたしました。修了者リストについては、別途データにて提出いたします。

2. 研修の開催実績

全研修日程において、申込者数4,658人、修了証発行者数 3,030人となりました。詳細以下ご確認ください。

■ 2-1. 研修日程・受講者数について（所長等研修等）

| 研修名 | 中堅保育所長等研修 | 初任保育所長等研修 | | | | 初任保育所長等 (就任予定者) 研修 |
|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| コース名 | 【1-1】 | 【2-1】 | 【2-2】 | 【2-3】 | 【2-4】 | 【3-1】 |
| 定員数 | 400 | 200 | 400 | 400 | 400 | 300 |
| 開催種別 | オンライン | 集合 | オンライン | オンライン | オンライン | オンライン |
| 日程 | 12月11日(木) 12月17日(水) 12月22日(月) | 10月14日(火) 10月24日(金) 11月13日(木) | 11月4日(火) 12月1日(月) 2月10日(火) | 12月8日(月) 1月13日(火) 2月19日(木) | 1月20日(火) 1月22日(木) 1月31日(土) | 10月20日(月) 10月21日(火) 10月29日(水) |
| 申込者数 | 445 | 176 | 570 | 497 | 285 | 270 |
| テキスト購入希望 | | 65 | | | | |
| 非該当者数 | 24 | 13 | 123 | 37 | 23 | 95 |
| 受講決定前 キャンセル | 12 | 10 | 26 | 15 | 10 | 9 |
| 受講決定者数 | 409 | 153 | 421 | 445 | 252 | 166 |
| テキスト購入者 | | 50 | | | | |
| 開催前キャンセル | 40 | 3 | 33 | 19 | 24 | 3 |
| 開催後キャンセル ※時間不足等含 | 68 | 8 | 94 | 54 | 32 | 16 |
| 事後課題未提出者 | | 1 | 1 | 1 | | |
| 修了証発行者数 | 301 | 141 | 293 | 371 | 196 | 147 |

■ 2-1. 研修日程・受講者数について（主任保育士・実習指導等）

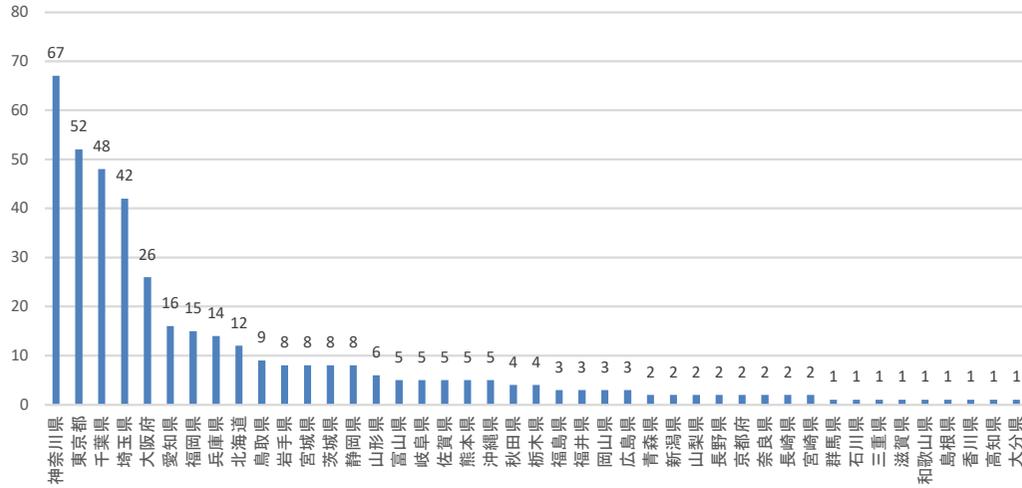
| 研修名 | 初任主任保育士研修 | | | 中堅主任保育士研修 | | 保育所等 実習指導研修 |
|---------------------|----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| コース名 | 【4-1】 | 【4-2】 | 【4-3】 | 【5-1】 | 【5-2】 | 【6-1】 |
| 定員数 | 200 | 400 | 400 | 150 | 400 | 300 |
| 開催種別 | 集合 | オンライン | オンライン | 集合 | オンライン | オンライン |
| 日程 | 12月2日（火） 12月3日（水） 12月9日（火） | 11月26日（水） 11月27日（木） 12月18日（木） | 1月14日（水） 1月29日（木） 2月4日（水） | 9月10日（水） 9月16日（火） 9月17日（水） | 10月28日（火） 11月7日（金） 11月11日（火） | 1月16日（金） 2月5日（木） 2月16日（月） |
| 申込者数 | 176 | 661 | 621 | 102 | 557 | 298 |
| テキスト購入希望 | 60 | | | 46 | | |
| 非該当者数* | 8 | 200 | 154 | 11 | 121 | 10 |
| 受講決定前 キャンセル | 8 | 17 | 8 | 2 | 12 | 4 |
| 受講決定者数 | 160 | 444 | 459 | 89 | 424 | 284 |
| テキスト購入者 | 48 | | | 38 | | |
| 開催前キャンセル | 8 | 36 | 15 | 6 | 22 | 13 |
| 開催後キャンセル ※時間不足等含 | 7 | 41 | 38 | 1 | 55 | 36 |
| 事後課題未提出者 | | | | | | 1 |
| 修了証発行者数 | 145 | 367 | 406 | 82 | 347 | 234 |

【2-1. 全体の受講状況・課題点等】 *非該当数には抽選で選外となった方を含みます

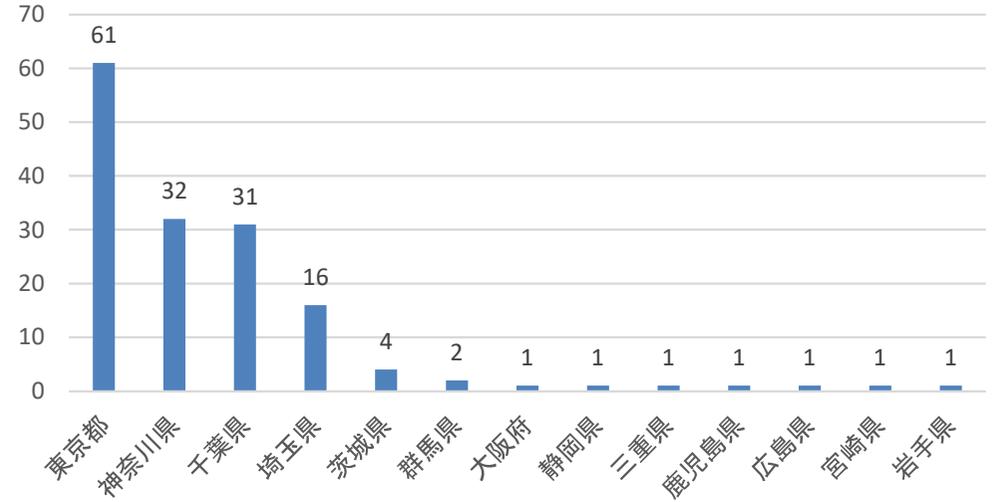
- ・複数回ある研修については、日程の都合や体調不良などでキャンセルになった際に次回の研修の申込ができるように日程を設定していた事が好評でした。
- ・キャンセル者（開催前・開催後）については、園の体制が整わない為やご自身やお子様の体調不良等が多く、3日間受講できないため、全日程キャンセルとなる方も約2～3割いらっしゃいました。
- ・キャンセル者の中でeラーニングシステムに事前課題未提出やオンライン登録の未登録者へ1週間前に連絡したところ、多忙につき、事前課題ができないので、キャンセルしたいなどの連絡があり、当日までの流れについては、資料公開等の基準緩和等検討が必要と考えています。

2-2. 受講者の属性：勤務地域別都道府県（保育所長等研修）※受講決定者（単位：人）

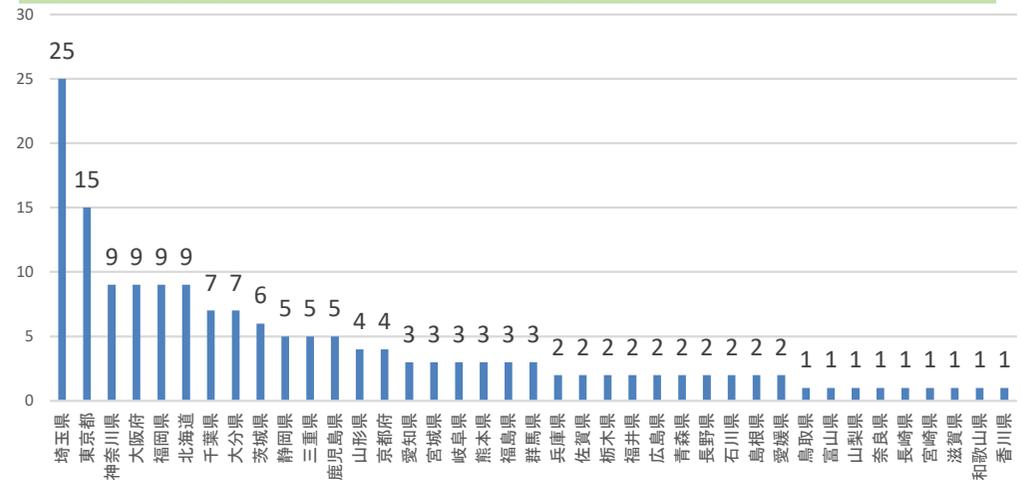
中堅保育所長等研修<オンライン型>



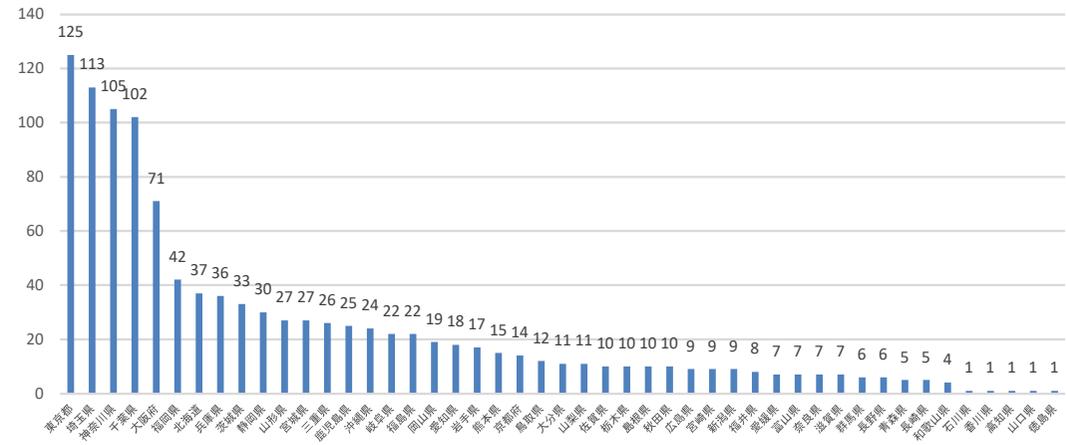
初任保育所長等研修<集合型>



初任保育所長等研修（就任予定者）研修<オンライン型>

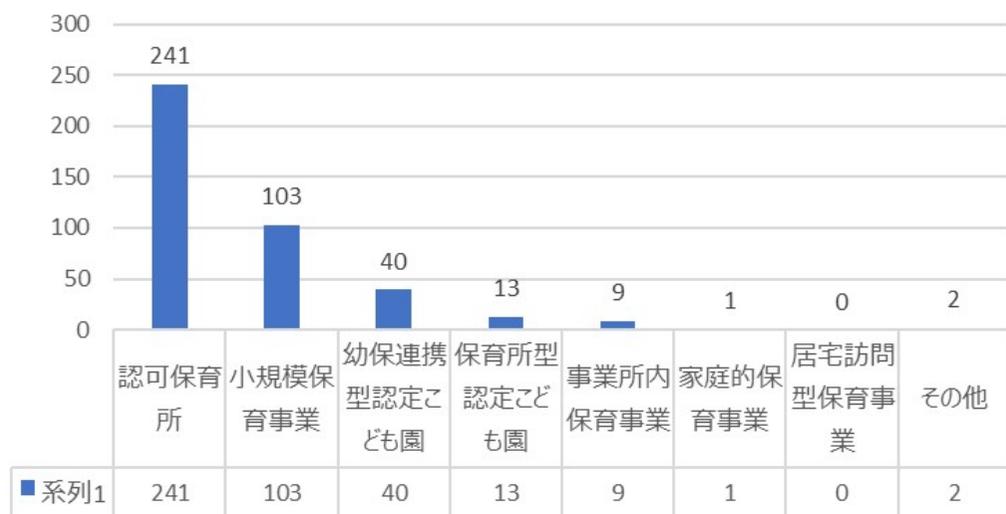


初任保育所長等研修<オンライン型>全3回合計人数

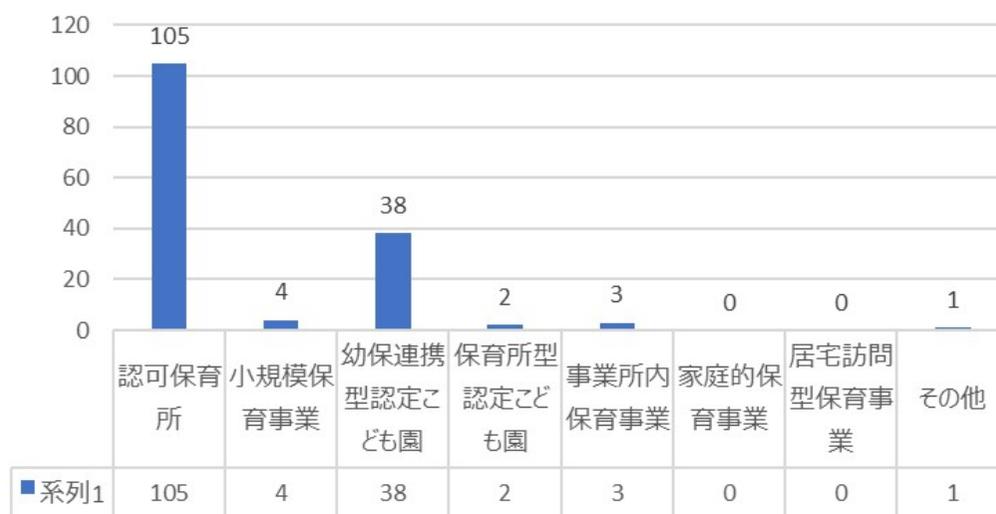


■ 2-3. 受講者の属性：勤務先施設類型（保育所長等研修） ※受講決定者（単位：人）

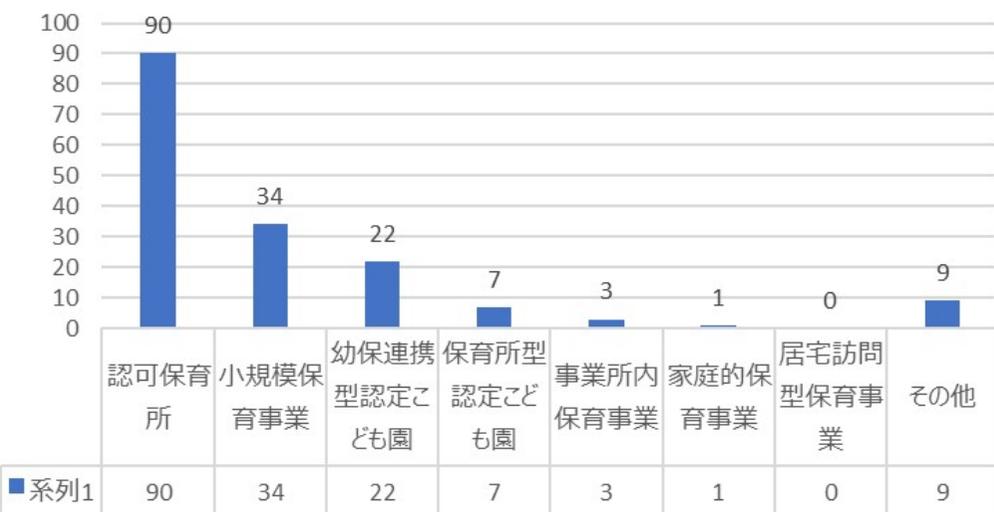
● 中堅保育所長等研修<オンライン型>



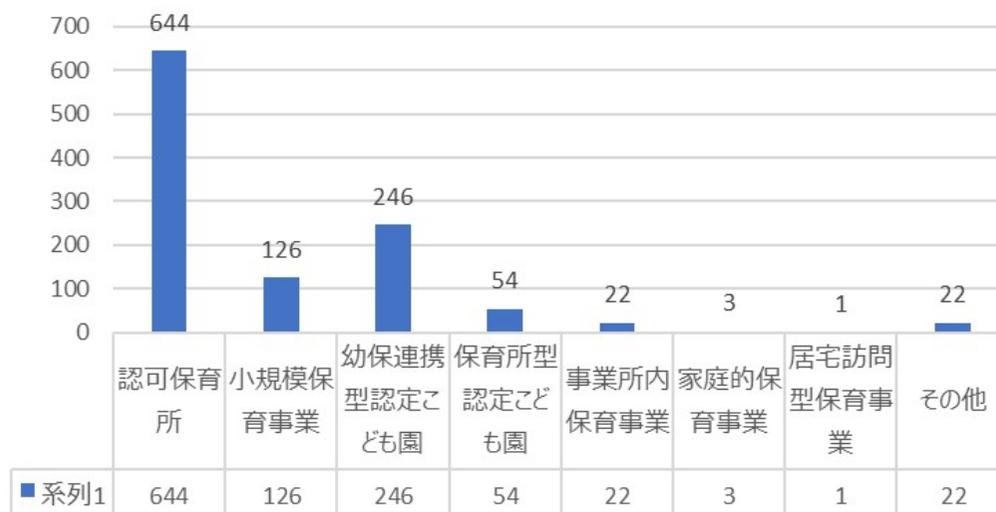
● 初任保育所長等研修<集合型>



● 初任保育所長等研修（就任予定者）研修<オンライン型>

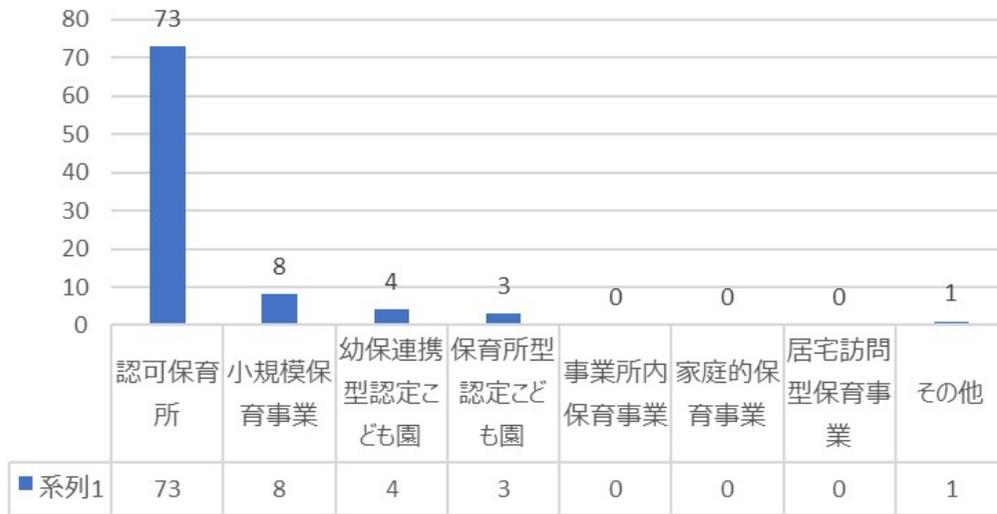


● 初任保育所長等研修<オンライン型>全3回合計人数

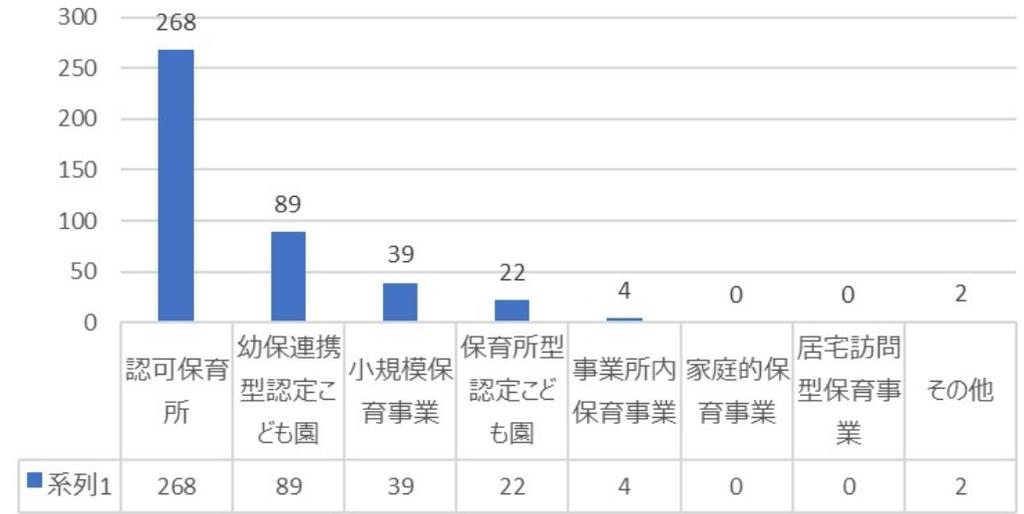


■ 2-3. 受講者の属性：勤務先施設類型（主任保育士等研修） ※受講決定者（単位：人）

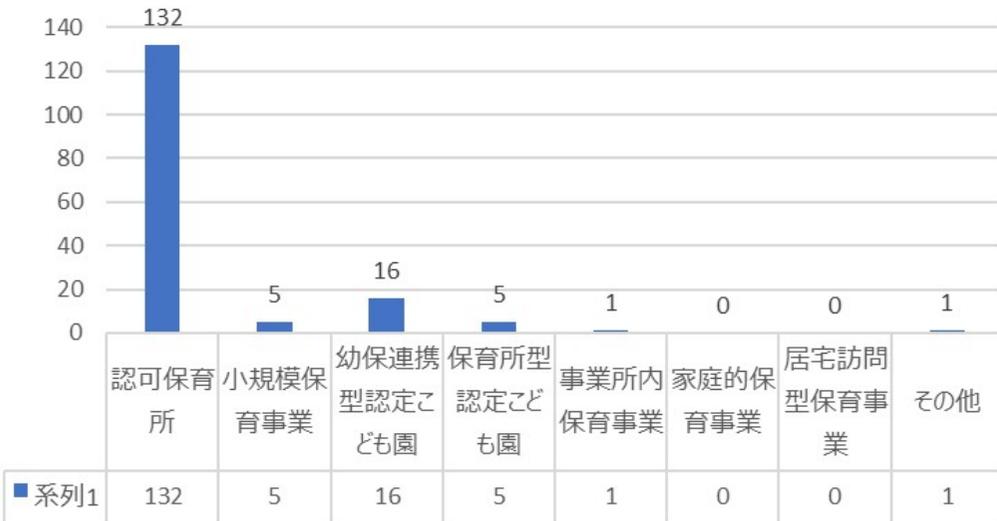
● 中堅主任保育士研修＜集合型＞



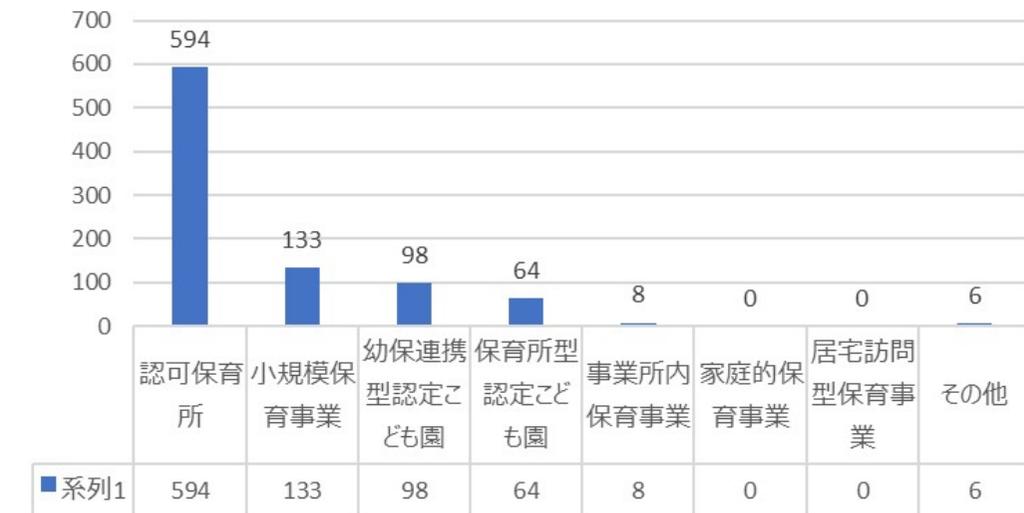
● 中堅主任保育士研修＜オンライン型＞



● 初任主任保育士研修＜集合型＞



● 初任主任保育士研修＜オンライン型＞全2回合計人数



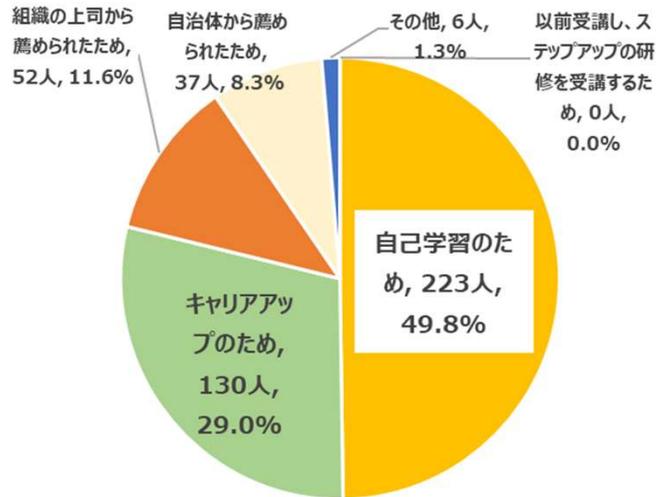
【2-3. 受講者の勤務先施設類型についての考察・所感】

○ 所長、主任とも認可保育所の受講者が圧倒的に多く、TOPとなりました。中堅主任保育士を除き、小規模保育事業と保育所等認定こども園が属性により順位はそれぞれ違うものの2位と3位となりました。

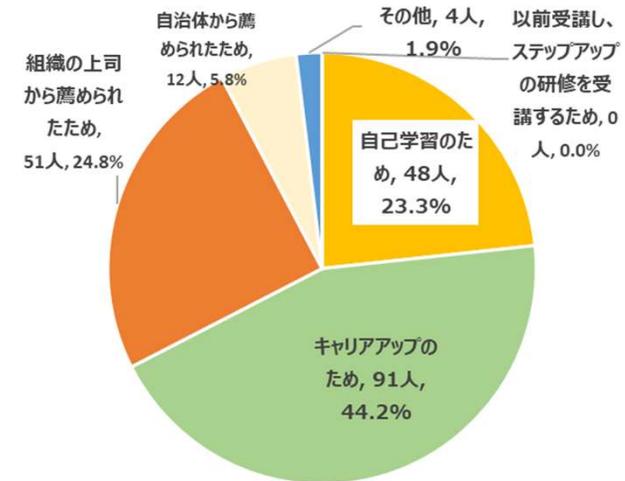
○ 主任研修では中堅主任保育士等研修のみ、幼保連携型こども園からの受講者が2位となりました。

■ 2-4. 受講者の属性：研修受講理由（保育所長等研修）※修了者、複数選択

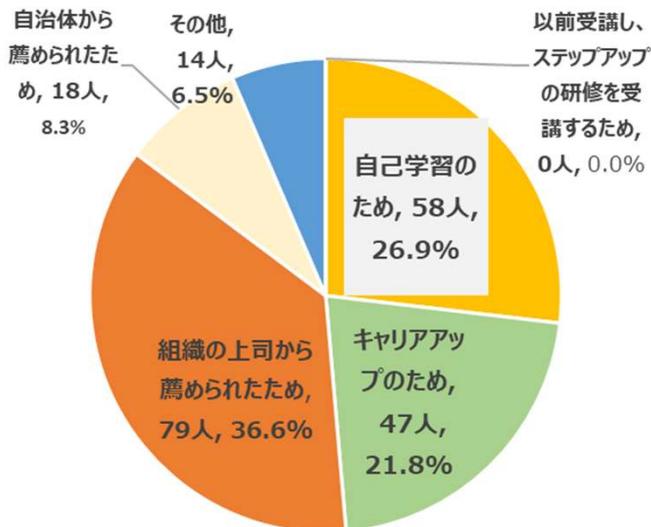
●中堅保育所長等研修<オンライン型>



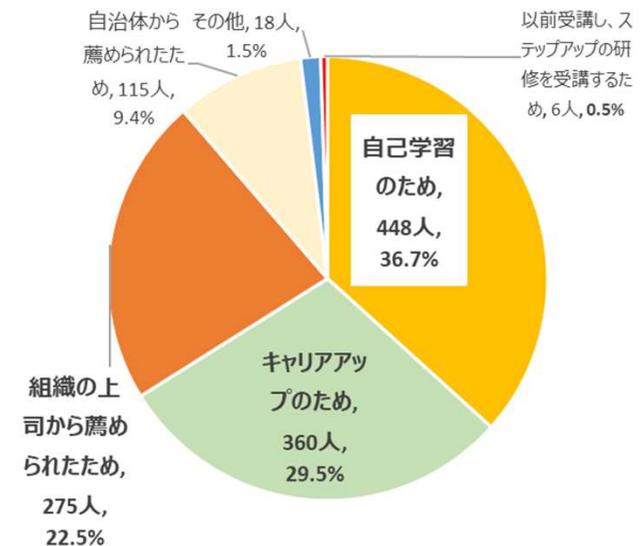
●初任保育所長等研修<集合型>



●初任保育所長等研修（就任予定者）研修<オンライン型>

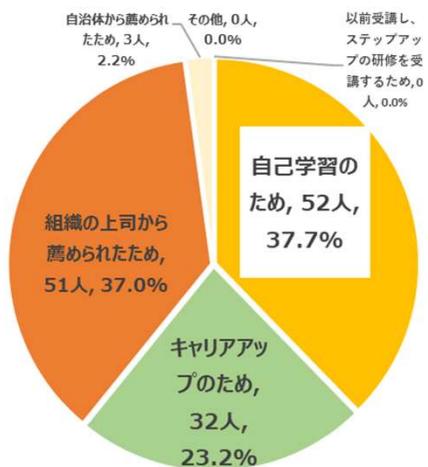


●初任保育所長等研修<オンライン型>全3回合計人数

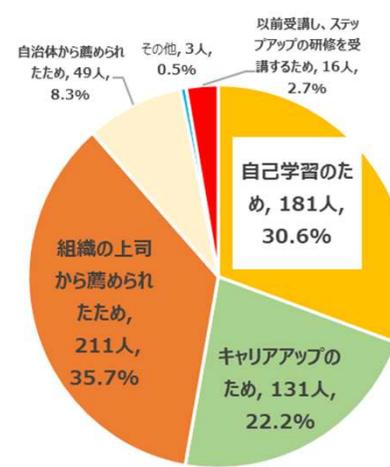


■ 2-4. 受講者の属性：研修受講理由（主任保育士・実習指導等研修） ※修了者、複数選択

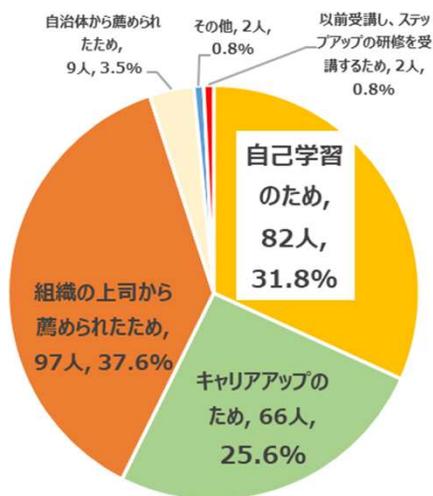
● 中堅主任保育士研修<集合型>



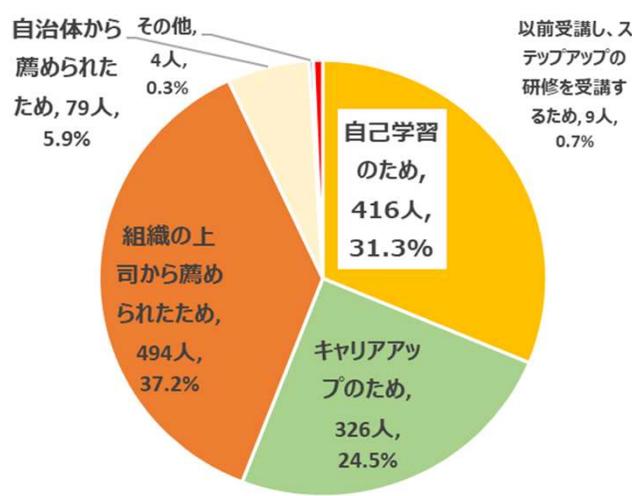
● 中堅主任保育士研修<オンライン型>



● 初任主任保育士研修<集合型>

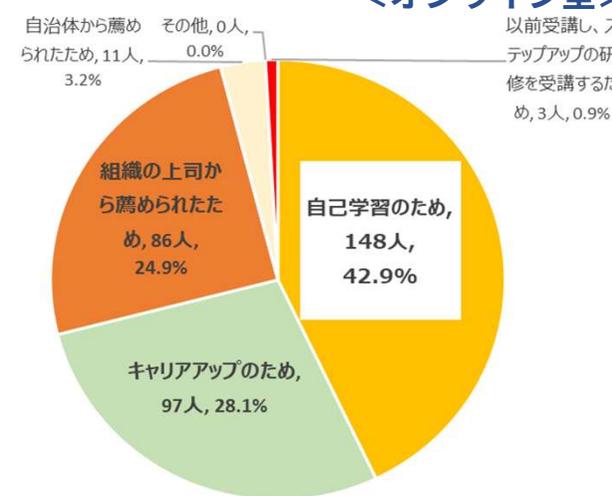


● 初任主任保育士研修<オンライン型>全2回合計人数



● 保育所等実習指導研修

<オンライン型>



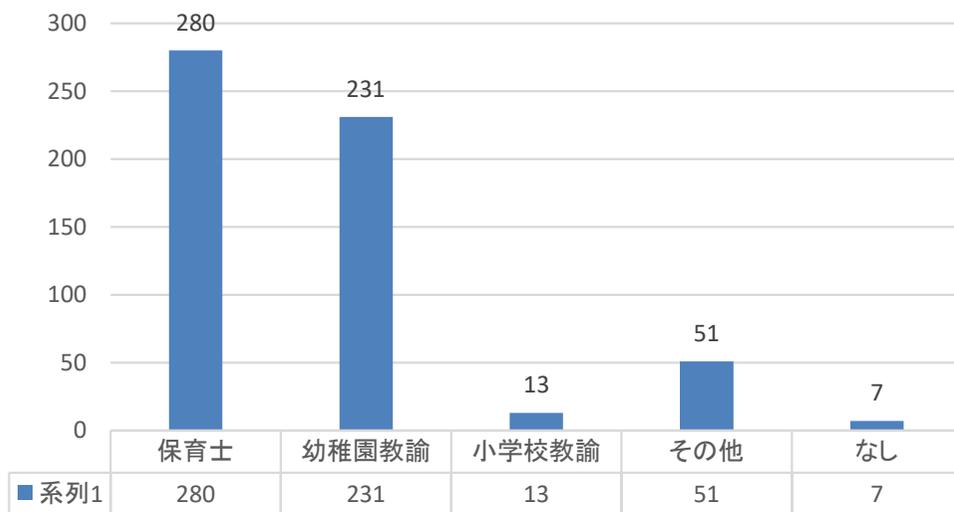
【 2-4. 研修受講理由についての考察・所感】

○中堅保育所長は、自己学習およびキャリアアップのためが78.8%と大部分を占めたのに対し、初任保育所長は、自己学習およびキャリアアップのためはそれぞれ67.5%と66.2%と10%程度低くなりました。その分組織の上司からおよび自治体から薦められたため、30.6%と31.9%と中堅所長の19.9%と比べると10%程度高くなっており、就任予定者は、自己学習およびキャリアアップのためが48.7%、組織の上司からおよび自治体から薦められたため44.9%とほぼ同割合となりました。

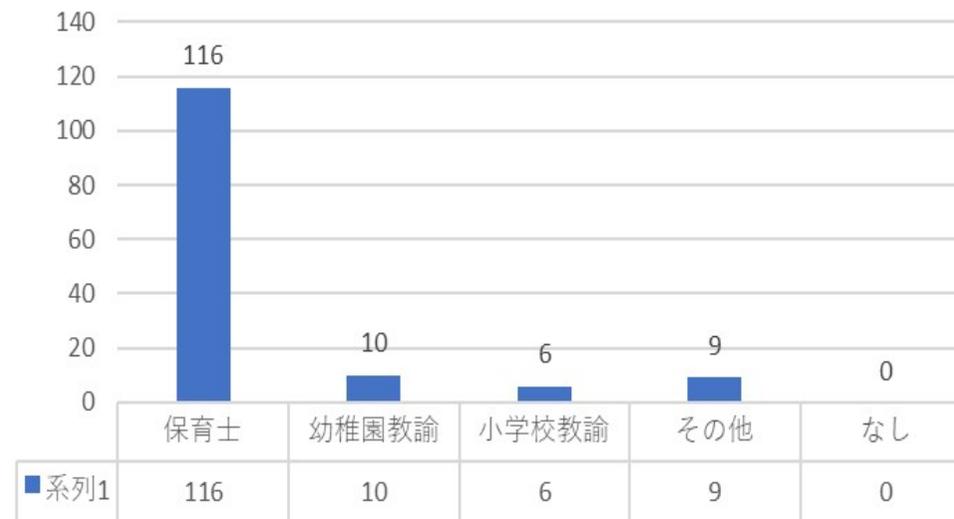
○主任は、中堅・初任とも組織の上司から薦められたためがいずれも40%近くとなっております。実習指導に関しては自己学習およびキャリアアップのためが71%となっております。

■ 2-5. 受講者の属性：保有している資格（保育所長等研修）※修了者、複数選択（単位：人）

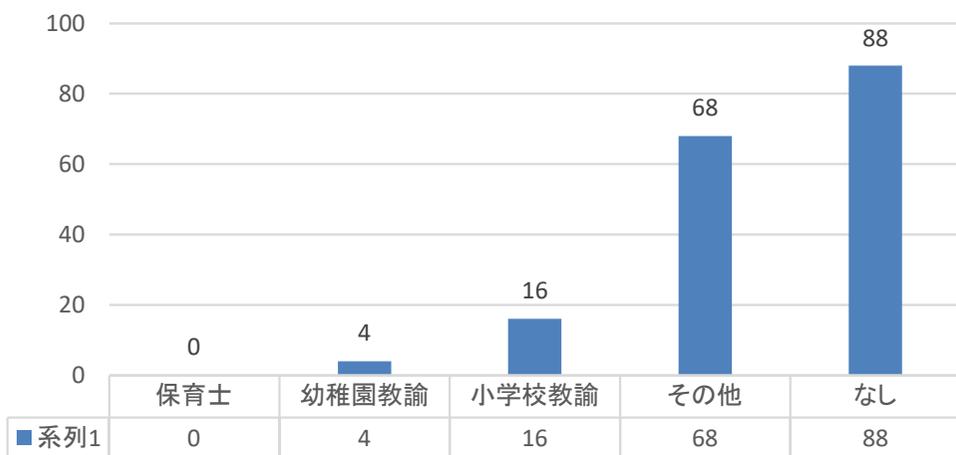
● 中堅保育所長等研修<オンライン型>



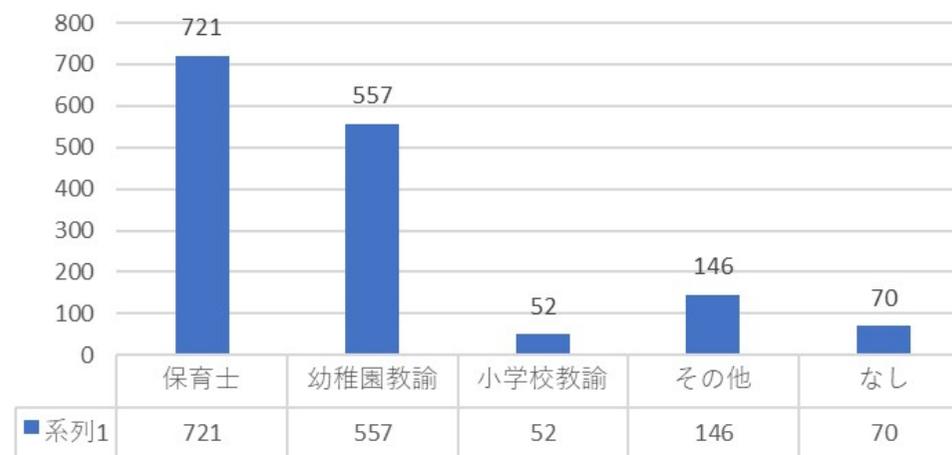
● 初任保育所長等研修<集合型>



● 初任保育所長等研修（就任予定者）研修<オンライン型>

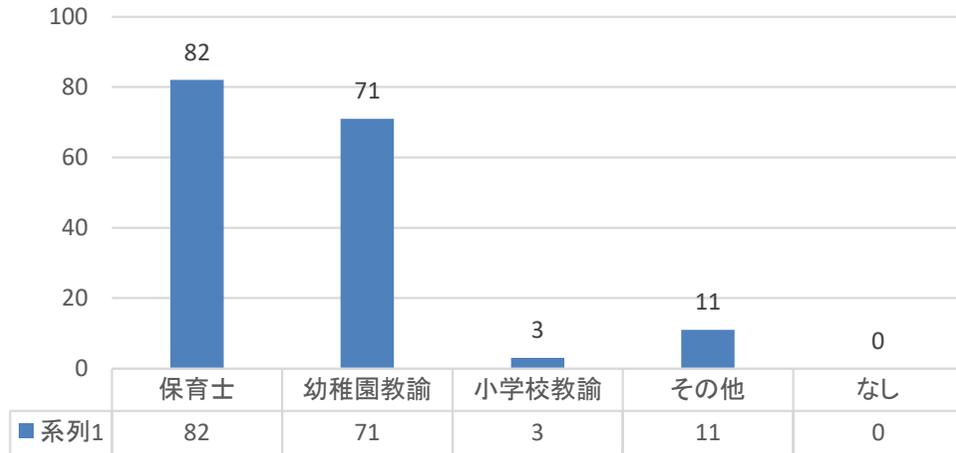


● 初任保育所長等研修<オンライン型>

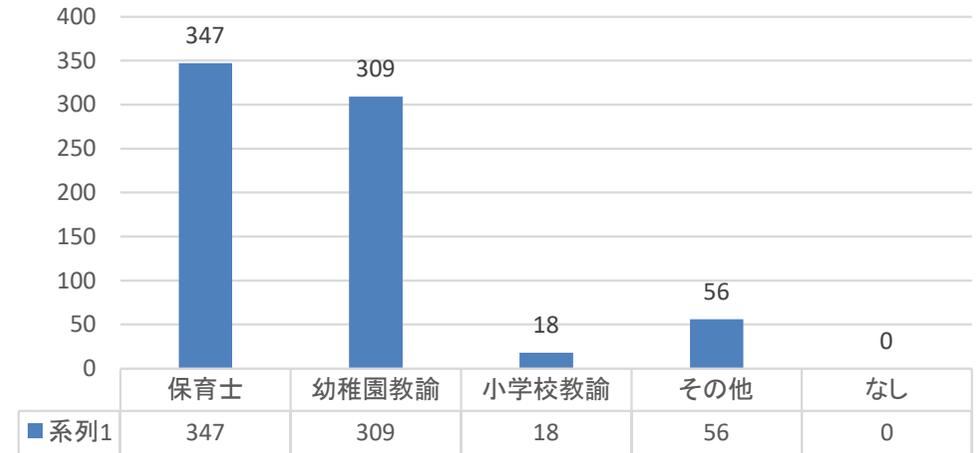


■ 2-5. 受講者の属性：保有している資格（主任保育士等研修） ※修了者、複数選択（単位：人）

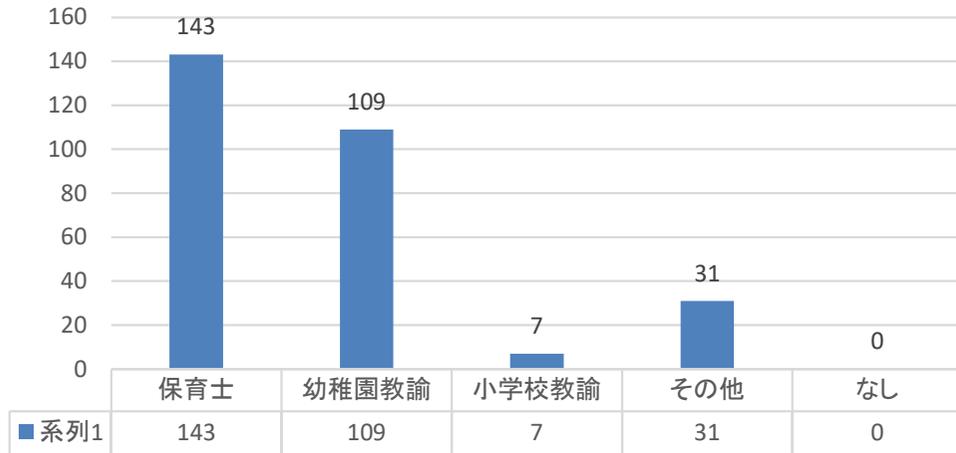
● 中堅主任保育士研修＜集合型＞



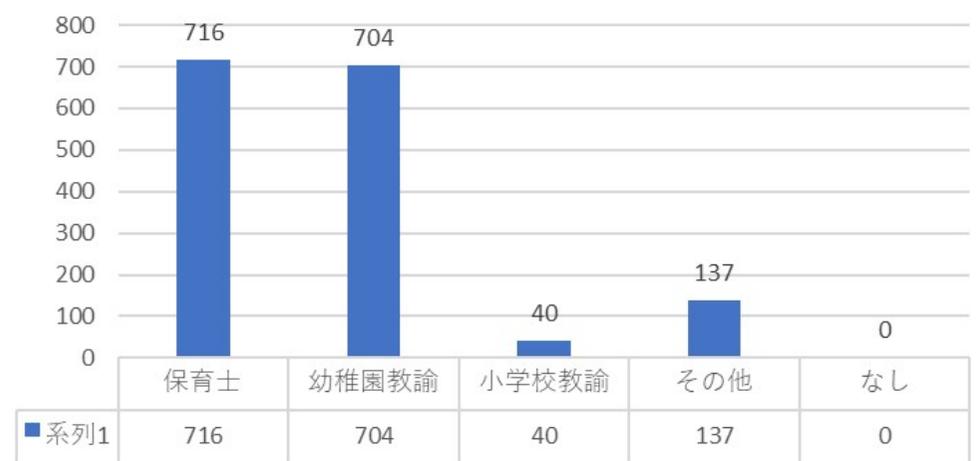
● 中堅主任保育士研修＜オンライン型＞



● 初任主任保育士研修＜集合型＞



● 初任主任保育士研修＜オンライン型＞



【2-5. 保有している資格についての考察・所感】 ※複数選択

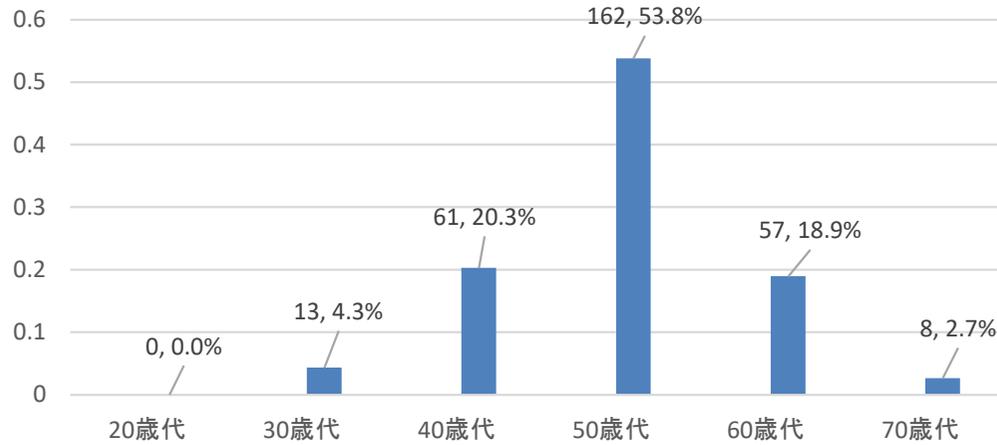
○所長・主任ともに保育士と幼稚園教諭を保有されている方が多くいらっしゃいました。所長等研修に関しては数は少ないものの資格なしの方がいらっしゃいました。

○就任予定者は、資格なしの方が比較的多くいらっしゃいました。

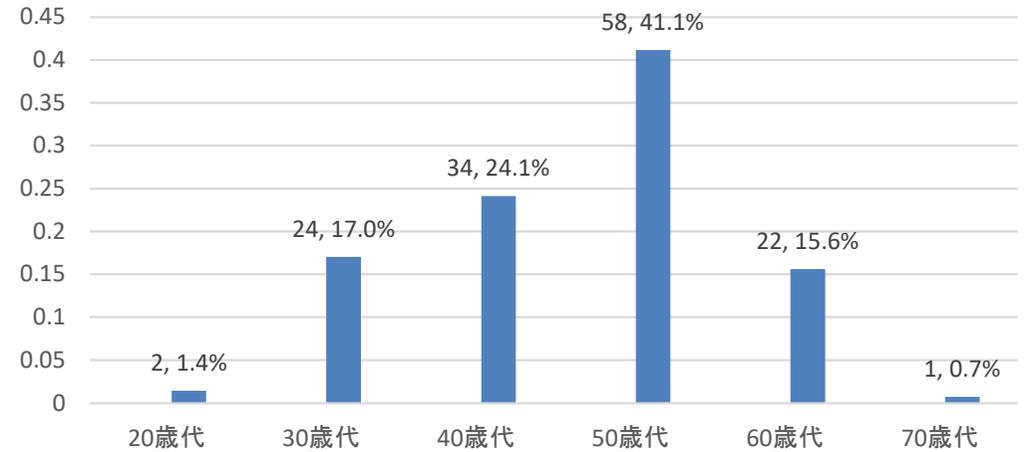
○その他は、中学校教諭、高校教諭、社会福祉任用主事、子育て支援員、介護福祉士、ヘルパー2級、看護師、栄養士、放課後児童指導員等になります。

■ 2-6. 受講者の属性：年齢（保育所長等研修）※修了者（単位：人）

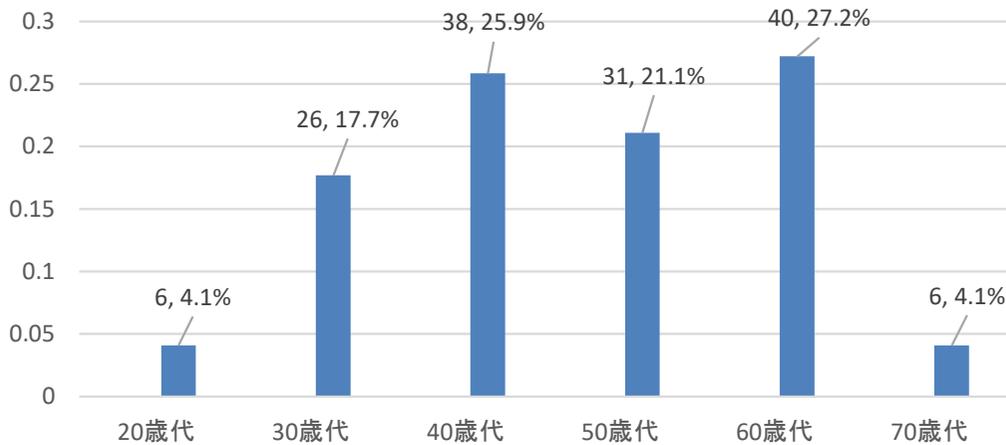
● 中堅保育所長等研修 <オンライン型>



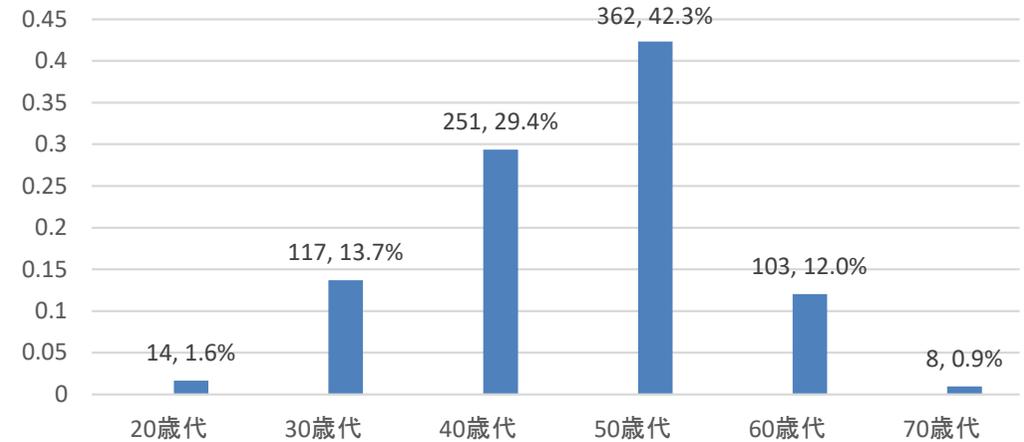
● 初任保育所長等研修<集合型>



● 初任保育所長等（就任予定者）研修<オンライン型>

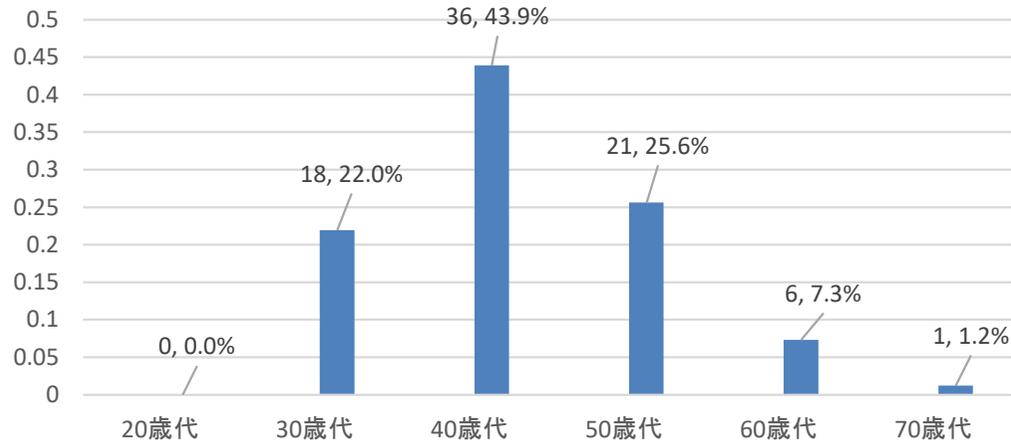


● 初任保育所長等研修<オンライン型>

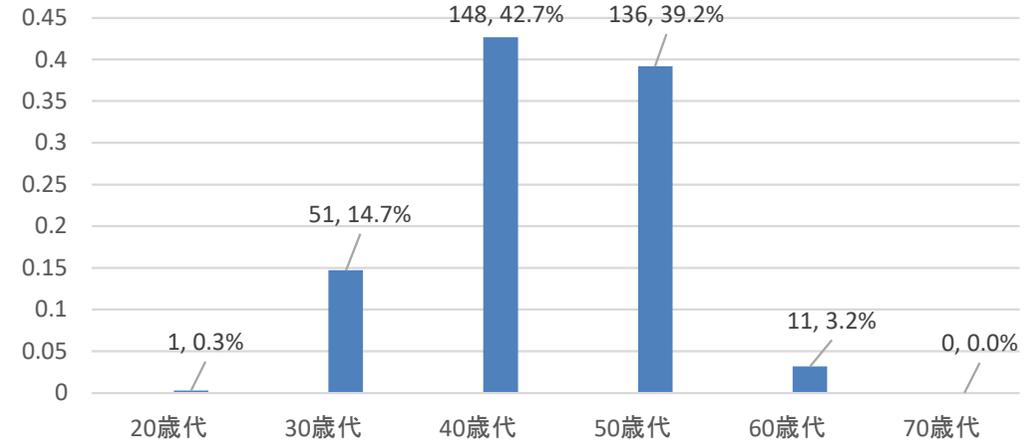


■ 2-6. 受講者の属性：年齢（主任保育士・実習指導等研修） ※修了者（単位：人）

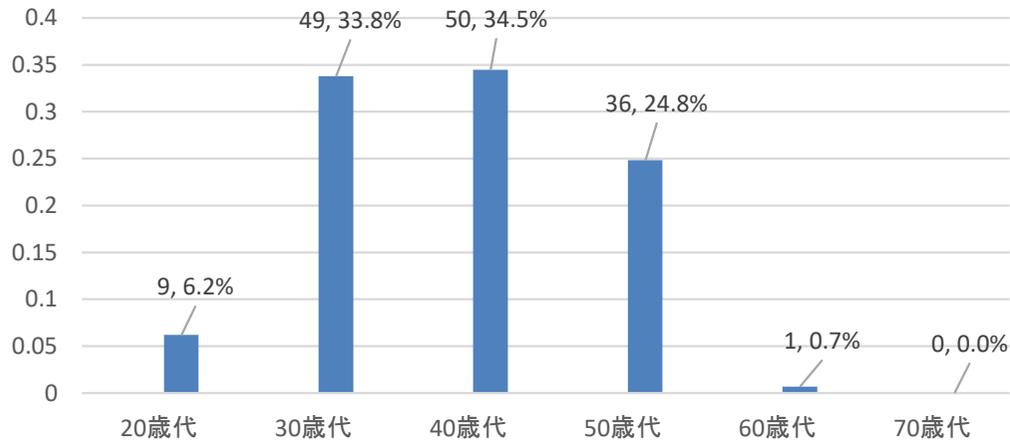
● 中堅主任保育士研修＜集合型＞



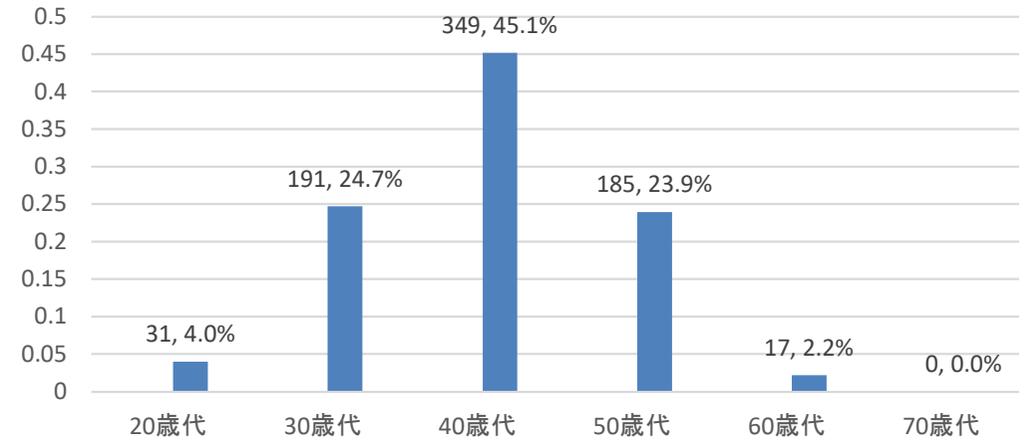
● 中堅主任保育士研修＜オンライン型＞



● 初任主任保育士研修＜集合型＞



● 初任主任保育士研修＜オンライン型＞



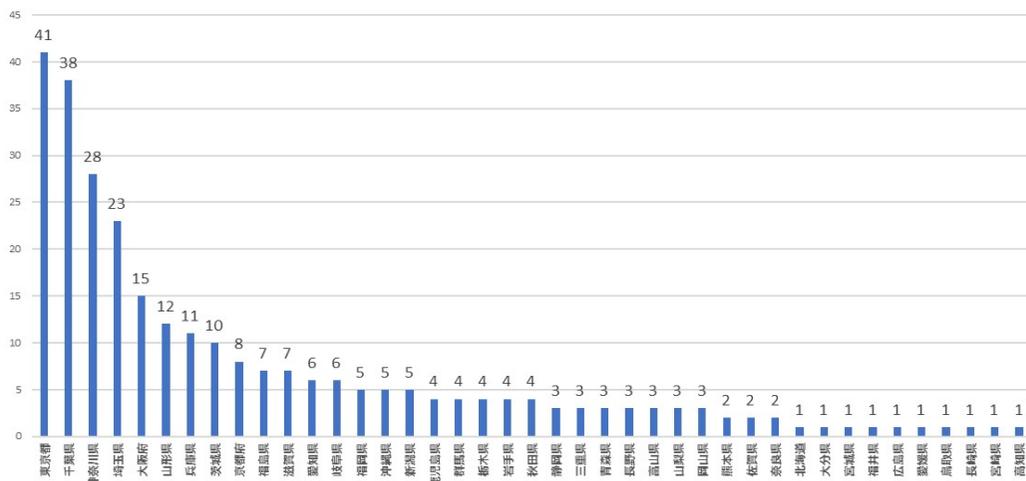
【2-6. 受講者の年齢についての考察・所感】

○年齢については、中堅所長、初任所長ともに50歳代がTOP、続いて40歳代、30歳代となりました。就任予定者は60歳代がTOPで続いて40歳代、50歳代となりました。

○主任に関しては、40歳代がいずれもTOPで、中堅は続いて50歳代、30歳代、初任は続いて30歳代、50歳代となりました。

2-2.3.5.6. 受講者の属性（保育所等実習指導研修）※受講決定者および修了者（単位：人）

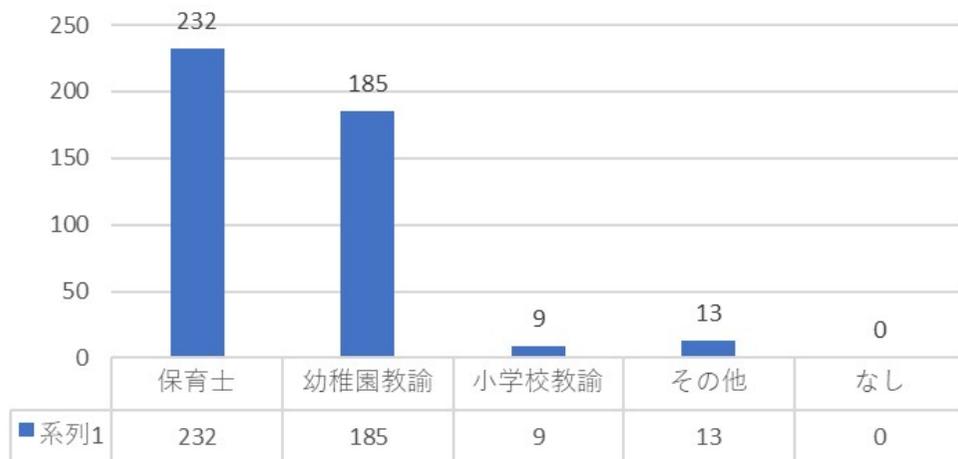
●勤務地域別都道府県



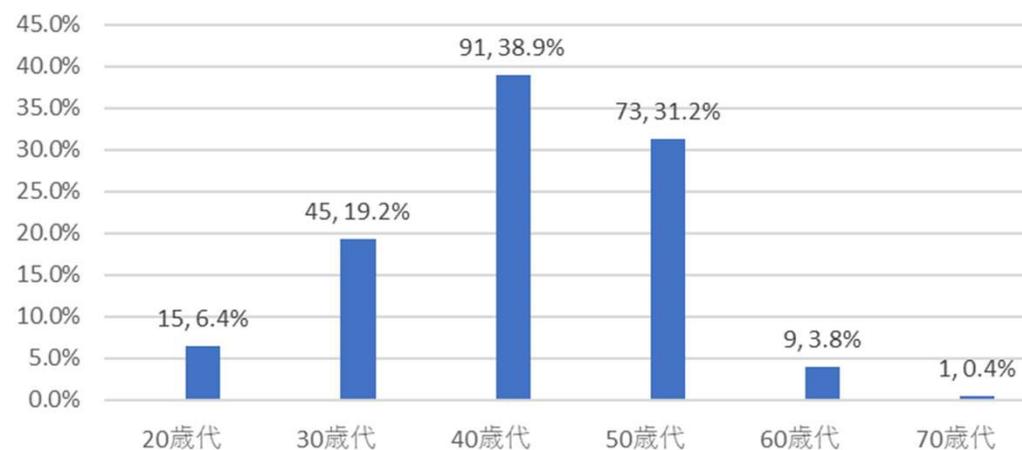
●施設類型



●保有資格



●年齢



【保育所等実習指導研修の属性についての考察・所感】

- 勤務地については、他のオンライン型研修と同じく全国からのご参加、かつ首都圏が多くを占めています。
- 施設類型については、認可保育所・小規模保育事業、幼保連携型こども園の順となりました。
- 保有資格については、所長・主任と同様保育士と幼稚園教諭を保有している方が多くいらっしゃいました。
- 年齢については、40歳代がTOP、次いで50歳代、30歳代となりました。

研修日程

| 研修名 | 研修形式 | 定員 | 開催日程 | 申込受付期間 |
|-----------------------|----------|-----|-------------------------------|---------------------|
| 中堅保育所長等研修【1-1】 | オンライン型研修 | 400 | 12月11日(木)・12月17日(水)・12月22日(月) | 10月10日(金)～11月11日(火) |
| 初任保育所長等研修【2-1】 | 集合型研修 | 200 | 10月14日(火)・10月24日(金)・11月13日(木) | 8月14日(木)～9月16日(火) |
| 初任保育所長等研修【2-2】 | オンライン型研修 | 400 | 11月4日(火)・12月1日(月)・2月10日(火) | 9月4日(木)～10月6日(月) |
| 初任保育所長等研修【2-3】 | オンライン型研修 | 400 | 12月8日(月)・1月13日(火)・2月19日(木) | 10月8日(水)～11月10日(月) |
| 初任保育所長等研修【2-4】 | オンライン型研修 | 400 | 1月20日(火)・1月22日(木)・1月31日(土) | 11月20日(木)～12月19日(金) |
| 初任保育所長等(就任予定者)研修【3-1】 | オンライン型研修 | 300 | 10月20日(月)・10月21日(火)・10月29日(水) | 8月20日(水)～9月22日(月) |
| 初任主任保育士研修【4-1】 | 集合型研修 | 200 | 12月2日(火)・12月3日(水)・12月9日(火) | 10月2日(木)～11月4日(火) |
| 初任主任保育士研修【4-2】 | オンライン型研修 | 400 | 11月26日(水)・11月27日(木)・12月18日(木) | 9月26日(金)～10月27日(月) |
| 初任主任保育士研修【4-3】 | オンライン型研修 | 400 | 1月14日(水)・1月29日(木)・2月4日(水) | 11月14日(金)～12月15日(月) |
| 中堅主任保育士研修【5-1】 | 集合型研修 | 150 | 9月10日(水)・9月16日(火)・9月17日(水) | 7月10日(木)～8月12日(火) |
| 中堅主任保育士研修【5-2】 | オンライン型研修 | 400 | 10月28日(火)・11月7日(金)・11月11日(火) | 8月28日(木)～9月29日(月) |
| 保育所等実習指導研修【6-1】 | オンライン型研修 | 300 | 1月16日(金)・2月5日(木)・2月16日(月) | 11月14日(金)～12月16日(火) |

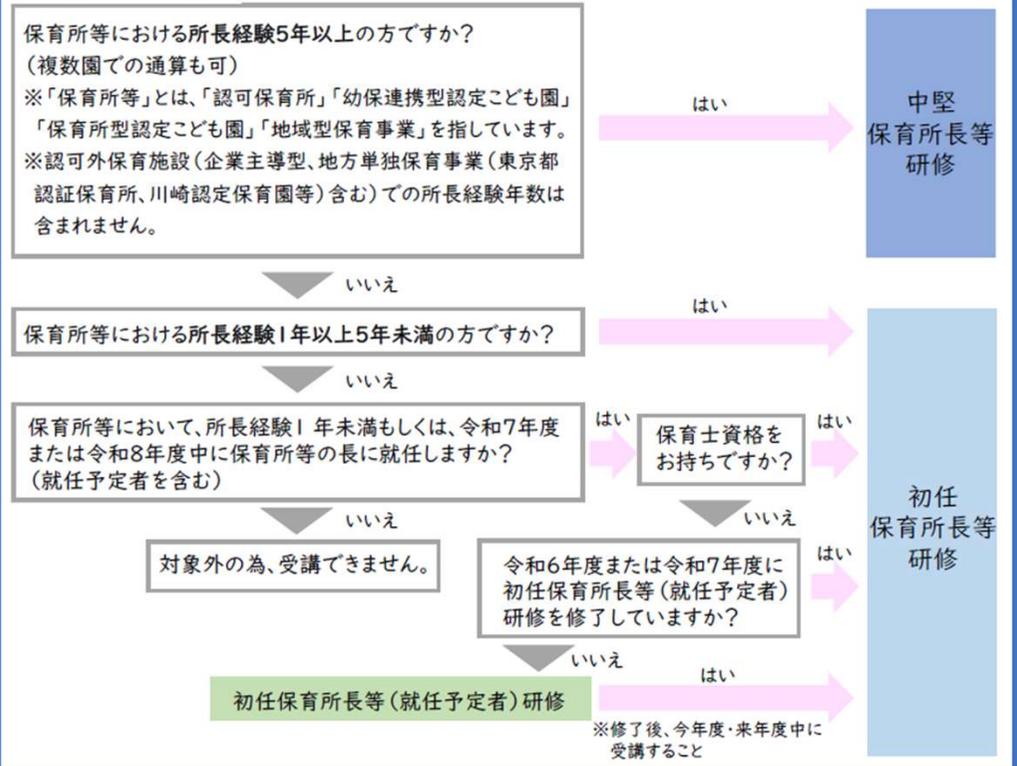
○集合型研修 開催会場

TKP新橋カンファレンスセンター ホール15DまたはE
東京都千代田区内幸町1-3-1幸ビルディング 15階 (4 ページに詳細を記載)

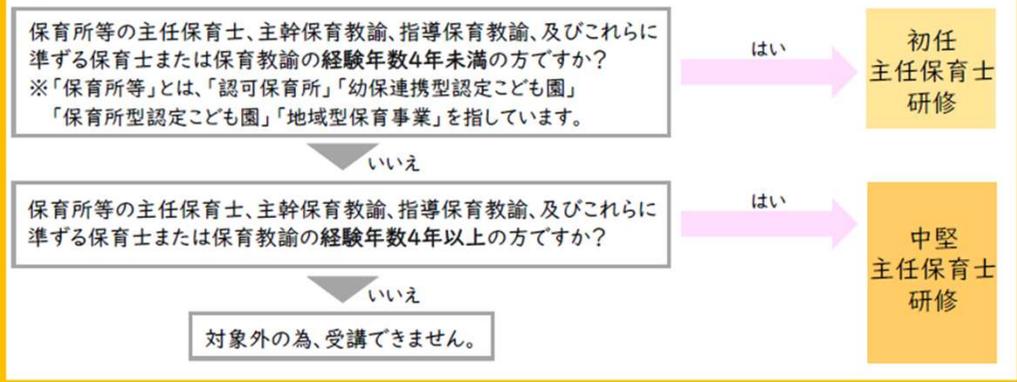
研修受講対象者フローチャート

※「保育所長」については、「保育園長」「保育施設長」と同様の取り扱いとなります。

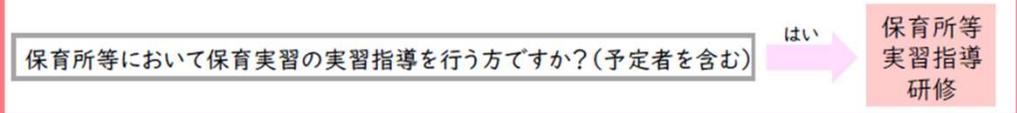
①保育所長等研修



②主任保育士等研修



③保育所等実習指導研修



研修カリキュラム・コース詳細

①中堅保育所長等研修

| | |
|-----|---|
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する最新の知見・トピックを学び、中長期的な課題の整理と、解決への道筋を立てる。 ・人材育成及び組織マネジメントの方法を理解し、保育の質の向上を図る。 ・他園の実践事例等を学び、自園の実践を振り返る。 ・管理者として、自らの専門性を高める。 |
|-----|---|

| | |
|----|---|
| 対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・「認可保育所」「幼保連携型認定こども園」「保育所型認定こども園」「地域型保育事業」(以下:「保育所等」)の長の経験年数5年以上の保育所等の長 【参考】本紙3ページ「研修受講対象者フローチャート」 |
|----|---|

| | 研修科目 | 研修内容の概要 | 方法・時間 |
|---|----------------|---|--------------------|
| 1 | 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針等及び保育所等におけるガイドライン | 講義 1時間 |
| 2 | 乳幼児期の保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの理解に基づく保育の展開と家庭との連携(実践事例の検討を含む。) ・保育の質の向上に向けた組織的取組(実践事例の検討を含む。) ・保育所における自己評価ガイドライン | 講義 3時間 |
| 3 | 保育所等の組織マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の組織マネジメント ・保育所等における運営上の課題 ・保育所等の運営における中長期的な課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり ・保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン | ワーク ショップ 5時間 |
| 4 | 保育所等における人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上 ・職場における研修や外部研修の活用 ・体系的な研修計画の作成 ・組織内での研修成果の活用 | 講義 4時間 30分 |
| 5 | 地域に開かれた保育所等づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるネットワークづくり(地域の社会資源の活用、関係機関との連携・協働を含む。) ・地域と連携した子育て支援(実践事例の検討を含む。) | 講義 1時間 30分 |

中堅保育所長等研修【1-1】コース オンライン型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|----------------------|----------------|-----------------|------------------------------------|
| 1日目 12月11日 (木) | 10:20~10:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 10:50~11:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 11:00~12:00 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| | 13:00~14:30 | 地域に開かれた保育所等づくり | 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授 木曾 陽子 先生 |
| | 14:40~16:10 | 乳幼児期の保育 | 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 准教授 遠藤 純子 先生 |
| | 16:20~17:50 | | |
| 17:50~18:00 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 2日目 12月17日 (水) | 9:20~9:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 9:50~10:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 10:00~12:00 | 保育所等の組織マネジメント | 社会保険労務士法人 ワーク・イノベーション 代表 菊地 加奈子 先生 |
| | 13:00~14:30 | | |
| | 14:40~16:10 | | |
| 16:10~16:20 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 12月22日 (月) | 12:20~12:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 12:50~13:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 13:00~14:30 | 保育所等における人材育成 | 和洋女子大学 こども発達学科 教授 矢藤 誠慈郎 先生 |
| | 14:40~16:10 | | |
| | 16:20~17:50 | | |
| 17:50~18:10 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

②初任保育所長等研修

| | |
|-----|---|
| ねらい | ・保育所等の長として保育所等の運営に必要な知識(組織マネジメントや関係機関との連携等)を学ぶとともに、研修等を活用し、自園の保育の質の向上を図る。 |
|-----|---|

| | |
|----|---|
| 対象 | 以下のいずれかに該当する者とする。 ア 保育士資格を有する者のうち、令和7年度または令和8年度中に「認可保育所」「幼保連携型認定こども園」「保育所型認定こども園」「地域型保育事業」(以下:「保育所等」)の長に就任する者(就任予定も含む) イ 保育所等の長の経験年数1年以上5年未満の保育所等の長 ウ 保育士資格を有さない者のうち、保育所等において所長経験1年未満もしくは令和7年度または令和8年度中に保育所等の長に就任し、令和6年度または令和7年度に初任保育所長(就任予定者)研修を修了している者 【参考】本紙3ページ「研修受講対象者フローチャート」 |
|----|---|

| | 研修科目 | 研修内容の概要 | 方法・時間 |
|---|-----------------------|--|--------------------|
| 1 | 保育制度の動向及び関係法令等 | ・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針等及び保育所等におけるガイドライン | 講義 1時間 |
| 2 | 乳幼児期の保育 | ・保育所保育指針等を踏まえた保育実践 ・保育の質の向上に関する保育所長等の役割 ・保育所における自己評価ガイドライン | 講義 3時間 |
| 3 | 保育所等のリスクマネジメント | ・保育所等におけるリスクマネジメント ・各種ガイドラインを踏まえた健康・安全確保のための対応・対策 ① 保育所における感染症対策ガイドライン ② 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン ③ 保育所における食事の提供ガイドライン ④ 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン | 講義 3時間 |
| 4 | 保育所等の組織づくりとマネジメント(概論) | ・保育所等の組織づくりとマネジメントにおける保育所長等の役割 ・職員が働きやすい環境づくり ・職員の資質向上 | 講義 2時間 |
| 5 | 保育所等の組織づくりとマネジメント(演習) | ・保育所等の運営における課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり ・保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン | ワーク ショップ 3時間 |
| 6 | 子育て支援 | ・保育所等における子育て支援に関する基本的事項 ・保育所等を利用している保護者に対する子育て支援 ・保育所等における在園児の保護者への子育て支援 | 講義 2時間 |
| 7 | 地域に開かれた保育所等づくり | ・地域における保育所等の役割 ・地域社会及び関係機関との連携・協働 ・保育所等における地域子育て支援 | 講義 1時間 |

初任保育所長等研修【2-1】コース 集合型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|---------------|----------------|-----------------------|------------------------------------|
| 10月14日 (火) | 9:00~9:50 | 受付 | 研修事務局 |
| | 9:50~10:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 10:00~12:00 | 保育所等の組織づくりとマネジメント(概論) | 大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 坂田 哲人 先生 |
| | 13:10~15:10 | 子育て支援 | 千葉大学 教育学部 名誉教授 富田 久枝 先生 |
| | 15:20~16:20 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| 10月24日 (金) | 16:20~16:30 | 事務連絡 | 研修事務局 |
| | 10:20~10:50 | 受付 | 研修事務局 |
| | 10:50~11:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 11:00~12:00 | 地域に開かれた保育所等づくり | 玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 宮崎 豊 先生 |
| | 13:10~14:40 | 保育所等のリスクマネジメント | 玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 鈴木 美枝子 先生 |
| 14:50~16:20 | | | |
| 16:20~16:30 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 11月13日 (木) | 8:20~8:50 | 受付 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 乳幼児期の保育 | 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 准教授 遠藤 純子 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:20~14:50 | 保育所等の組織づくりとマネジメント(演習) | 社会保険労務士法人 ワーク・イノベーション 代表 菊地 加奈子 先生 |
| 15:00~16:30 | | | |
| 16:30~16:50 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

初任保育所長等研修【2-2】コース オンライン型研修タイムスケジュール

初任保育所長等研修【2-3】コース オンライン型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|---------------------|----------------|---------------------------|---------------------------------------|
| 1日目 11月4日 (火) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:00 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| | 10:05~12:05 | 子育て支援 | 千葉大学 教育学部 名誉教授 富田 久枝 先生 |
| | 13:05~14:05 | 地域に開かれた保育所等づくり | 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授 木曾 陽子 先生 |
| | 14:10~16:10 | 保育所等の組織づくりと マネジメント(概論) | 大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 坂田 哲人 先生 |
| | 16:10~16:20 | 事務連絡 | 研修事務局 |
| 2日目 12月1日 (月) | 12:30~13:00 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 13:00~13:10 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 13:10~14:40 | 保育所等の組織づくりと マネジメント(演習) | 社会保険労務士法人 ワーク・イノベーション 代表 菊地 加奈子 先生 |
| | 14:50~16:20 | | |
| 16:20~16:30 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 2月10日 (火) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等のリスクマネジメント | 玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 鈴木 美枝子 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~14:40 | 乳幼児期の保育 | 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 准教授 遠藤 純子 先生 |
| | 14:50~16:20 | | |
| 16:20~16:40 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|---------------------|----------------|---------------------------|---------------------------------------|
| 1日目 12月8日 (月) | 9:20~9:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 9:50~10:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 10:00~12:00 | 保育所等の組織づくりと マネジメント(概論) | 玉川大学 教育学部 教育学科 教授 田澤 里喜 先生 |
| | 13:00~14:30 | 保育所等の組織づくりと マネジメント(演習) | 社会保険労務士法人 ワーク・イノベーション 代表 菊地 加奈子 先生 |
| | 14:40~16:10 | | |
| | 16:10~16:20 | 事務連絡 | 研修事務局 |
| 2日目 1月13日 (火) | 10:20~10:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 10:50~11:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 11:00~12:00 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| | 13:00~15:00 | 子育て支援 | 千葉大学 教育学部 名誉教授 富田 久枝 先生 |
| | 15:10~16:10 | 地域に開かれた保育所等づくり | 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授 木曾 陽子 先生 |
| 16:10~16:20 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 2月19日 (木) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等のリスクマネジメント | 玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 鈴木 美枝子 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~14:40 | 乳幼児期の保育 | 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 准教授 遠藤 純子 先生 |
| | 14:50~16:20 | | |
| 16:20~16:40 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

初任保育所長等研修【2-4】コース オンライン型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|---------------------|-------------|---------------------------|---------------------------------------|
| 1日目 1月20日 (火) | 9:20~9:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 9:50~10:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 10:00~12:00 | 保育所等の組織づくりと マネジメント(概論) | 大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 坂田 哲人 先生 |
| | 13:00~15:00 | 子育て支援 | 千葉大学 教育学部 名誉教授 富田 久枝 先生 |
| | 15:10~16:10 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| | 16:10~16:20 | 事務連絡 | 研修事務局 |
| 2日目 1月22日 (木) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 乳幼児期の保育 | 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 准教授 遠藤 純子 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~14:40 | 保育所等の組織づくりと マネジメント(演習) | 社会保険労務士法人 ワーク・イノベーション 代表 菊地 加奈子 先生 |
| | 14:50~16:20 | | |
| | 16:30~17:30 | 地域に開かれた保育所等づくり | 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授 木曾 陽子 先生 |
| 17:30~17:40 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 1月31日 (土) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等のリスクマネジメント | 玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 鈴木 美枝子 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 12:10~12:30 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 |

③初任保育所長等研修(就任予定者)研修

| | |
|-----|--------------------------------|
| ねらい | ・保育所保育指針等や各ガイドライン等の内容を正しく理解する。 |
|-----|--------------------------------|

| | |
|----|---|
| 対象 | <p>保育士資格を有していない者のうち、以下のすべてに該当する者とする。</p> <p>ア 「認可保育所」「幼保連携型認定こども園」「保育所型認定こども園」「地域型保育事業」(以下:「保育所等」)の長の経験が1年未満の保育所等の長</p> <p>イ 令和7年度または令和8年度中に保育所等の長に就任する者(就任予定も含む)</p> <p>ウ 初任保育所長等研修の受講を希望している者</p> <p>【参考】本紙3ページ「研修受講対象者フローチャート」</p> |
|----|---|

| | 研修科目 | 研修内容の概要 | 方法・時間 |
|---|---------------|---|------------------|
| 1 | 保育所等の社会的役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育てを取り巻く社会的な状況 ・保育制度の動向 ・保育所等の社会的役割 | 講義 1時間 30分 |
| 2 | 保育所長等の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所長等の役割 ・保育所等の運営と法令順守 ・職員が働きやすい環境づくり | 講義 1時間 30分 |
| 3 | 子どもの発達と保育の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の発達の特性及び発達過程 ・保育所保育指針等に基づく保育の実施と運営 ・保育所における自己評価ガイドライン | 講義 5時間 |
| 4 | 保育所等における健康・安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全の確保に関する各種ガイドライン ① 保育所における感染症対策ガイドライン ② 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン ③ 保育所における食事の提供ガイドライン ④ 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン | 講義 4時間 |
| 5 | 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の意義 ・保育所等を利用している保護者に対する子育て支援 ・地域における子育て支援 ・保育所等における在園児の保護者への子育て支援 | 講義 3時間 |

初任保育所長等(就任予定者)研修【3-1】コース オンライン型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|----------------------|----------------|--|--|
| 1日目 10月20日 (月) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等の社会的役割 | 東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 教授 小櫃 智子 先生 |
| | 10:40~12:10 | 保育所長の役割 | 東京家政大学 子ども支援学部 子ども支援学科 教授 小櫃 智子 先生 |
| | 13:10~14:40 | 子どもの発達と保育の内容 | 日本女子大学 家政学部 児童学科 教授 請川 滋大 先生 |
| | 14:50~16:20 | | |
| 16:20~16:30 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 2日目 10月21日 (火) | 9:20~9:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 9:50~10:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 10:00~12:00 | 子どもの発達と保育の内容 | 日本女子大学 家政学部 児童学科 教授 請川 滋大 先生 |
| | 13:00~14:00 | 保育所等における健康・安全 食事の提供ガイドライン | 女子栄養大学 栄養学部 教授 石田 裕美 先生 |
| | 14:10~15:10 | 保育所等における健康・安全 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン | 大阪公立大学 名誉教授 大学院 現代システム科学研究科 客員研究員 関川 芳孝 先生 |
| | 15:10~15:20 | 事務連絡 | 研修事務局 |
| 3日目 10月29日 (水) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 子育て支援 | 神戸大学 国際人間科学部 子ども教育学科 教授 中谷 奈津子 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~14:10 | 保育所等における健康・安全 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン | 国立成育医療センター アレルギーセンター センター長 福家 辰樹 先生 |
| | 14:20~15:20 | 保育所等における健康・安全 保育所における感染症対策ガイドライン | 福島県立医科大学 周産期・小児地域医療支援講座 教授 細矢 光亮 先生 |
| 15:20~15:40 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

④初任主任保育士研修

| | |
|-----|--|
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・主任保育士等の多様な役割を理解する。 ・リーダー的な立場として、求められる専門性の向上を図る。 ・保育に関する最新のトピックや他園の実践から、保育の質の向上への手立てを学ぶ。 |
|-----|--|

| | |
|----|---|
| 対象 | <p>現職の経験年数4年未満の保育所等の主任保育士、主幹保育教諭、指導保育教諭、及びこれらに準ずる保育士または保育教諭</p> <p>※「保育所等」とは「認可保育所」「幼保連携型認定こども園」「保育所型認定こども園」「地域型保育事業」</p> <p>【参考】本紙3ページ「研修受講対象者フローチャート」</p> |
|----|---|

| | 研修科目 | 研修内容の概要 | 方法・時間 |
|---|------------------|--|--------------------------|
| 1 | 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針等及び保育所等におけるガイドライン | 講義 1時間 |
| 2 | 保育所等における主任保育士の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における主任保育士の役割 ・保育実践におけるリーダーシップと職員のチームワーク ・保育実践に関する様々な課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり ・保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン | ワーク ショップ 3時間 |
| 3 | 子どもの発達と保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育における子どもの理解 ・子どもの発達に即した保育実践 ・保育所における自己評価ガイドライン ・保育の質向上に向けた組織的取組 | 講義 3時間 |
| 4 | 保護者支援・子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における子育て支援の意義 ・保育所を利用している保護者に対する子育て支援の実際 ・地域の保護者等に対する子育て支援の実際 ・「保育所等における在園児の保護者への子育て支援」 | 講義・ グループ 討議 3時間 |
| 5 | 保育所等における人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員間の理解の共有 ・職員の資質向上 ・職場における研修の企画立案・実施 | 講義・ グループ 討議 5時間 |

初任主任保育士研修(4-1)コース 集合型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|---------------------|----------------|------------------|--------------------------------------|
| 1日目 12月2日 (火) | 8:30~9:20 | 受付 | 研修事務局 |
| | 9:20~9:30 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:30~11:00 | 保育所等における主任保育士の役割 | 大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 坂田 哲人 先生 |
| | 11:10~12:40 | | |
| | 13:40~14:40 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| 14:40~14:50 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 2日目 12月3日 (水) | 8:50~9:20 | 受付 | 研修事務局 |
| | 9:20~9:30 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:30~11:00 | 子どもの発達と保育 | 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 准教授 遠藤 純子 先生 |
| | 11:10~12:40 | | |
| | 13:40~15:10 | 保護者支援・子育て支援 | 神戸大学 国際人間科学部 子ども教育学科 教授 中谷 奈津子 先生 |
| 15:20~16:50 | | | |
| 16:50~17:00 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 12月9日 (火) | 8:50~9:20 | 受付 | 研修事務局 |
| | 9:20~9:30 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:30~11:30 | 保育所等における人材育成 | 香川大学 教育学部 准教授 松井 剛太 先生 |
| | 12:30~14:00 | | |
| | 14:10~15:40 | | |
| 15:40~16:00 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

初任主任保育士研修(4-2)コース オンライン型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|----------------------|----------------|----------------------|--------------------------------------|
| 1日目 11月26日 (水) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等における 主任保育士の役割 | 大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 坂田 哲人 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~14:10 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| | 14:20~15:50 | 保護者支援・子育て支援 | 神戸大学 国際人間科学部 子ども教育学科 教授 中谷 奈津子 先生 |
| | 16:00~17:30 | | |
| 17:30~17:40 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 2日目 11月27日 (木) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 子どもの発達と保育 | 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 准教授 遠藤 純子 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| 12:10~12:20 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 12月18日 (木) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等における人材育成 | 香川大学 教育学部 准教授 松井 剛太 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~15:10 | | |
| 15:10~15:30 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

初任主任保育士研修(4-3)コース オンライン型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|---------------------|----------------|----------------------|--------------------------------------|
| 1日目 1月14日 (水) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等における 主任保育士の役割 | 大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 坂田 哲人 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~14:10 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| | 14:20~15:50 | 保護者支援・子育て支援 | 神戸大学 国際人間科学部 子ども教育学科 教授 中谷 奈津子 先生 |
| | 16:00~17:30 | | |
| 17:30~17:40 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 2日目 1月29日 (木) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 子どもの発達と保育 | 昭和女子大学 人間社会学部 初等教育学科 准教授 遠藤 純子 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| 12:10~12:20 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 2月4日 (水) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等における人材育成 | 香川大学 教育学部 准教授 松井 剛太 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~15:10 | | |
| 15:10~15:30 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

⑤中堅主任保育士研修

| | |
|-----|--|
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・主任保育士として、保育所等に求められる多様なニーズに対応するために必要な知識・技術を学ぶ。 ・保育所等の組織全体で質の高い保育を展開するためのマネジメント能力の向上を図る。 |
|-----|--|

| | |
|----|---|
| 対象 | <p>現職の経験年数4年以上の保育所等の主任保育士、主幹保育教諭、指導保育教諭、及びこれらに準ずる保育士または保育教諭</p> <p>※「保育所等」とは「認可保育所」「幼保連携型認定こども園」「保育所型認定こども園」「地域型保育事業」</p> <p>【参考】本紙3ページ「研修受講対象者フローチャート」</p> |
|----|---|

| | 研修科目 | 研修内容の概要 | 方法・時間 |
|---|------------------|--|--------------------------|
| 1 | 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育制度の動向 ・関係法令等 ・保育所保育指針等及び保育所等におけるガイドライン | 講義 1時間 |
| 2 | 保育所等における主任保育士の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における主任保育士の役割 ・保育実践に関する様々な課題への対応 ・職員が働きやすい環境づくり ・保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン | ワーク ショップ 2時間 |
| 3 | 子どもの発達と保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育における子どもの理解 ・子どもの発達に即した保育実践 ・保育所における自己評価ガイドライン ・保育の質向上に向けた組織的取組 | 講義 3時間 |
| 4 | 保護者支援・子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における子育て支援の意義 ・保育所を利用している保護者に対する子育て支援の実際 ・地域の保護者等に対する子育て支援の実際 ・「保育所等における在園児の保護者への子育て支援」 | 講義・ グループ 討議 3時間 |
| 5 | 保育所等における人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員間の理解の共有 ・保育実践におけるリーダーシップと職員のチームワーク ・職員の資質向上 ・職場における研修の企画立案・実施 | 講義・ グループ 討議 6時間 |

中堅主任保育士研修(5-1)コース 集合型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|---------------------|----------------|------------------|-----------------------------------|
| 1日目 9月10日 (水) | 8:30~9:20 | 受付 | 研修事務局 |
| | 9:20~9:30 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:30~11:00 | 保護者支援・子育て支援 | 静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科 准教授 灰谷 和代 |
| | 11:10~12:40 | | |
| 12:40~12:50 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 2日目 9月16日 (火) | 8:50~9:20 | 受付 | 研修事務局 |
| | 9:20~9:30 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:30~11:00 | 子どもの発達と保育 | 明治学院大学 心理学部 教育発達学科 教授 松崎 洋子 先生 |
| | 11:10~12:40 | | |
| | 13:40~14:40 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| | 14:50~16:50 | 保育所等における主任保育士の役割 | 東京都市大学 人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖 先生 |
| 16:50~17:00 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 9月17日 (水) | 8:50~9:20 | 受付 | 研修事務局 |
| | 9:20~9:30 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:30~11:00 | 保育所等における人材育成 | 東京都市大学 人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖 先生 |
| | 11:10~12:40 | | |
| | 13:40~15:10 | | |
| | 15:20~16:50 | | |
| 16:50~17:10 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 | |

中堅主任保育士研修(5-2)コース オンライン型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|----------------------|-------------|------------------|-----------------------------------|
| 1日目 10月28日 (火) | 10:20~10:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 10:50~11:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 11:00~12:00 | 保育制度の動向及び関係法令等 | こども家庭庁 成育局 |
| | 13:00~15:00 | 保育所等における主任保育士の役割 | 東京都市大学 人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖 先生 |
| | 15:00~15:10 | 事務連絡 | 研修事務局 |
| 2日目 11月7日 (金) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保護者支援・子育て支援 | 静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科 准教授 灰谷 和代 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~14:40 | 子どもの発達と保育 | 明治学院大学 心理学部 教育発達学科 教授 松崎 洋子 先生 |
| | 14:50~16:20 | | |
| 16:20~16:30 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 11月11日 (火) | 8:20~8:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 8:50~9:00 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 9:00~10:30 | 保育所等における人材育成 | 東京都市大学 人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖 先生 |
| | 10:40~12:10 | | |
| | 13:10~14:40 | | |
| | 14:50~16:20 | | |
| | 16:20~16:40 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 |

⑥保育所等実習指導研修

| | |
|-----|---|
| ねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成施設と学生の実情を把握する。 ・保育所実習における指導の方法と理論について学ぶ。 ・保育指導者としての専門性を高める。 |
|-----|---|

| | |
|----|--|
| 対象 | 保育所等において保育実習の実習指導を行う者(予定者を含む) 【参考】本紙3ページ「研修受講対象者フローチャート」 |
|----|--|

| | 研修科目 | 研修内容の概要 | 方法・時間 |
|---|------------------|---|--------------------------|
| 1 | 保育所等の社会的役割と保育士養成 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等が担う社会的役割 ・保育士の資質・専門性と養成の動向 | 講義 1時間 |
| 2 | 保育士養成と保育実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の目的 ・保育実習実施基準 ・保育実習における保育所等と保育士養成施設との連携 ・実習生の理解を踏まえた実習指導 | 講義 2時間 |
| 3 | 保育実習の現状と諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における実習指導の現状 ・保育実習における課題 | グループ 討議 1時間 30分 |
| 4 | 保育実習指導の基本 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れ体制 ・保育所実習指導の内容及び指導(実習の記録・振り返りや評価を含む。) ・効果的な保育所実習指導の事例 ・保育所等と保育士養成施設の協働を通じた保育所等職員の資質向上 | 講義 4時間 30分 |
| 5 | 保育実習指導の実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等の体制や実習生の状況等を踏まえた実習指導の実際 | ワーク ショップ 3時間 |

保育所等実習指導研修(6-1)コース オンライン型研修タイムスケジュール

| 開催日 | 時間 | 内容 | 担当講師 |
|---------------------|-------------|------------------|---|
| 1日目 1月16日 (金) | 13:20~13:50 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 13:50~14:00 | 開催にあたっての注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 14:00~15:00 | 保育所等の社会的役割と保育士養成 | 白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科 教授 高橋 貴志 先生 |
| | 15:10~17:10 | 保育士養成と保育実習 | 日本女子大学 家政学部 児童学科 教授 和田上 貴昭 先生 |
| | 17:10~17:20 | 事務連絡 | 研修事務局 |
| 2日目 2月5日 (木) | 9:50~10:20 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 10:20~10:30 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 10:30~12:00 | 保育実習指導の基本 | 日本体育大学 児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 教授 齊藤 多江子 先生 |
| | 13:00~14:30 | | |
| | 14:40~16:10 | | |
| 16:10~16:20 | 事務連絡 | 研修事務局 | |
| 3日目 2月16日 (月) | 9:50~10:20 | Zoom入室開始 | 研修事務局 |
| | 10:20~10:30 | 注意事項・説明 | 研修事務局 |
| | 10:30~12:00 | 保育実習の現状と諸課題 | 白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科 教授 高橋 貴志 先生 |
| | 13:00~14:30 | 保育実習指導の実践 | 白百合女子大学 人間総合学部 初等教育学科 教授 高橋 貴志 先生 |
| | 14:40~16:10 | | |
| | 16:10~16:30 | 事務連絡・修了証に関する案内 | 研修事務局 |

3. 研修開催状況

今年度の実施した研修状況についてご報告いたします。

■ 3-1. 集合型研修の状況

● 中堅主任保育士 研修

● 初任保育所長等 研修

● 初任主任保育士 研修

画像削除

グループ討議が多い中
堅主任保育士研修は、
参加人数が少なかった
ため、議論がしやすい
ようにT字型のテー
ブルレイアウトを行いま
した。

初任保育所長等研修、初任主任保育士研修は、3人掛けテーブルに2名座り、前後の4人を1グループとしディスカッション等が行えるようにしました。また、3日目は席替えを行い、他の方ともディスカッションが行えるように工夫しました。ディスカッションの時間だけでは足りず、昼休憩などの時間にも情報交換などが行われている様子がありました。

【集合型研修実施に当たっての工夫点・感想・課題点等】

- 集合型研修は、園の種類・定員数等や地域などを考慮しながら、席を決定。3日目には席替えを行い、横のつながりが広がるように工夫しました。
- 設備関係については、お手洗いが他の階も使用できる会場だったため、休憩時間の混雑を解消することができました。パソコンを使用される方には、休憩時間等で充電ができるよう、コンセントの貸し出しを行いました。食事場所の地図を準備した事で休憩が取りやすかったと好評でした。
- ▶受講者数の関係で、T字型・スクール形式で3人がけに2人で座る配置ができましたが、T字型の会場の時はディスカッションはしやすいが、画面がみえにくい、スクール形式の会場の時は、通路部分が狭いというお声を数名の方からいただきました。
- ▶テキストについて、購入を希望された方で印刷のイメージが異なる受講者の方が数名おり（製本方式をイメージされていた）、もう少し印刷の仕様についてわかりやすく記載できると良かったのではないかと考えています。

■ 3-2. オンライン型研修の状況

● 中堅保育所長等 研修

● 初任保育所長等 研修

● 初任保育所長等（就任予定者）研修

画像削除

● 初任主任保育士 研修

● 中堅主任保育士 研修

● 保育所等実習指導者 研修

画像削除

【オンライン型研修実施に当たっての工夫点・感想・課題点等】

- オンライン型研修は、講師と受講者、受講者同士も物理的な距離がある事から、チャット機能等やブレイクアウトルームなどを活用する事により、他園の実践事例や課題などを共有する事で、自園への今後の取組みにつなげる研修となるよう、講師と組み立てを行いました。
- グループディスカッションやワークショップが多い研修に関しては、3日目でグループディスカッションのメンバーが変わるように工夫しました。
- ブレイクアウト時に不具合が発生する可能性を考え、ディスカッションをまとめて行う等、少し長い時間討議が確保できるように工夫しました。
- ▶グループディスカッションはとても良かったというお声をいただく一方、グループによっては、会話が止まってしまう時間があったというケースもあり、進行などについては、さらに改善できる部分もあったのではないかと感じました。
- ▶チャットの記入を初めて使用する方もいたため、オンラインテスト日程の際にチャットの使用もお伝えしておくよかったかもしれません。

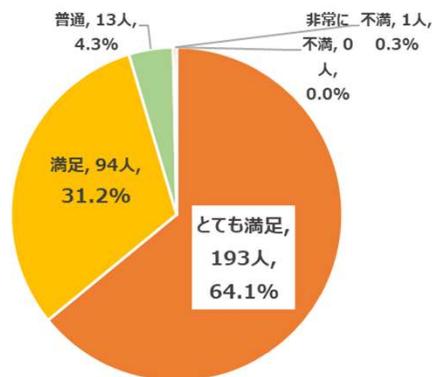
4. 受講者による研修内容の 評価・改善策

4. 受講者による研修内容の評価・改善策 (アンケート等の結果)

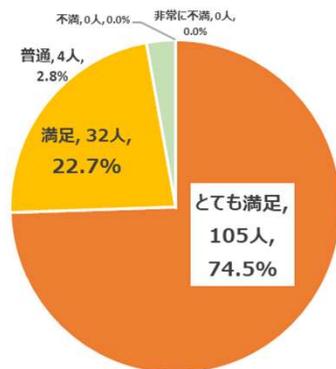
今年度の実施した各研修の事後課題について、修了者のレポート内容でご報告いたします。

4-1. 各研修全体の満足度について

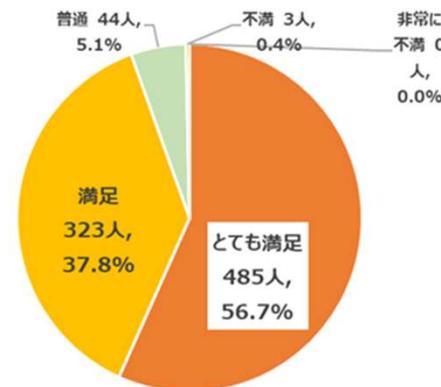
●中堅保育所長等研修



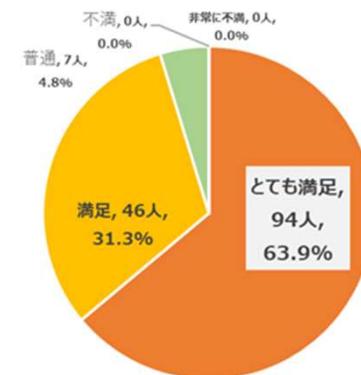
●初任保育所長等研修 ＜集合型＞



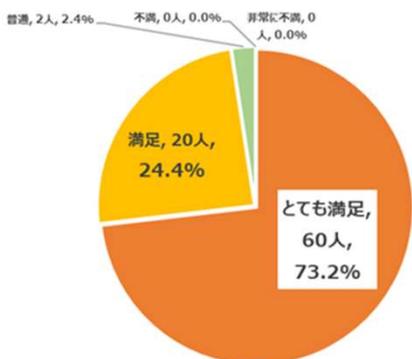
●初任保育所長等研修 ＜オンライン型＞



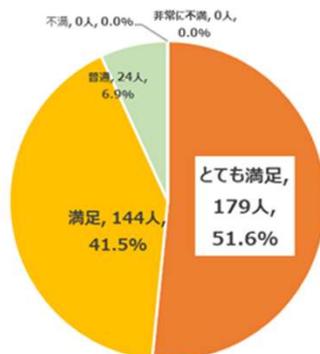
●初任保育所長等（就任予定者）研修



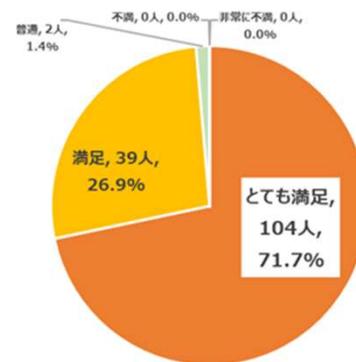
●中堅主任保育士研修 ＜集合型＞



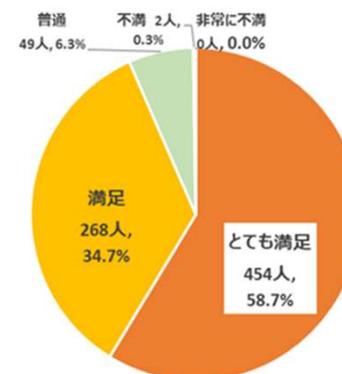
●中堅主任保育士研修 ＜オンライン型＞



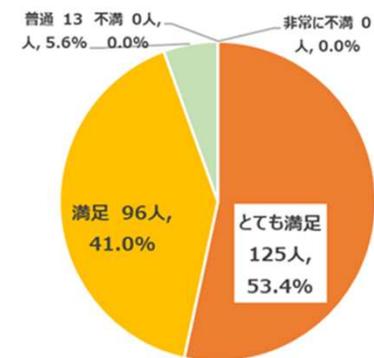
●初任主任保育士研修 ＜集合型＞



●初任主任保育士研修 ＜オンライン型＞



●保育所等実習指導研修



■ 4-1. 各研修の状況について【研修全体の満足度についての考察・所感】

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でした。

| 研修名 | 内容 |
|----------------------|--|
| 中堅保育所長等研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修全体の満足度は『とても満足』と『満足』の合計が95.3%と非常に高いスコアとなりました。 ・特に「保育所等における人材育成」「保育所等の組織マネジメント」の科目について、関心の高い方が多く人材育成およびマネジメントの講義内容に関して、日々の保育運営に活かしていきたいと感じた受講者が多く見受けられました。 |
| 新任保育所長等研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修全体の満足度は、集合型で「とても満足」と「満足」の合計が97.2%、オンライン型で94.5%となり、いずれも非常に高いスコアでした。集合型はオンライン型より「とても満足」の割合が17.8ポイント高く、グループワークが実施しやすいことや会場でのライブ感が満足度の高さに寄与していると考えられます。 ・科目別では、「乳幼児期の保育」と「保育所等のリスクマネジメント」について、国の最新情報を講義に反映したことに加え、「乳幼児期の保育」での動画活用が理解促進に寄与したのではないと考えられます。 |
| 初任保育所長等 (就任予定者)研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修全体の満足度は、「とても満足」と「満足」の合計が95.2%で、非常に高いスコアでした。 ・いずれの科目も、理解度が事前に比べてもあがっており、特に「保育所等における健康・安全」に関する科目については、所長として各種ガイドラインに即した最新の動向や詳細な内容、対応方法などを改めて確認する機会になった受講者が多かったことが、事前事後の理解度の変化からやレポートからも見受けられました。 |
| 初任主任保育士研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修ごとの満足度は、『とても満足』と『満足』の合計が集合型で98.6%、オンライン型で93.4%と非常に高いスコアでした。集合型はオンライン型に比べて『とても満足』の割合が13.0ポイント高く、所長と同様に、グループワークを実施しやすい点や会場のライブ感が満足度の高さに寄与していると考えられます。 ・いずれの科目も、理解度が事前に比べてもあがっており、特に「子どもの発達と理解」と「保護者支援・子育て支援」はいずれも国の最新資料を講義に反映していることや、事例紹介が比較的多かったため、受講者からとても役に立つと記載がありました。 |
| 中堅主任保育士研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修ごとの満足度は、『とても満足』と『満足』の合計が集合型で96.7%、オンライン型で93.1%と非常に高いスコアでした。集合型はオンライン型より『とても満足』の割合が21.6ポイント高く、グループワークの実施しやすさや会場のライブ感が満足度の高さに寄与していると考えられます。 ・いずれの科目も、理解度が事前に比べてもあがっており、特に「保育所等における人材育成」では、最新のマネジメントに関する研究報告を講義に盛り込み、事例共有を多く行ったことで集合型・オンライン型ともに受講者からとても役立つと記載がありました。 |
| 保育所等実習指導研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修全体の満足度は『とても満足』と『満足』の合計が94.4%で、非常に高いスコアでした。 ・いずれの科目も、理解度が事前に比べてもあがっており、特に「保育実習指導実践」について、保育実習の現状と諸課題」の科目でグループごとに考えた課題について、さらに各グループで課題の解決策について検討し、検討結果について、いくつかのグループが発表したり、発表できなかったグループもチャットに記入する形式を採用したため、参加者の理解促進や実務への応用につながり、受講者からとても役立つと記載がありました。 |

4-1. 各研修の状況について【1-1】中堅保育所長等研修 講義内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、科目ごとの詳細の感想を事後課題より抜粋して記載いたします。

| 科目 | 内容 |
|----------------|--|
| 研修全体について | <ul style="list-style-type: none"> ・「自分だけじゃない」と共感でき園長としての孤独感が薄れ、すぐに試してみたい具体的なヒントがたくさん得られました。 ・現場実践を踏まえた講義も多く、受講後すぐに園運営に活かしたいと感じるものもあり、満足度は非常に高かったです。 ・資料が画面で見やすく講師の説明もわかりやすかったのと、質疑を受けてくださる講義もあり、集中して学べました。 ・Zoomの不安も事前にテスト配信があったので解消され、運営もスムーズで安心して受講できました。 |
| 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの権利を保証し、全てのこどもの健やかな成長を途切れなく社会全体で後押しすること。私たち保育所はこどもの成長を見守るだけでなく、家庭や地域と連携しながら子育てを支えるという重要な役割があると感じました。 ・今の保育の制度について、詳しく話が聞けました。はじめの100か月の育ちビジョンの内容もわかりやすかった。 ・虐待に関しては、こども家庭庁のガイドラインを参考に対応したことがありとても参考になった。このように示していただくことで、不安が少し減り、対応が落ち着いてできとても助かった。 |
| 乳幼児期の保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期までのこどもの育ちの5つのビジョンを大切にしたい組織的取り組み、また、「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高めるために保育所としてどうあるべきかを知識として学ぶことができました。 ・物的環境が揃っていても、そこにいる人的環境である保育者がこどもの人権に配慮した関わり方になっているかの重要性を感じた。 ・アタッチメント（愛着）を基盤として、豊かな遊びと体験につながり、成長していくが、そこには保護者だけでなく、保育士も大きな役割を担っているという事を改めて感じた。 ・自己評価という、トップダウンになりがちでありましたが、職員と相談しながら進めていくことの大切さを学びました。 |
| 保育所等の組織マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントを学ぶだけでなく、得た知識を自分のスキルと掛け合わせて使うことで、より効果が発揮できると感じました。 ・演習で他園の先生たちも同じような問題に頭を悩ませていると感じました。自分自身が正しい知識を持っていなければいけないので、さらに勉強をして理解を深めていきたいです。 ・職員が、保育の中で自分たちで主体的に動き、課題について声をあげられるような風通しの良い職場、安心して自分の力を発揮できる心理的安全性の高い職場を目指していきたい。 ・様々なハラスメントがあり、普段のコミュニケーションはとても大切だと改めて感じた。 |
| 保育所等における人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンテーションの内容を指針の5領域と照らしあわせ、子どもたちの姿を成長目線で見えていくことを始めようと考えた。 ・園内研修について時間がないと思い込んでいたが、短い時間でもいいので定期的に行えるよう工夫していきたい。 ・保育には正解がない、だからこそ楽しみこどもの成長に感動し自分自身も成長し職員ものびやかに専門性をもって行動できるよう認め尊重していきたい。 ・研修を園長・主任主体でずっと行ってきたが、職員の育成という部分では少しずつ職員を巻き込み個々のスキルレベルアップを図っていこうと思います。 |
| 地域に開かれた保育所づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の力を借りる、そんなふうにできたらいいなと思いました。そのためには自分が地域のことを理解し、知らなくてはならないと感じました。 ・地域となると、大きな何かをと考えてしまいましたが、自分たちなりに出来ることを考えていく事の大切さを学びました。 ・保育所は家庭の孤立を防ぐため「社会資源との連携の窓口」であり、多職種・多機関とのネットワーク構築、児童相談所や市区の保健センターだけでなく多様な「地域の力」との連携が大切であるということ強く実感した。 ・どのように地域と関わり、どのような立ち位置を確立していったらいいのか模索中だったので、先生のお話やグループワークと他の園のチャットの内容などから、多くのヒントを頂きました。 |

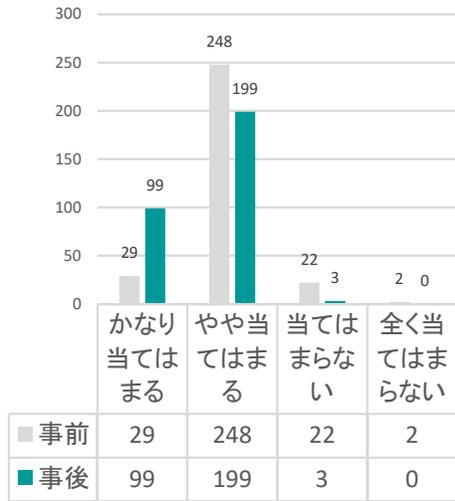
■ 4-1. 各研修の状況について【1-1】中堅保育所長等研修 さらに知りたかった内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、さらに科目ごとにリクエストがあった内容について、抜粋して記載いたします。

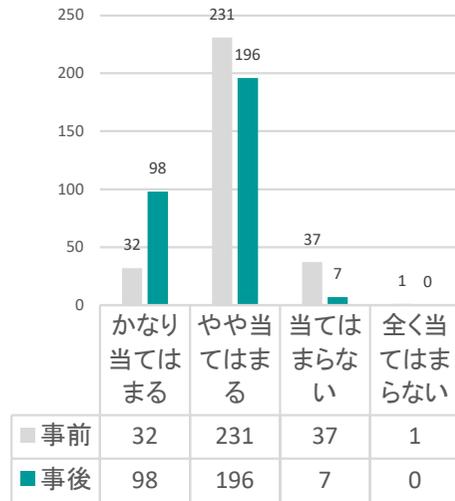
| 科目 | 内容 |
|----------------|--|
| 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ こども誰でも通園制度について ・ 要領・指針の今後の改定について ・ 保育政策の新たな方向性について ・ 児童発達支援や医療的ケア児の受入れ等、多機能化について ・ 保育人材の確保・テクノロジーの活用による業務改善 ・ こども性暴力防止法や、虐待等見直されたガイドラインについて |
| 乳幼児期の保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 非認知能力やこどもの主体性について ・ 乳児保育の環境設定など ・ こどもの人権、虐待や不適切保育について ・ 自己評価や園の保育の振り返り等の保護者発信の好事例 ・ こどもの主体性を育む行事等の取り組み ・ どのような実践例があるか等、他園とのディスカッション |
| 保育所等の組織マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ・ 労務管理について ・ 社労士の先生の問題解決事例 ・ 処遇改善制度の活用や注意点等 ・ 保育所等の運営における長期的な課題と組織づくりの取り組みについて ・ 働きやすい職場づくりの好事例 ・ 保育におけるKPIについて（数値化できるものという考え方があるのか） |
| 保育所等における人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と組織を育てるリーダーシップについて ・ 職員の持っている力を発揮出来るような技術的支援について ・ 保育園としての、研修の体系など ・ 職員が望んでいるリーダーについて ・ 経験のある職員が多い（少ない）職場での、組織のまとめ方 ・ 学ぶ意欲が少ないと感じる職員への意欲の高め方 |
| 地域に開かれた保育所づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と連携した子育て支援 ・ 子や親の権利擁護について ・ 連携・協働先のリストについて ・ 外国にルーツをもつこども、多文化家庭への支援 ・ 地域に開かれた保育所づくりの好事例 ・ 地域資源との連携を強化するための具体的な仕組みや役割分担について |

■ 4-1. 各研修の理解度の変化について【1-1】中堅保育所長等研修 ※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

●保育制度の動向を知っている



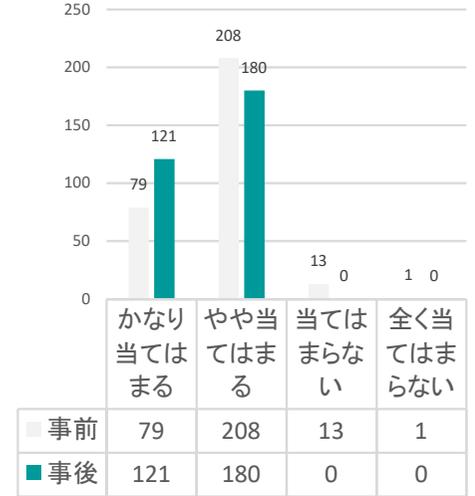
●関係法令等を知っている



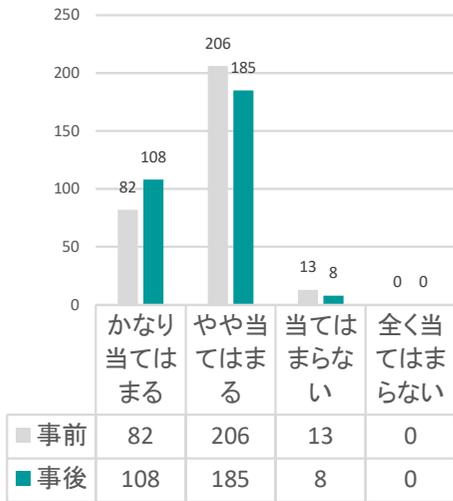
●こどもの発達に応じた乳幼児期の保育を実践することができる



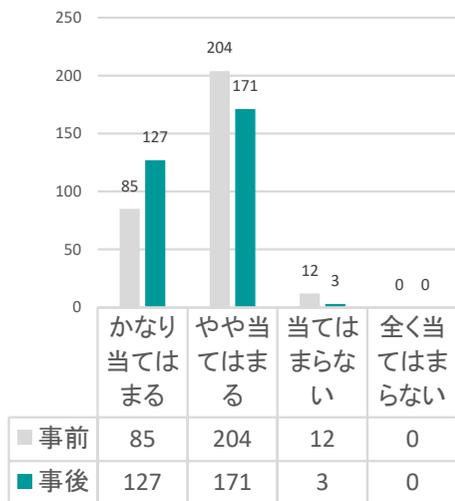
●保育の質の向上を図るための組織的な対応を知っている



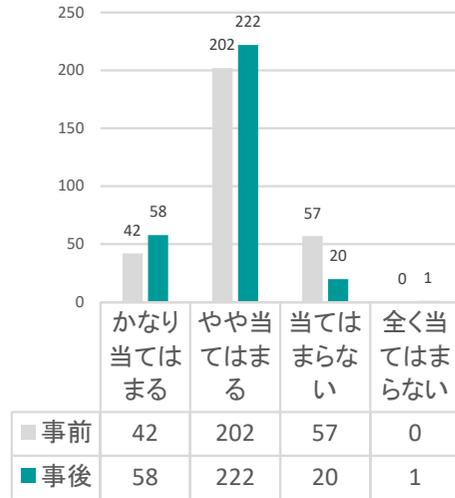
●保育所等の組織マネジメントを行っている



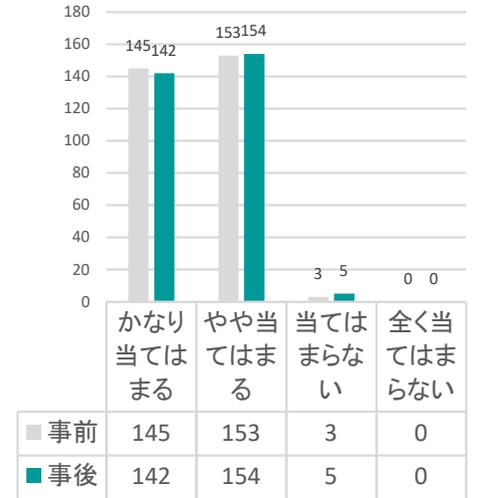
●保育所等における運営上の課題を理解している



●保育所等の運営における中長期的な課題への対応をしている

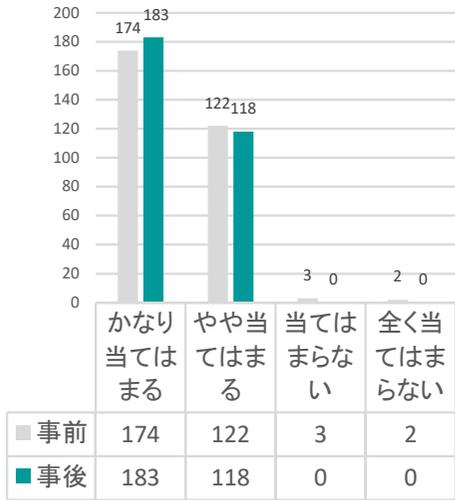


●職員が働きやすい環境づくりを行っている

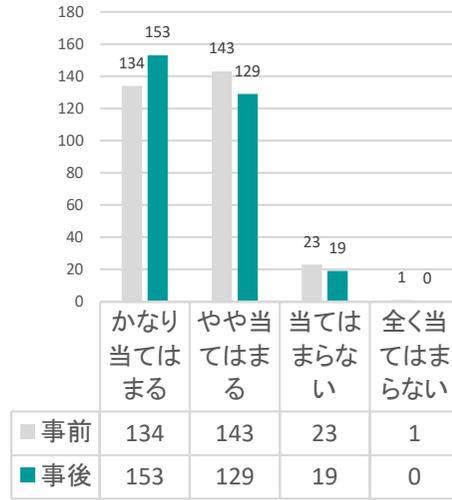


4-1. 各研修の理解度の変化について【1-1】中堅保育所長等研修 ※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

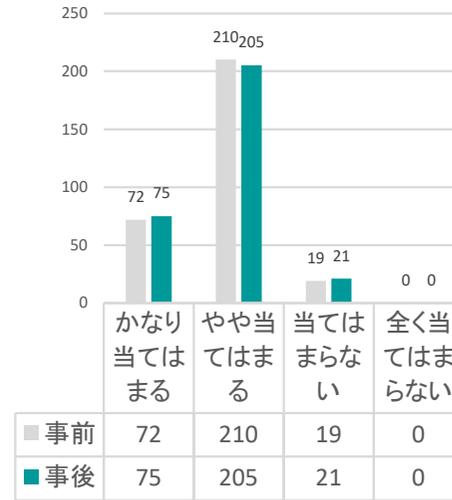
●職場における研修や外部研修の活用を行っている



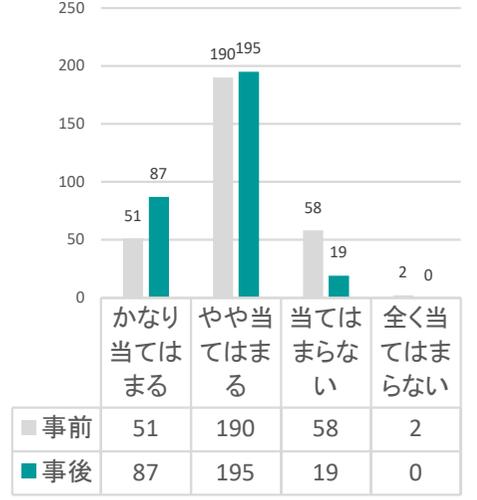
●研修計画の作成を行っている



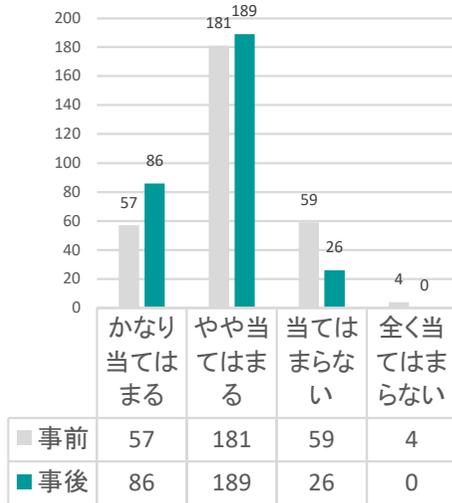
●組織内での研修成果の活用を行っている



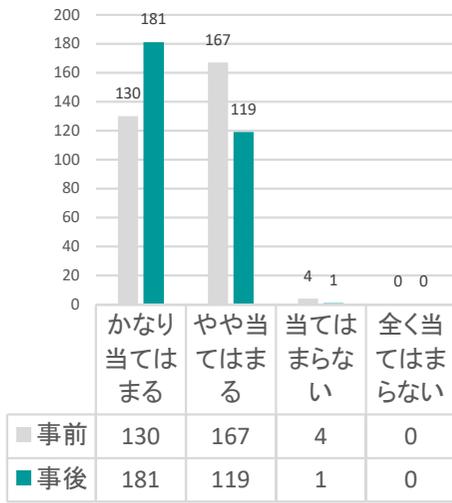
●地域におけるネットワークづくりを行っている



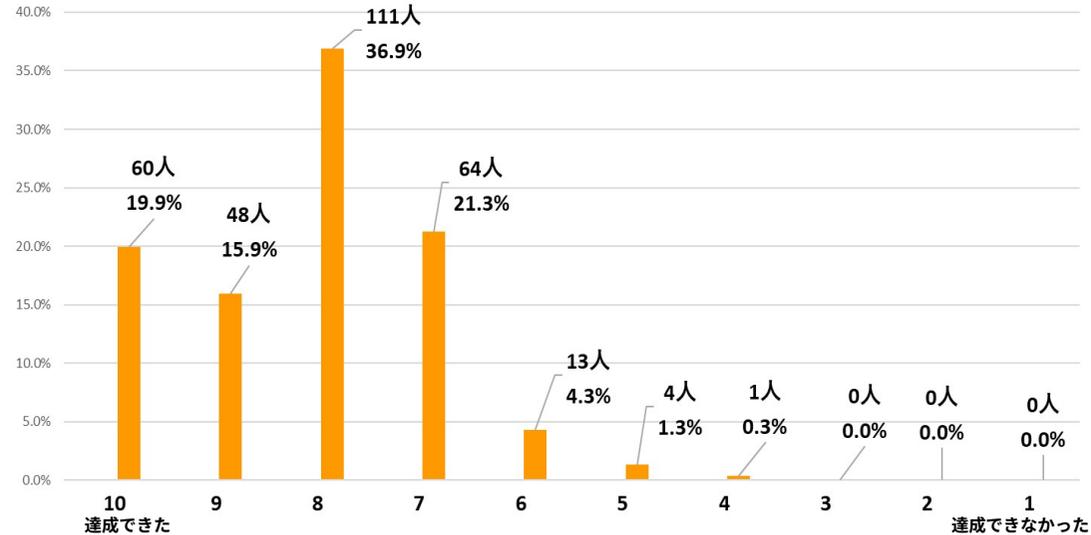
●地域と連携した子育て支援を行っている



●児童虐待の防止対策について知っている



●研修のねらいの達成度*



【中堅保育所長等研修 理解度の変化および、達成度についての考察・所感】

○ほぼ全ての項目で事前の『かなり当てはまる』が事後には増え、『やや当てはまる、当てはまらない、全く当てはまらない』が減っており、効果的に理解していただくことができたと考えられます。

○研修のねらいの達成度は、10段階で8が一番多く、36.9%を占めた。達成度6までの合計は全体の98.3%、達成度5以下の合計は1.6%となりほぼすべての方が研修のねらいを高いレベルで達成できたと考えます。

*小数点第2位を四捨五入のため合計99.9%となっています。

4-1. 各研修の状況について【2-1.2.3.4】初任保育所長等研修 講義内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、科目ごとの詳細の感想を事後課題より抜粋して記載いたします。

| 科目 | 内容 |
|-----------------------|---|
| 研修全体について | <ul style="list-style-type: none"> ・普段、業務に追われていますが、時間をきちんと取り、施設長としてあるべき姿や目指すべき姿と向き合うことができ、自身を振り返る良い機会となりました。もっと学びを深めていきたいと思えます。 ・保育所長として全部知っているとは言えなかったので、丁寧に詳しくお話を伺うことができ、自分自身勉強になりました。 ・先生方が受講者に寄り添ってお話くださり、肯定的なお話が多く、また、たくさんの方が参加しており、仲間が沢山いることを感じられました。 |
| 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもまんなかの言葉について、こども家庭庁の検討経緯やこども基本法について学び、改めて言葉の意味を学ぶ事ができた。 ・職員ともはじめの100ヶ月育ちビジョンを読み合わせたり、大事にしていかななくてはいけないと感じた。 ・時代背景によって国の政策が変化しており、自分自身がもっと積極的に国の政策について勉強していきたいと強く感じました。 ・保育制度の動向を受けて、理解を深めるためにも、こども家庭庁から出ているパンフレットやハンドブックに目を通したい。 |
| 乳幼児期の保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・「一人一人に寄り添った低年齢児保育のためのヒント集」「こどもの意見の尊重等に関する取組事例集」を園内で活用したい。 ・園内で全体研修の機会を設けて、職員間でこどもの権利、人権尊重を共通理解していきたい。 ・子どもが挑戦したいと思える環境を作っていく。職員間の認識も、間違えてもいいよ、失敗したらまた一緒に考えようと思える保育環境を作っていきたいと思いました。 |
| 保育所等のリスクマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ・各種ガイドラインについて、より深く再度知ることができ、ポイントを押さえておく必要があると感じました。 ・事故などの事案を含めて、常にアップデートされていくものであり一度学んだから良いのではなく、常に情報収集し、職員に周知実行させることが重要だと感じた。 ・職員全員が、もしかしたら起こるかもしれないという気持ちで日頃から対応策や未然に防ぐ方法を定期的に話し合っていきたい。 |
| 保育所等の組織づくりとマネジメント(概論) | <ul style="list-style-type: none"> ・保育園のマネジメントや自己評価は、保育園の向上や職員の専門性、保護者との信頼関係に繋がり重要だと改めて学んだ。 ・園の自己評価について考えるきっかけになりました。時間がなくて話し合う時間がないと思っていましたが、少しの時間でも保育を振り返る時間を作って行きたいと思いました。 ・保育者集団としてともに高めあうために、保育理念や園方針、目標を全職員で共有しておく必要性の大切さを感じました。 |
| 保育所等の組織づくりとマネジメント(演習) | <ul style="list-style-type: none"> ・離職・ICT化・人材不足・採用難・労務管理など運営課題の話で、とても理解できました。 ・ハラスメントは気づかないでしてしまうリスクがある事、何気ない言葉がけが該当してしまう事があり、園長の言葉の重みもある事を学びました。 ・演習を通して他の方の意見を聞くことができたり、チャットでの質疑応答があった事でさらに学びが深まった。 |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育者は子育ての伴走者になり、発達支援の専門家であることを自覚し、観察・省察・カンファレンス等さまざまなこども理解のための保育実践を推奨しなければならないと学んだ。 ・様々な保護者やこども達が通いやすくなる為には少し配慮が足りていなかったかもしれないと改めて考えさせられた。 ・他の科目でも感じたことですが、こども基本法の基本理念にすべて繋がっているということを改めて感じました。 |
| 地域に開かれた保育所づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・連携、協働先の一つ一つの役割をもっと知りたい。そのうえで自園の社会資源マップを作成し、地域の方々に、あそこの保育園にいけば何かしてくれると思ってもらえるような園にしていきたいと感じました。 ・園児の園を通しての地域の方々との関りは把握できているが、家庭に戻った際に保護者を含めどのような関りを行っているかの把握は行っていなかった。新しい視点を頂けたと感じた。 |

4-1. 各研修の状況について【2-1.2.3.4】初任保育所長等研修 さらに知りたかった内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、さらに科目ごとにリクエストがあった内容について、抜粋して記載いたします。

| 科目 | 内容 |
|-----------------------|---|
| 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ こども子育て支援制度の概要 ・ 保育指針の改定について、保育の質の確保・向上について ・ こども誰でも通園制度 ・ 小学校との接続「架け橋プログラム」に関しての今後の取り組みや方向性 |
| 乳幼児期の保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境を通して行う保育について ・ 発達段階にあわせた保育の進め方や主体性を広げていく保育について ・ 肯定的なこどもと関わり方について具体的な方法 ・ 保育者間で保育に関する共有、対話する時間をどのように確保するか |
| 保育所等のリスクマネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギーの、事例と再発防止について ・ 園児の置き去りや抜け出し、誤嚥などの事故防止など重大な事故を防ぐための手立て、アイデア、最新のITCを活用した事例など ・ ヒヤリハットの事例、対応方法 ・ 園長としての緊急時の役割分担や保護者対応のポイント |
| 保育所等の組織づくりとマネジメント(概論) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な役職・経験の異なる職員に対しての資質向上 ・ ミドルリーダーの育成方法 ・ 不適切保育において、事例等 ・ 理念を日々の保育に自然に結びつけ、組織全体で共有していくための仕組みづくり |
| 保育所等の組織づくりとマネジメント(演習) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 労務管理について ・ マネジメントの方法について、他の園との情報交換 ・ 業務改善を進める際に職員との連携の具体的な方法 ・ 働きやすい環境づくりの詳細について |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 理不尽な要求を繰り返す保護者対応 ・ 保護者の子育ての心配事や困りごとの改善方法 ・ 小学校との連携について ・ 保護者からの相談時におけるカウンセリング的な話し方などを知りたい |
| 地域に開かれた保育所づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 連携・協働先リストにおいて、各機関と具体的にどのような協力体制がとれるのか知りたかった。どんな相談に対してどんなアプローチ、対応があるのか等。 ・ ハイリスクや要支援家庭への対応方法や多文化家庭の対応など、事例などをもとに話を聞く機会があれば聞きたいと思いました。 ・ 地域の子育て家庭への支援について具体的ななかかわり方など事例 |

■ 4-1. 各研修の理解度の変化について【2-1.2.3.4】初任保育所長等研修 ※2/26時点で修了と確認できた方*1の受講前・受講後の比較 (単位：人)

●保育制度の動向を知っている



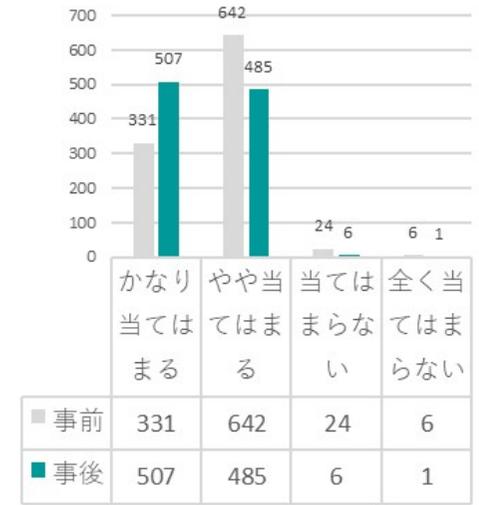
●関係法令等を知っている



●保育所等における各種ガイドラインを理解している



●保育所保育指針を踏まえた保育を実践している



●保育の質の向上を図るための保育所長等の役割を理解している



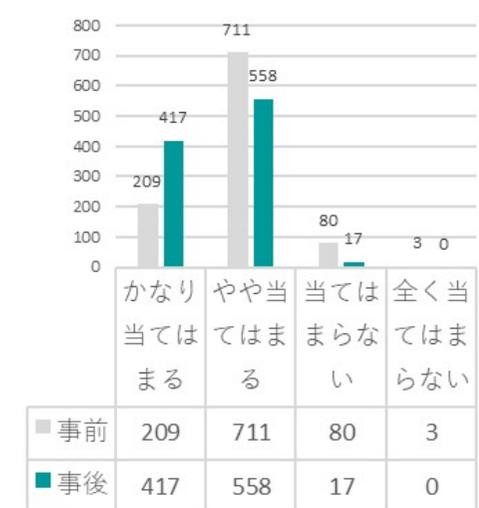
●保育所における感染症ガイドラインを理解している



●保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを理解している



●児童福祉施設における食事の提供ガイドを理解している*2



*1 事前課題提出者1,003人のうち2月26日までに事後課題の提出が未提出だった【2-2,2-3】2名の方を除いた1,001人が事後課題の人数となっています。

*2 事後課題の設問において【2-1,2-2,2-4】の方が必須回答ではなく、任意回答となっていたため、回答者人数に差が生じています。

■ 4-1. 各研修の理解度の変化について【2-1.2.3.4】初任保育所長等研修 ※2/26時点で修了と確認できた方*1の受講前・受講後の比較 (単位：人)

●組織マネジメントにおける保育所長等の役割を理解している



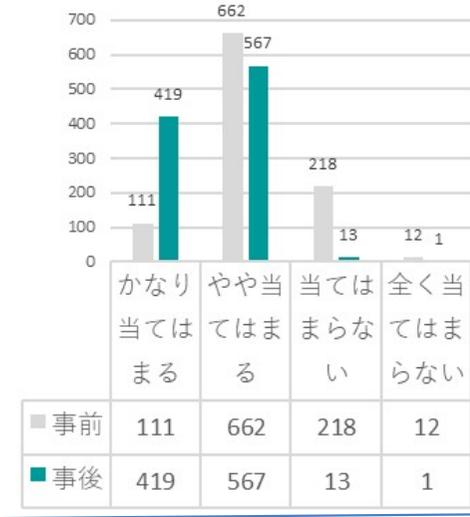
●働きやすい職場づくりを理解している*2



●職員の資質向上を理解している*2



●保育所の運営における課題への対応を理解している



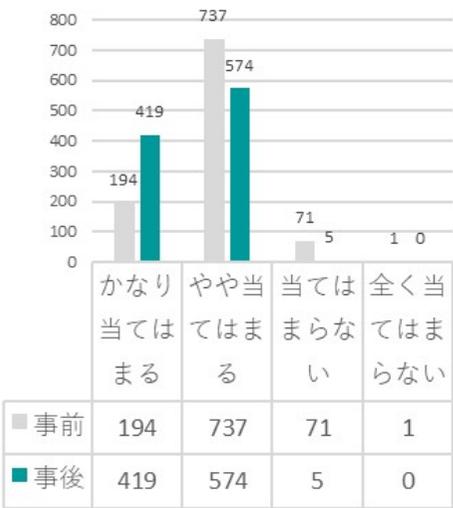
●保育所等における子育て支援に関する基本的事項を理解している



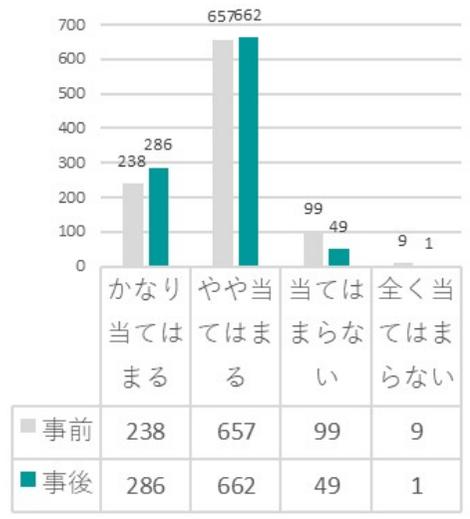
●保育所等を利用している保護者に対する子育て支援を理解している



●地域における保育所等の役割を理解している



●地域及び関係機関との連携・協働を行っている



*1 事前課題提出者1,003人のうち2月26日までに事後課題の提出が未提出だった【2-2,2-3】2名の方を除いた1,001人が事後課題の人数となっています。

*2 事後課題の設問において【2-1,2-2,2-4】の方が必須回答ではなく、任意回答となっていたため、回答者人数に差が生じています。

■ 4-1. 各研修の理解度の変化について【2-1.2.3.4】初任保育所長等研修 ※2/26時点で修了と確認できた方*1の受講前・受講後の比較 (単位：人)

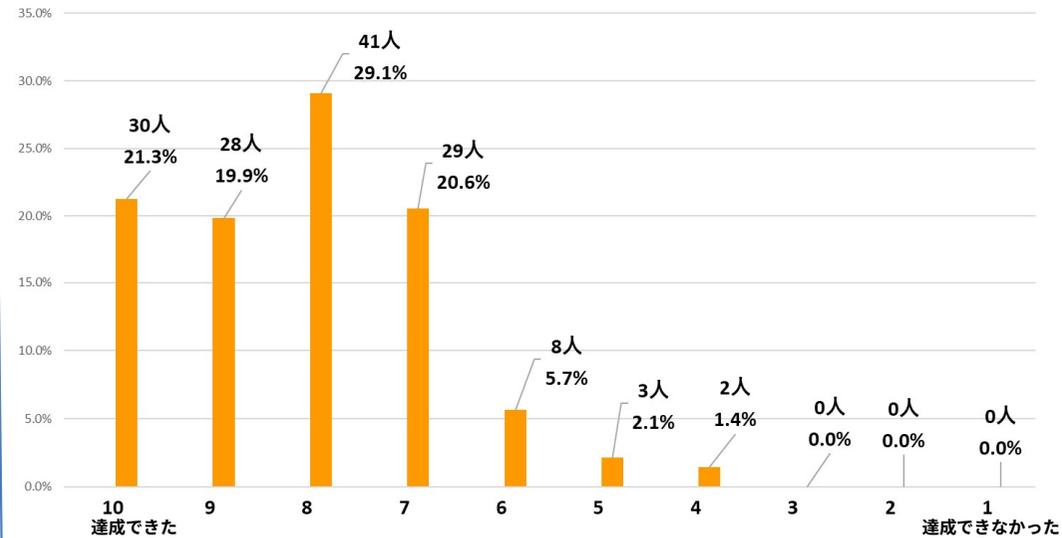
●保育所等における地域子育て支援を実践している



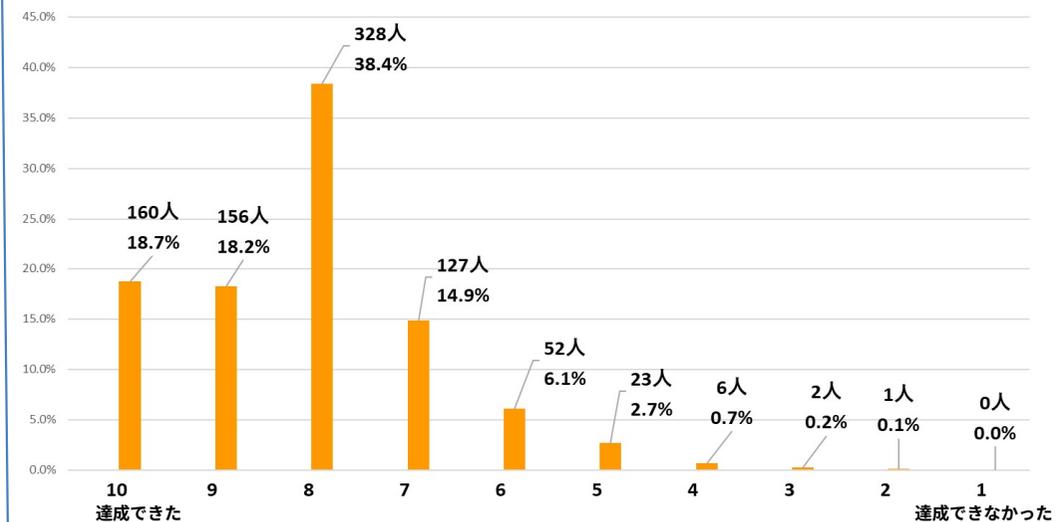
●児童虐待の防止対策について知っている



●研修のねらいの達成度<集合型>*



●研修のねらいの達成度<オンライン型>*



*1 事前課題提出者1,003人のうち2月26日までに事後課題の提出が未提出だった【2-2,2-3】2名の方を除いた1,001人が事後課題の人数となっています。

【初任保育所長等研修 理解度の変化および、達成度についての考察・所感】

○全ての項目で、事前に比べて『かなり当てはまる』の割合が事後で増加し、一で『やや当てはまる』『当てはまらない』『全く当てはまらない』の割合が減少しました。以上のことから、研修は効果的に理解促進に寄与したと考えられます。

○研修のねらいの達成度は、集合型オンライン型ともに10段階評価で「8」が最も多く、それぞれ29.1%、38.4%を占めました。達成度6以上の合計は集合型で96.6%、オンライン型で96.3%となり、達成度5以下の合計はそれぞれ3.5%、3.7%でした。中堅よりはやや低いものの、研修のねらいを高いレベルで達成できたと考えます。 *小数点第2位以下を四捨五入のため100.1%となっています。

4-1. 各研修の状況について【3-1】初任保育所長等（就任予定者）研修 講義内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、科目ごとの詳細の感想を事後課題より抜粋して記載いたします。

| 科目 | 内容 |
|--------------------------------------|---|
| 研修全体について | <ul style="list-style-type: none"> ・受講する前は、既知っていることの確認が中心になるかとも思っていたのですが、実際には多くの新たな気づきがあり、所長としての職務について自分自身で深く考える貴重な機会となりました。事例を交えて非常に分かりやすく研修していただきました。 ・保育に関する各種ガイドラインもこの研修の機会がなかったらここまで目を通す機会がなかったかもしれません。 ・今後活用でき、職員等にも周知が出来る内容でとてもありがたかったです。 ・保育未経験者のため、知らないことが多く受講できてよかったです。 |
| 保育所等の社会的役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・園の役割がこどもの教育・保育以外にもさまざまあることを再確認した。職員一人一人が専門性を発揮し協働して保育に当たることが大事だということ学びました。 ・保育所の社会的役割は、園児や保護者だけでなく、地域全体の安心・福祉を支える“社会のインフラ”であると強く感じました。 |
| 保育所長等の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの健康と安全、保育計画、子育て支援、人材育成と所長の役割が多岐にわたることを学んだ。法令を遵守しつつ働きやすい職場環境を整え、人材不足等に対応したいと感じた。 ・保育所長は園の顔でありこども・保護者・職員・地域社会から信頼される存在でないといけないことを学びました。 |
| 子どもの発達と保育の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達を年齢別に説明していただいたことで、理解が深まった。ICTの有効な活用法を知る事が出来た。 ・保育所保育指針に沿った保育所の役割と5領域をはじめとした保育のポイントを確認できた。 ・こどもが生まれて、「生きてゆく最初の6年間を保育する」ということに、改めて保育の重要性を実感した。 |
| 保育所等における健康・安全 (食事の提供ガイド) | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所等での食事がこどもの発育を支えるものということだけではなく、心身の成長に大きく関わることを学びました。 ・食べる行動（手づかみ、食具の扱い、姿勢、食品の選択）発達に沿った食事や食事環境について学んだ。 ・栄養士、調理士、保育士と毎月給食会議をしているが、毎月の献立にこども達の事を考え献立食材の検討が必要だと思いました。 |
| 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の現場において、日常あらゆる所で、安全性の部分など様々な所で知識と留意点が必要だと感じました。 ・5つの死亡事故リスク場面は特に注意が必要であり、日常的なヒヤリハットの報告、リスク情報共有、対処方法についても学ぶ事ができました。 ・事故が発生した場合は迅速な行動ができるように、準備や想定をしておきたい。 |
| 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児のアレルギーの進行の段階的な様子や、アナフィラキシーが起きた時の対応方法などを詳しく学ぶことができました。 ・ミニドラマがとてもわかりやすく緊急時の対応やエピペンの使用方法がよくわかり、自分でもエピペンの実物を見て使えるようにしたいと思いました。 |
| 保育所における感染症対策ガイドライン | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所における感染症対策の重要性、感染経路別の対策について学んだ。 ・保育の現場では「こどもを守る」という意識のもと、職員全員が同じ基準で行動することの大切さを改めて実感しました。 ・手洗いや消毒、換気などの基本的な対策が日常の中で習慣化されることで感染症の予防だけでなく、こども自身の健康意識も育まれると実感しました。 |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い職員がいる施設として、子育ての状況を把握し安心できる対応を行っていくことが大事だと感じた。 ・虐待事案については個人情報保護に優先する案件であると理解した。多様化する世の中において、この子育て支援が保育所の主たる業務であるとすら感じられた。 ・保育士はこどもだけでなく、保護者の心の支えにもなっていると感じました。 |

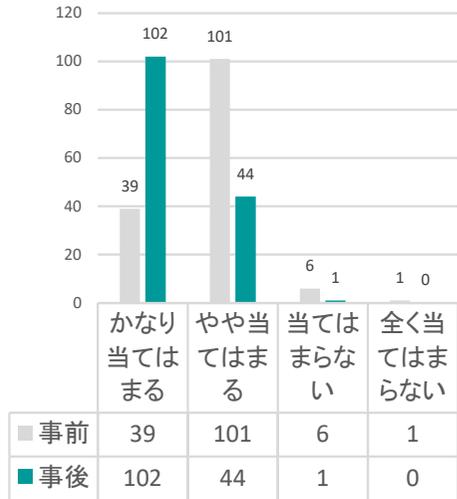
■ 4-1. 各研修の状況について【3-1】初任保育所長等（就任予定者）研修 さらに知りたかった内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、さらに科目ごとにリクエストがあった内容について、抜粋して記載いたします。

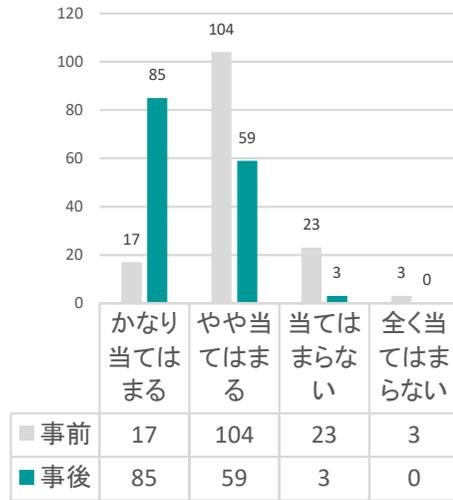
| 科目 | 内容 |
|--------------------------------------|---|
| 保育所等の社会的役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会的役割を具体的に地域で発揮している保育所の実践事例 ・多機能化や、インクルーシブ保育の具体的な実践方法や、障害児・医療的ケア児への支援体制づくり ・地域の関係機関と園とのかかわり方（連携の方法） |
| 保育所長等の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所長が推進する保育士の業務効率化、及び質を保ったままでのいい環境作りについて ・職員間のコミュニケーションをより円滑にするための具体的な方法 ・ハラスメント防止・メンタルヘルス支援など、職員が安心して働ける職場づくりの実践例について |
| 子どもの発達と保育の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・大人数の中でのこどもの興味・関心の分類・組みわけの効果的な方法 ・「やってみたい」を引き出すような保育環境の具体例 ・乳幼児の発達に応じた具体的な保育の工夫や、自己評価を活用した改善事例 ・こどもの発達を多面的に読み取る力について職員へ伝える方法 |
| 保育所等における健康・安全（食事の提供ガイド） | <ul style="list-style-type: none"> ・窒息や誤嚥予防のポイントで、危険な食べ方、食べさせ方等、事例や体験談等 ・離乳食の食事提供時の注意点 ・偏食や食への興味が薄いこどもへの個別支援の具体的な事例 |
| 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリ・ハットについて具体例 ・事故発生後の対応や園長としての心構え ・効果的な安全計画・BCPの作成方法について |
| 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン | <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応が必要なお子様の保護者に対するケアや、アドバイスなど ・食物アレルギーの症状が出た際の、受診・通報の現場での具体的な判断基準について ・保護者や医療機関との情報共有の方法や、除去食から解除までの流れを安全に進めるための他園の取り組み事例 |
| 保育所における感染症対策ガイドライン | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生時の記録の重要性や、医療関係者・関係機関との連携・情報共有の活用方法など ・感染対策について、家庭での健康管理や登園判断をどう共有・協力依頼、保護者への伝え方や啓発の工夫 ・感染症の拡大事例や、対策事例、効果的な薬剤の使い方など |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の心理的虐待やネグレクトへの対応方法について ・子育て支援としての保護者様との関わり、また友好的な手段等について ・地域との交流の実例など |

4-1. 各研修の理解度の変化について【3-1】初任保育所長等（就任予定者）研修 ※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

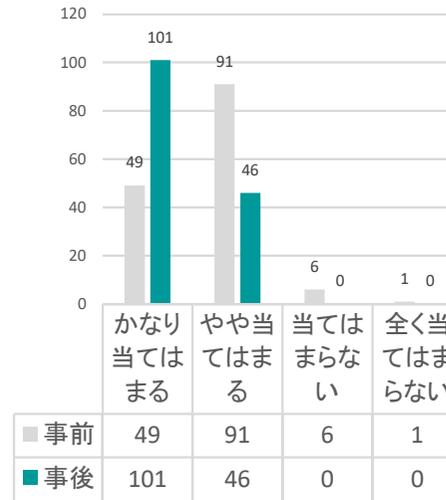
●子育てを取り巻く社会的な状況を理解している



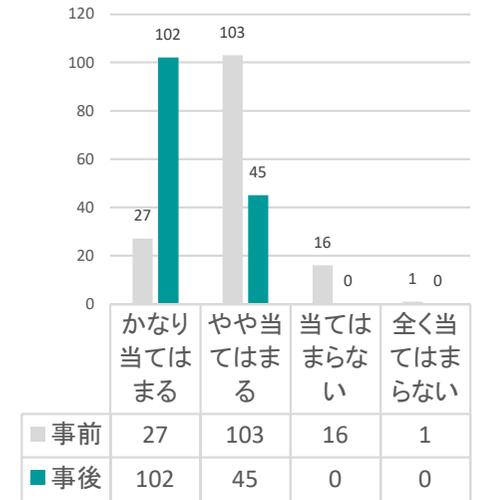
●保育制度の動向を知っている



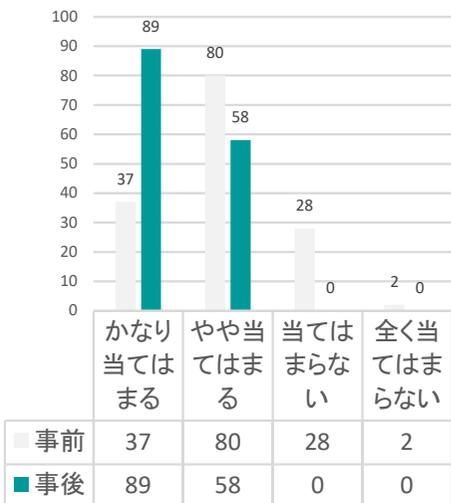
●保育所等の社会的役割を理解している



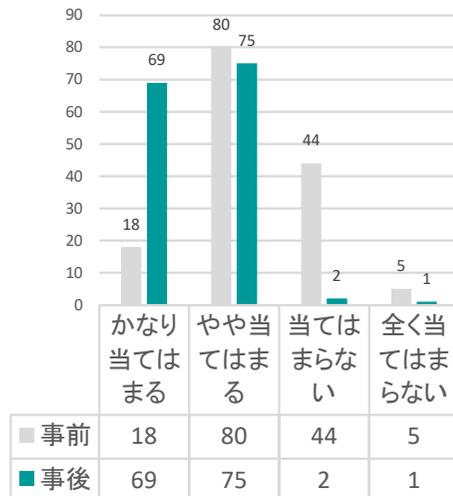
●保育所長等の役割を理解している



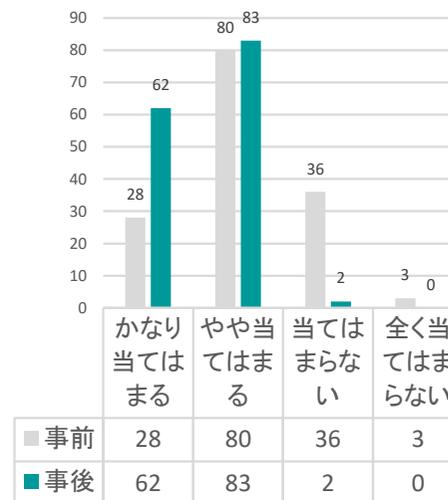
●保育所等の運営と法令遵守を理解している



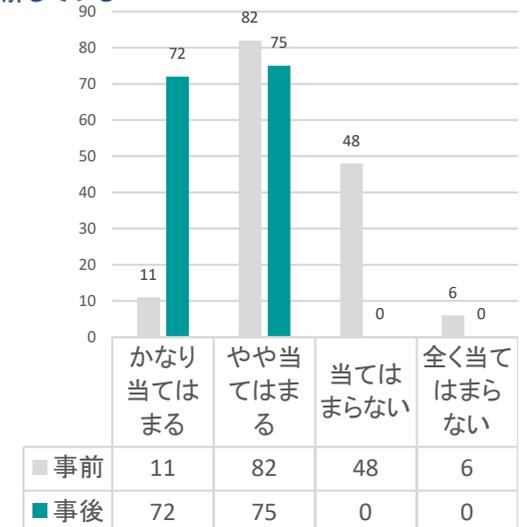
●乳幼児期の発達の特徴および発達過程を理解している



●保育所保育指針を理解している

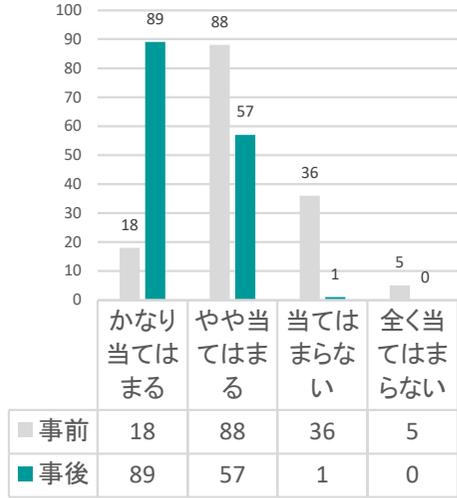


●児童福祉施設等における食事の提供ガイドを理解している

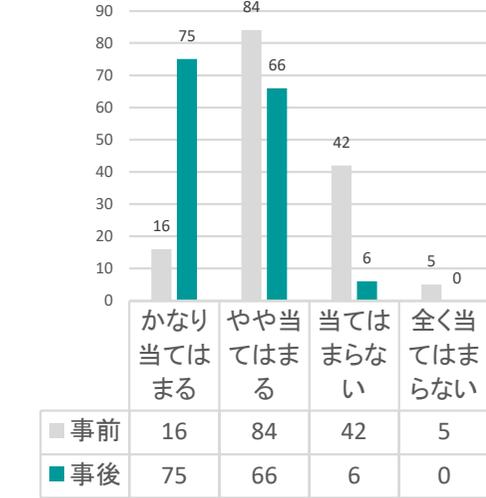


■ 4-1. 各研修の理解度の変化について【3-1】初任保育所長等（就任予定者）研修 ※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

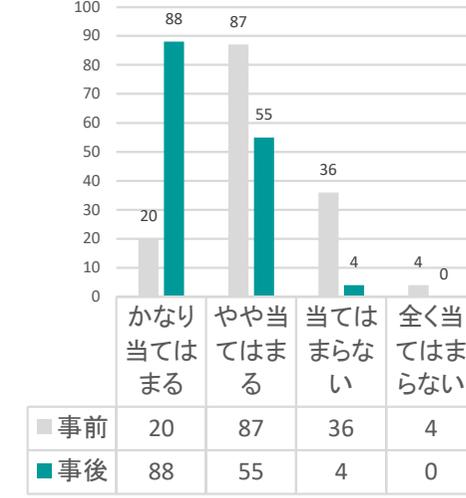
●教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインを理解している



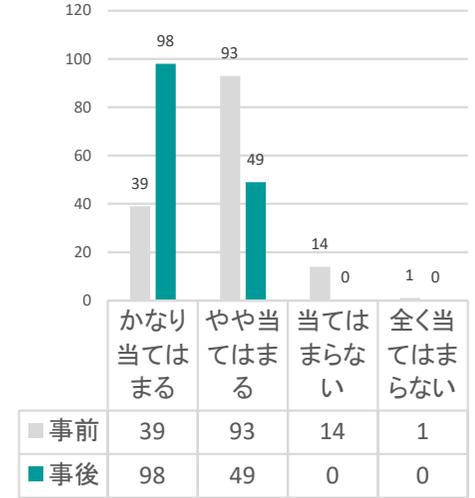
●保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを理解している



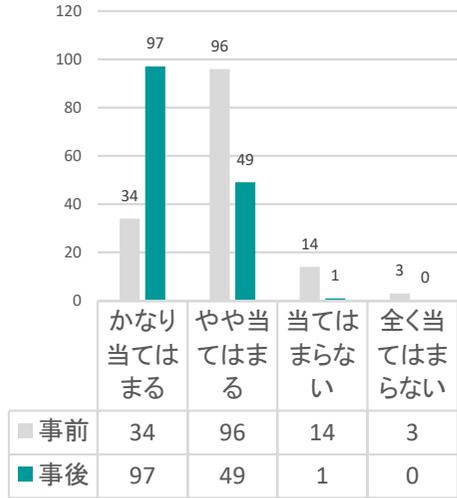
●保育所における感染症ガイドラインを理解している



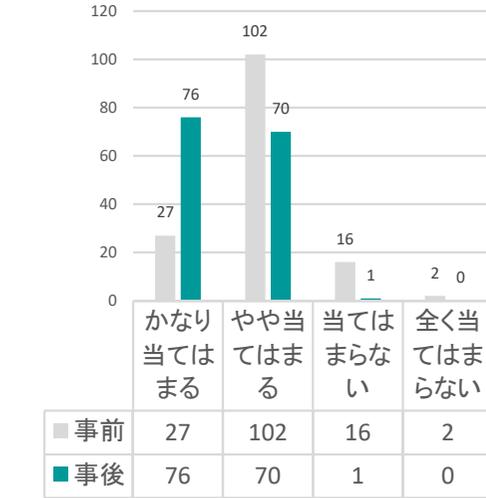
●子育て支援の意義を理解している



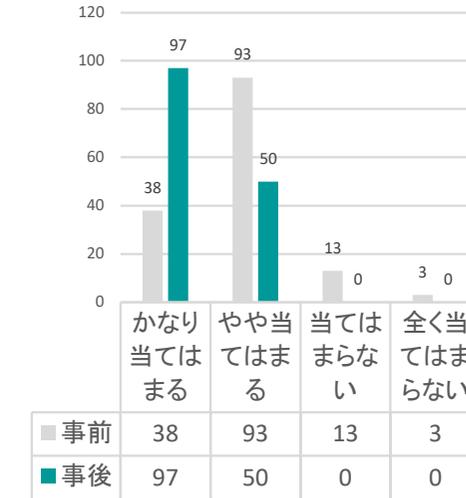
●保育所等を利用している保護者に対する子育て支援を理解している



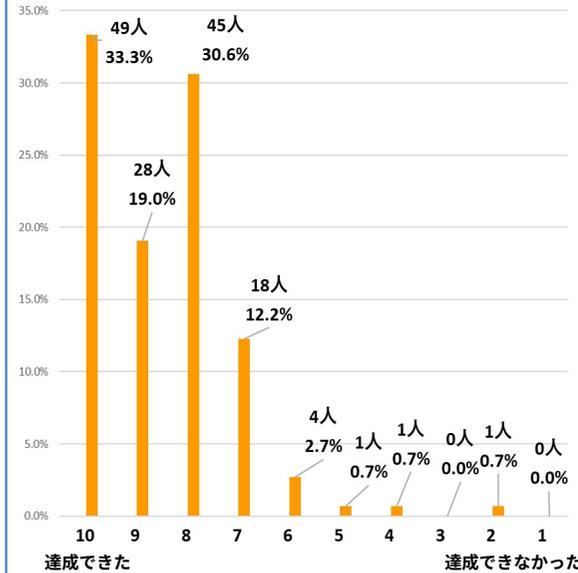
●地域における子育て支援を理解している



●児童虐待の防止対策について知っている



●研修のねらいの達成度*



【初任保育所長等（就任予定者）研修 理解度の変化および、達成度についての考察・所感】

○全ての項目で、事前と比べて事後に『かなり当てはまる』の割合が増加し、『やや当てはまる』『当てはまらない』『全く当てはまらない』は減少しました。所長と比較しても事後の『かなり当てはまる』の割合が高まっており、研修による理解度の向上がより顕著であると考えられます。

○研修のねらいの達成度は、10段階評価で「10」が最も多く、33.3%を占めました。達成度6以上の合計は全体で97.8%、達成度5以下の合計は2.1%となり、研修のねらいを非常に高いレベルで達成できたと言えます。*小数点第2位を四捨五入のため99.9%となっています

4-1. 各研修の状況について【4-1.2.3】初任主任保育士研修 講義内容に関して

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、科目ごとの詳細の感想を事後課題より抜粋して記載いたします。

| 科目 | 気づき・研修を受けて今後にかしたい事 |
|------------------|--|
| 研修全体について | <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生方の話しが、とてもわかりやすく、実感できるものだった。具体的なワークや実践例の紹介などで、園で実践してみたいものが多かった。 ・日頃、同じ職位の方とお話する機会が少ないので他園の話聞く事ができ、自園でも活かせる事を学びました。 ・子どもだけでなく、職員一人一人にも目を向け、自信をもって保育を楽しみながらできるような環境づくりも行っていきたい。 ・対面受講でなくても、グループワークの機会が多数あり、みんなで学んでいるという気持ちで受講できました。 |
| 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭庁が示している保育政策の新たな方向性について、詳しく知ることができた。 ・「はじめの100か月」について日々の保育に活かしたい。 ・虐待を防止することもとても重要であると思うので、子どもの安全と人権を守れるように職員間で共有していきたい。 ・『誰でも通園制度』の理念を理解した上で、保護者への情報提供や将来的な受け入れ準備を行う必要があると感じた。 ・職員と虐待に関して、国の動向・政策を周知する場を定期的に設けていきたい。 |
| 保育所等における主任保育士の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・主任としての役割で、「園全体の把握、職員との対話」が重要であると改めて感じた。 ・職員が働きやすく、働きがいがあると思えるような園の雰囲気作りや体制を整えられるようにしていきたいと感じた。 ・主任として個々の主体性を尊重し共に考える姿勢が、互いに認め合い、学び合う雰囲気を支える役割だと改めて学びました。 ・職員と対話しながら「課題となっていることは何か」「背景や要因は何か」整理し、ヒントを提示して気づきを促したり、次の保育に向けた思いやアイデアを引き出しイメージを明確にしていくことを支えていく。 |
| 子どもの発達と保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心の動きを改めて考えることの大切さを、園全体でもう一度初心に戻り考えていきたい。 ・日々の保育の記録から見えてくるもの、一定期間から見えてくるものいろいろな情報があり、自分の経験や思いで決めてしまうのではなく、多様な視点で子どもを見ていけるようになりたい。 ・子どもの人権尊重やアタッチメントの重要性に関しては、誰か一人が理解をしていけば良いわけではなく、園全体で意識を高めていかなければならないと感じた ・正解がないものだからこそ、人と対話を試みる。そこに写真があると若手でも話しやすいと感じたので実践してみたい。 |
| 保護者支援・子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や子どもの良いことや気づきから会話をし、信頼関係を築く大切さをすぐにでも知らせて園全体に実践したいと感じた。 ・『在園児の保護者に対する子育て支援』の資料を園の職員がいつでも閲覧できるように置いておきたい。 ・子どもたちと保護者をつなぐ架け橋的な役割も担っているので、親子関係がうまくいっていない家庭には積極的に介入し、必要であれば地域の福祉資源につながるような役割をしていきたい。 ・地域の子育て支援は、園庭開放や一時保育のみになっているので開かれた保育園としての活動について職員で話し合いたい。 |
| 保育所等における人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・園の理念に照らし合わせて判断する、という考え方は新たな学びでした。 ・人権の話で0歳児のチェックリストを作成したので自園でも話す時間を設け、実際にチェックリストを作ることで保育の質の向上、振り返りをしたい。 ・分散型リーダーシップについて学び、色々なリーダーの形があるというところで、職員一人ひとりにどのリーダーを目指すのか、またどんなリーダーに適しているのかを考えて、その人が力を発揮できるように促していきたい。 |

4-1. 各研修の状況について【4-1.2.3】初任主任保育士等研修 さらに知りたかった内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、さらに科目ごとにリクエストがあった内容について、抜粋して記載いたします。

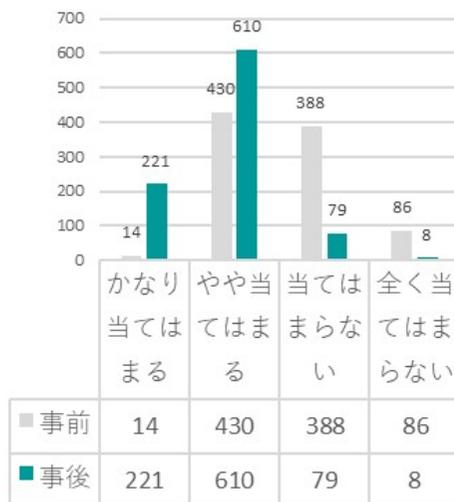
| 科目 | 内容 |
|-------------------------|---|
| <p>保育制度の動向及び関係法令等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ こども誰でも通園制度について ・ 保育士のウェルビーイング向上にむけて今後の取り組みや課題について ・ 保育DXの推進による業務改善方法や施策 ・ 処遇改善の内容や方法について ・ 配置基準等、法令に関する内容について質疑など |
| <p>保育所等における主任保育士の役割</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が働きやすい環境作り ・ 主任保育士の業務について ・ 自己評価の内容や具体的な実施方法について ・ 国の提示している、「主任」「副主任」「ミドルリーダー」の役割や立ち位置について ・ 不適切な保育に対して具体的に保育者への指導・助言の在り方 |
| <p>子どもの発達と保育</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各年齢毎の発達過程の中で気を付けなければいけないこと、特に配慮事項など ・ 記録の活かし方、記録の共有の仕方、自己評価の活用方法 ・ こどもの人権に配慮した保育について ・ 主任として、職員間の保育内容の共有についての好事例 ・ 個別対応が必要な子に対しての必要な支援やこども家庭支援センターとの繋ぎ方 |
| <p>保護者支援・子育て支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 発達の支援が必要な子の保護者へのアプローチの仕方 ・ 対人援助のための面接技法 ・ 地域の子育て支援について、実際に行われている取り組み ・ 保護者支援が難しいケースの具体的な事例および支援方法 ・ 地域を巻き込んだ保護者支援の成功事例 |
| <p>保育所等における人材育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新任の保育者に向けての人材育成の方法 ・ 主任保育士や副主任保育士等それぞれの立場における役割と連携方法について ・ 人材育成を行う上で、今の時代にあった指導方法や育成方法 ・ 園内研修の具体的な内容 ・ 人材育成や離職率を下げるために園内でどのような仕組みや研修を行っているのかのグループ討議 |

■ 4-1. 各研修の理解度の変化について 【4-1.2.3】 初任主任保育士研修 ※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

●保育制度の動向を知っている



●関係法令等を知っている



●保育所等における各種ガイドラインを理解している



●保育所等における主任保育士の役割と責務を理解している



●保育現場におけるリーダーシップを理解している



●保育現場における課題への対応を理解している



●こどもの発達を踏まえた保育実践を理解している



●保育の質の向上を図るための組織的な対応を理解している



■ 4-1. 各研修の理解度の変化について【4-1.2.3】 初任主任保育士研修 ※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

●保育所等における保護者支援・子育て支援を理解している



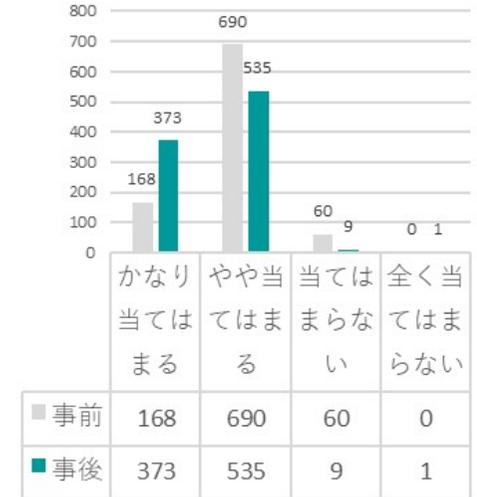
●職員の資質向上を理解している



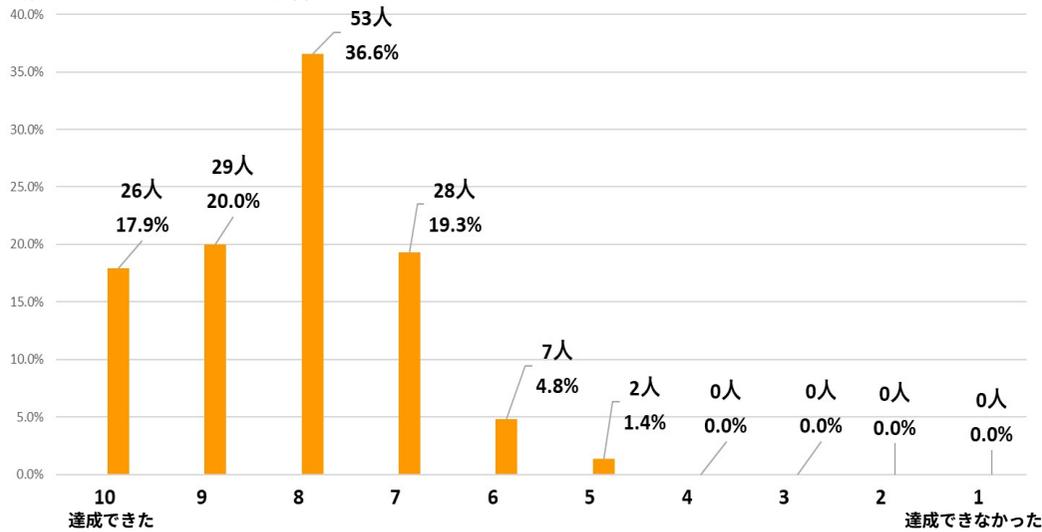
●職場における研修の企画立案・実施を理解している



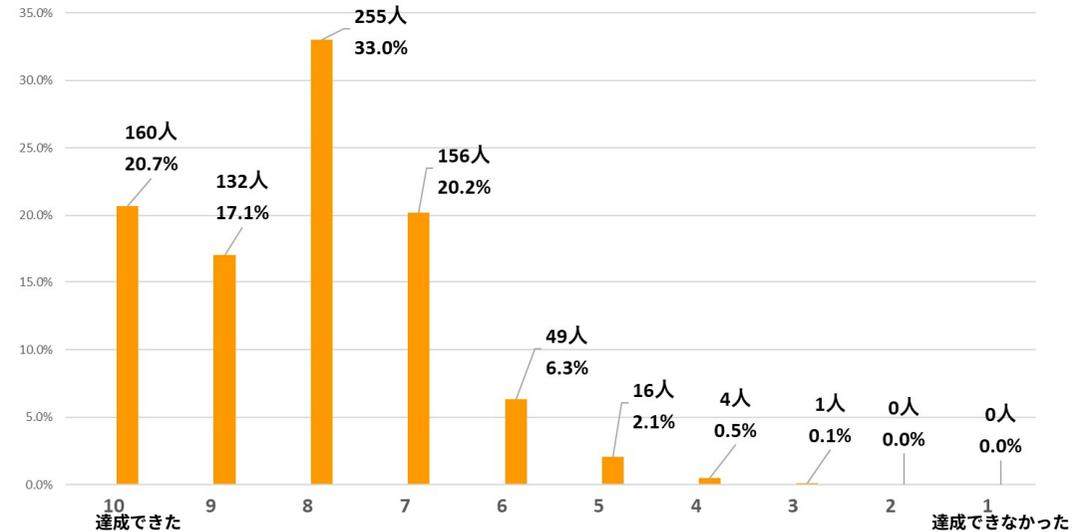
●児童虐待の防止対策について知っている



●研修のねらいの達成度＜集合型＞



●研修のねらいの達成度＜オンライン型＞



【初任主任保育士研修 理解度の変化および、達成度についての考察・所感】

○全ての項目で、事前に比べて『かなり当てはまる』の割合が事後に増加し、『やや当てはまる』や『当てはまらない』『全く当てはまらない』は減少しました。特に、関係法令に関する理解度の向上が顕著でした。

○10段階評価では「8」が最も多く、集合型が36.6%、オンライン型が33.0%を占めました。達成度6以上の合計は集合型で98.6%、オンライン型で97.3%、一方で達成度5以下の合計はそれぞれ1.4%、2.7%でした。これらの結果から、集合型の方がやや高い達成度を示し、研修のねらいを高いレベルで達成できたと考えます。

■ 4-1. 各研修の状況について【5-1.2】中堅主任保育士研修 講義内容に関して

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、科目ごとの詳細の感想を事後課題より抜粋して記載いたします。

| 科目 | 内容 |
|------------------|---|
| 研修全体について | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークが充分にあり、言語化、書式化、図式化する体験をして、重要性を再認識することができました。 ・オンラインは研修会場への移動がなく園内で講義を受けられるのは体力的にうれしかった。 ・様々な県の同じ立場の方とのグループワークでの理解、園の状況の共有ができました。 ・他の園はどうしているんだろう？と思っていたこともグループワークで話し合う事で有意義な時間となりました。園内研修で活用できるような内容だったのでぜひ取り組んでみたいと思いました。 |
| 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが平仮名表記の意味を知り、その意味に込められた思いの強さを感じました。 ・社会の流れとともに、法案が変わっていくので、その都度内容を理解し、保育へ取り入れていく必要性を感じた。 ・こどもの最善の利益を第一に考え、「こどもまんなか」を基盤とした支援や、多機関が連携して切れ目のないサポートを提供することが重要だと学びました。 ・保育士特定登録取消者管理システムなどの活用は保育士採用の上では非常に重要だと感じた。 |
| 保育所等における主任保育士の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行上のロールモデルということは、常に意識している中で、問題解決能力をもっと高めていきたいと感じました。 ・キャリアアップとキャリアラダーを理解して、離職防止につなげたり、職員全体のウェルビーイングを形成できるような保育環境、職場環境を整備していきたい ・組織全体としてよりよい保育をするために、職員の主体性を大事にしながら、よい職場風土をつくっていき、それが職員のウェルビーイングにもつながっていきけるようマネジメントしていきたい。 |
| 子どもの発達と保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・こども理解について、指針の基本から、ひとつずつ、深掘りしていき、事例のワークを行う事で、自分の認識や確認につながった。深い学びになった。 ・色々な大人が関わる中で、いろんな見方ができその子の考えや、悩み、など見えてくることもある。家庭での話も大切だと思う。こどものそのままを見ながら、保育することの大切さを感じた。 ・その発達やその子に見合った経験を獲得するために必要な環境や素材の用意、しかけが保育士のスキルとしてとても重要であり、記録を使用して振り返ることの大切さを改めて考えました。 |
| 保護者支援・子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針を用いて丁寧に、説明していただき改めて保護者支援、子育て支援の大切さやどのようなことを目指していくのか方向性を確認することができて、良い学びとなりました。 ・「園での支援サイクル」の図はとてもわかりやすかった。保育者の日々の気づきが一番大事で、しっかりそれに気付けるようにしていくことが必要だと感じた。 ・気づきのポイント情報共有ツールも多面的な見方をしたり、職員間の共有に良いと思った。 |
| 保育所等における人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・改めて主任の役割を学ぶと、とても難しく、まだまだやるべきことはあると感じました。「職員を育てる」ための良いリーダーになれるよう、自分を磨いていきたいと感じました。 ・自分の意見を発言した時に、批判されずに尊重されること、自分の意見を大切に扱ってもらえ、「認められた」「自分にもできる」「この方法でいいんだ」等から保育者としての自信につながると分かった。 ・ファシリテーターのあり方やカウンセリング手法の活用について学んだので生かしていきたいと思った。 |

■ 4-1. 各研修の状況について【5-1.2】中堅主任保育士研修 さらに知りたかった内容について

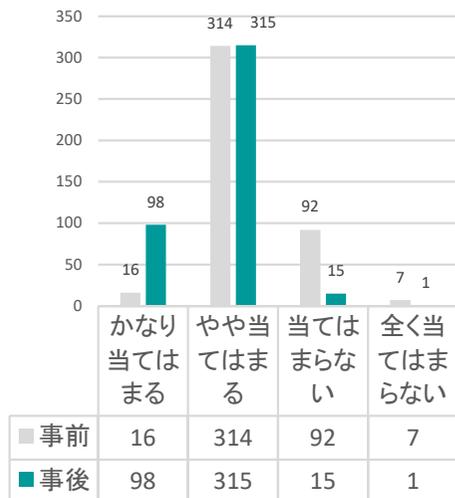
・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、さらに科目ごとにリクエストがあった内容について、抜粋して記載いたします。

| 科目 | 内容 |
|------------------|---|
| 保育制度の動向及び関係法令等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ こども大綱について ・ 保育DXについて ・ 人材確保・育成、保育の質の向上の施策について ・ こども誰でも通園制度 ・ 少子化に向かっている中で、保育園が求められる事など |
| 保育所等における主任保育士の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等における主任保育士の役割について主任同士でのディスカッション ・ 保育分野の業務負担軽減・業務再構築のためのガイドライン ・ 保育や、保護者支援、保護者への情報開示、保育の見える化を行った上での、業務負担の軽減や業務改善のやり方 ・ 新人育成について |
| 子どもの発達と保育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の記録とその活用方法について園ごとの取組、工夫点 ・ 乳児期からの保育者のかかわり方 ・ こども理解についての事例を知り、それに対してこどもたちの行動や考えなど知る ・ 月齢によっての違いや発達がゆっくりな子などについての理解や支援について ・ こども理解についての園内研修や、職員への共有について ・ 「一人一人に寄り添った低年齢児保育のためのヒント集」について |
| 保護者支援・子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不適切な養育等が疑われる家庭への支援について、いろいろなケースや事例について、どう対応していくか ・ 特別な支援ニーズを抱える保護者に対する、保育所ができる具体的な支援方法 ・ 園での気づきの記録、アセスメントシートの活用方法について ・ 地域の保護者支援に対する子育て支援の取組等 ・ 孤立を感じている親（保育園に通っていない）への具体的な支援について ・ こども家庭ソーシャルワーカーについて |
| 保育所等における人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ チーム力を高めるための園内研修について ・ お互いに肯定し合える職場風土の作り方 ・ 新卒者向けに一般的な社会マナー等を伝える園内研修の方法 ・ 新任（1～3年目）と中堅（4～10年目）など、経験年数等によつての育成の仕方や他園の事例 ・ メンタルヘルスについて ・ 園の課題から課題に向き合っている園の事例 ・ 保育現場の業務改善についての好事例 |

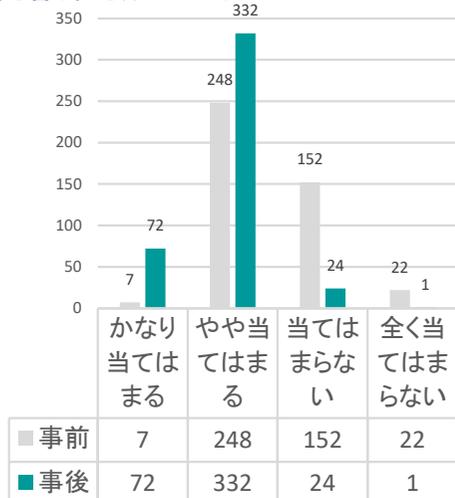
4-1. 各研修の理解度の変化について【5-1.2】中堅主任保育士研修

※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

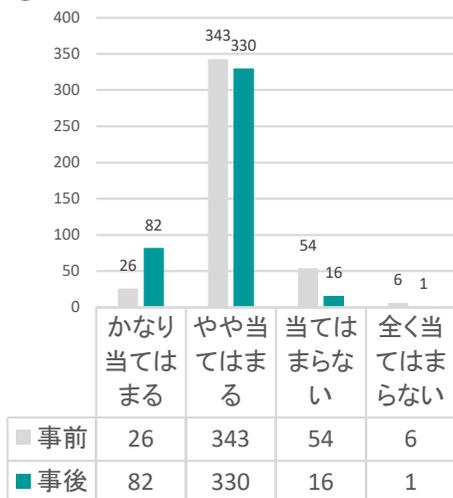
●保育制度の動向を知っている



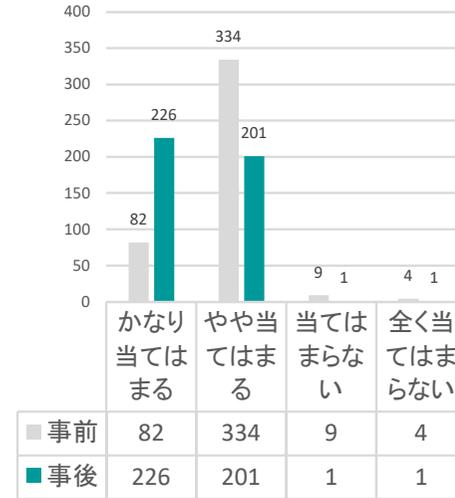
●関係法令等（保育所保育指針の改定に関する内容を含む）を知っている



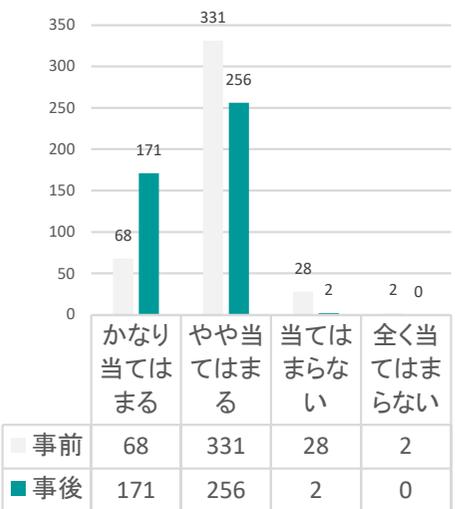
●保育所等における各種ガイドラインを理解している



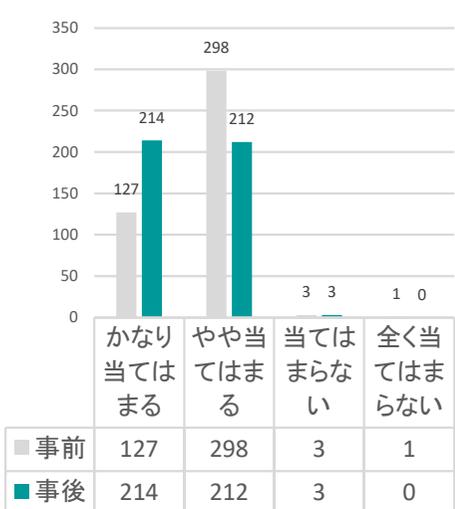
●保育所等における主任保育士の役割と責務を理解している



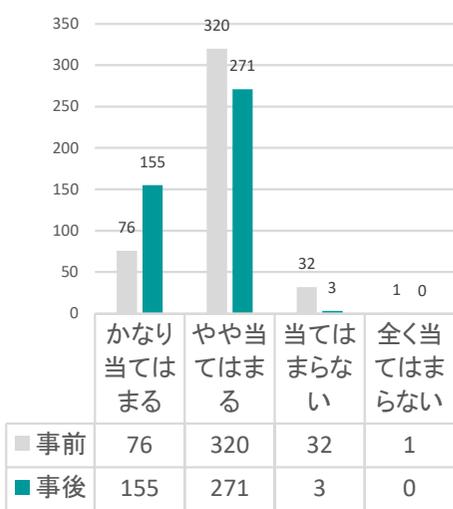
●保育現場における課題への対応を理解している



●こどもの発達を踏まえた保育実践を理解している



●保育の質の向上を図るための組織的な対応を理解している

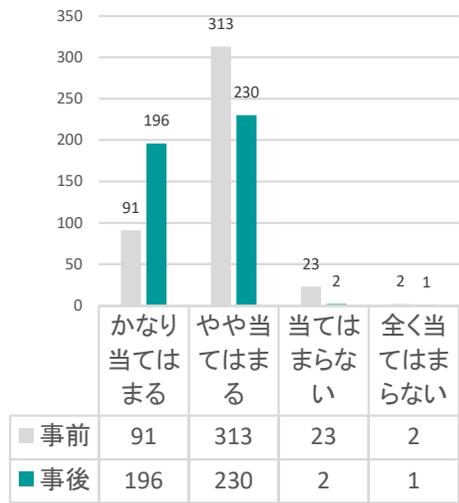


●保育所等における保護者支援・子育て支援を理解している

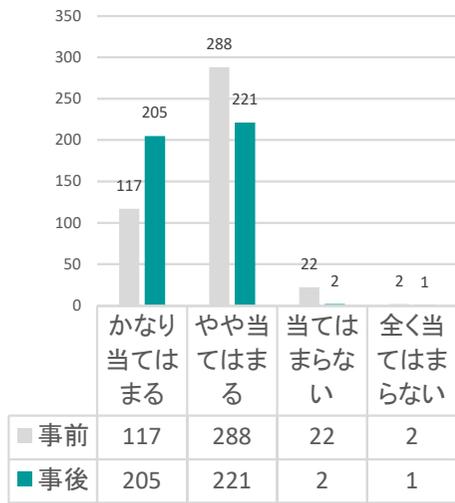


■ 4-1. 各研修の理解度の変化について【5-1.2】中堅主任保育士研修 ※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

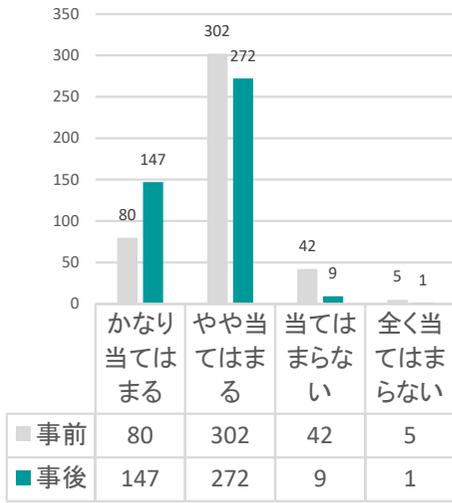
●保育現場におけるリーダーシップを理解している



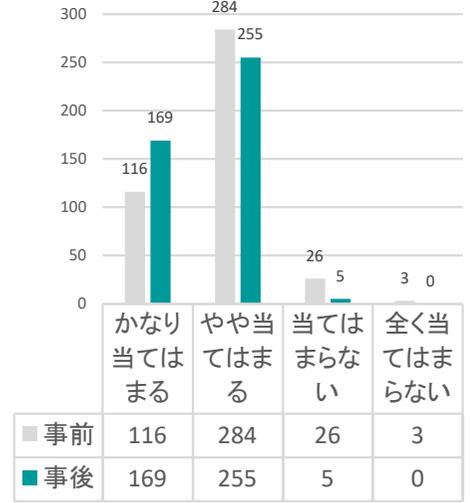
●職員の資質向上を理解している



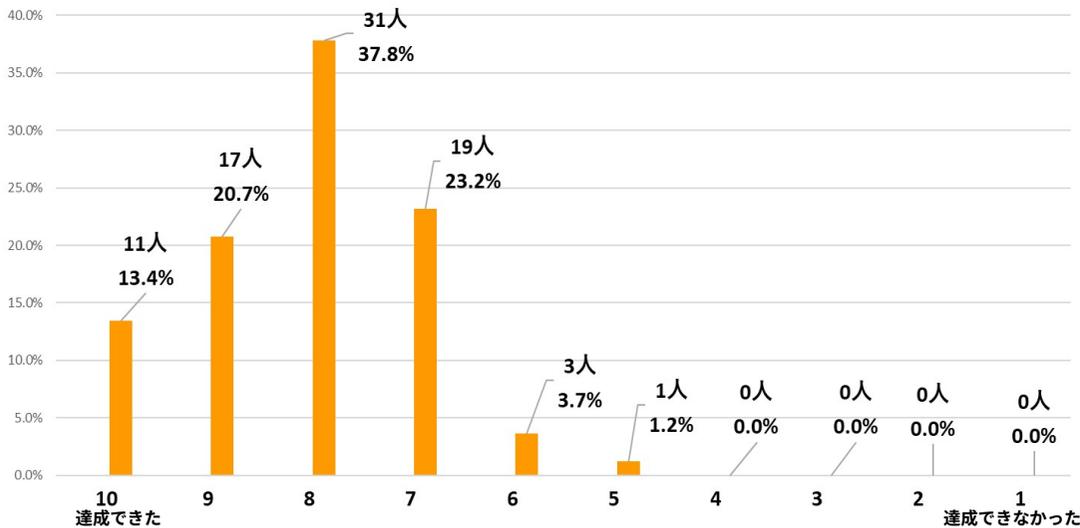
●職場における研修の企画立案・実施を理解している



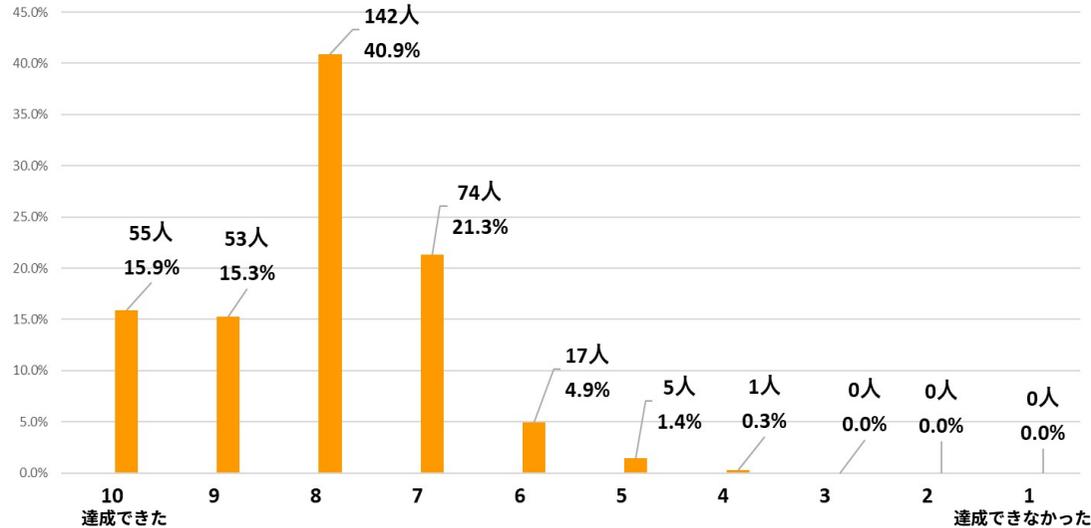
●児童虐待の防止対策について知っている



●研修のねらいの達成度＜集合型＞



●研修のねらいの達成度＜オンライン型＞



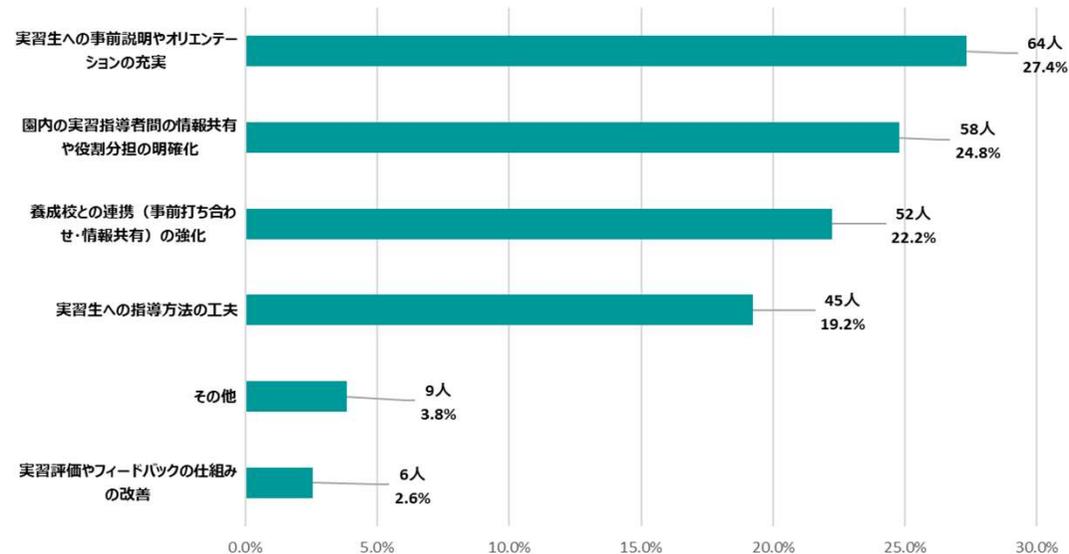
【中堅主任保育士研修 理解度の変化および、達成度についての考察・所感】

○全ての項目で、事前に比べて『かなり当てはまる』の割合が事後に増加し、『やや当てはまる』『当てはまらない』『全く当てはまらない』は減少しました。これらの結果から、研修は効果的に理解促進に寄与したと考えます。初任主任等研修と同様に、特に関係法令に関する理解度の向上が顕著でした。

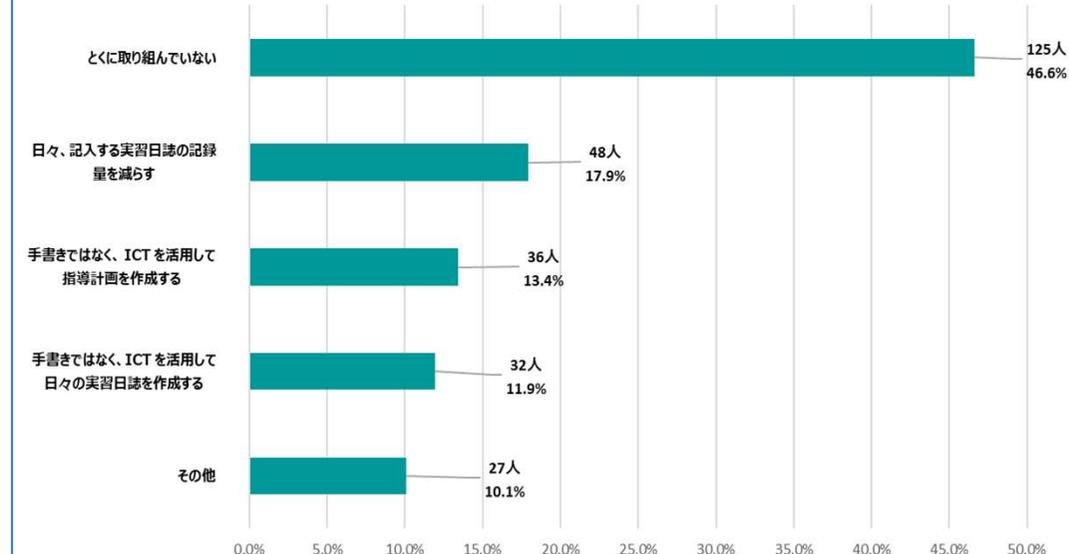
○10段階評価では「8」が最も多く、集合型が37.8%、オンライン型が40.9%を占めました。達成度6以上の合計は集合型で98.8%、オンライン型で98.3%、一方、達成度5以下の合計はそれぞれ1.2%、1.7%でした。これらの結果から、他研修と比較しても、本研修はねらいをさらに高いレベルで達成できたと考えます。

4-2. 事後課題より（保育所等実習指導研修）

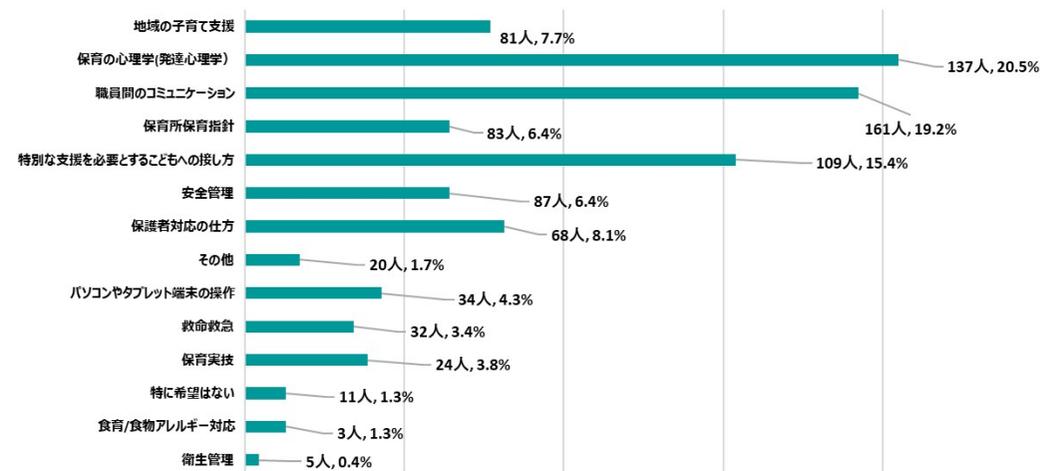
●自園の実習生受け入れについて最も改善したいと感じた点



●実習指導や養成校との連携において効率化取り組みの実施



●今後習得を希望する知識・技能



【保育所等実習指導研修の事後課題についての考察・所感】

○自園の実習生受け入れについて最も改善したいと感じた点では、『実習生への事前説明やオリエンテーションの充実』がTOPとなりました。次いで『園内の実習指導者間の情報共有や役割分担の明確化』『養成校との連携（事前打ち合わせ・情報共有）の強化』が2位、3位となりました。

○実習指導や養成校との連携において効率化取り組みの実施については、『とくに取り組んでいない』が46.6%を占めており、日々の実習日誌や指導計画の作成のICT化については、10%前半、記入する実習日誌の記録量を減らすについても17.9%とまだまだ実習指導においては業務効率化の余地があることが見受けられました。

○今後習得を希望する知識・技術は『発達心理』『職員間のコミュニケーション』『特別な配慮を必要とする子どもへの接し方』の順になりました。

■ 4-1. 各研修の状況について【6-1】保育所等実習指導研修 講義内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、科目ごとの詳細の感想を事後課題より抜粋して記載いたします。

| 科目 | 内容 |
|------------------|---|
| 研修全体について | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎から、ワークショップでの他園の悩み、養成校の先生の気持ち、実習生の気持ちなど、お互いが対話を重ね、学びの場として、質の高い研修と感じました。 ・実際に実習生のオリエンテーションから現状と照らし合わせて、振り返ることが出来ました。改善点を見つけられ、次に活かせるお話を伺えたので、良かったです。 ・講義はとても分かりやすく、グループ討議やワークショップも充実していたので実り多い研修でした。 ・最終日のグループ討議では、色々な施設の方と現状を共有でき改善策まで考えられてよかったです。 ・実習生受け入れについて、知らないことをたくさん学ぶことができました。 |
| 保育所等の社会的役割と保育士養成 | <ul style="list-style-type: none"> ・養成校の学生数の減少が保育士不足に繋がっていることを知り、少しでも保育士になりたい学生を増やすことも大事だと感じた。 ・保育者も学び続けているという現状を是非とも学生に見てもらい、保育士の思いやりがいなど知ってもらいたいと感じた。 ・保育現場の現状、傾向として伝えることに意味があることと知ることができてよかった。 ・保育園実習での学生への指導の仕方や内容がここ数年で変わりつつあると感じ改めて指導内容や指導方法を考えていかなければならないと感じた。 |
| 保育士養成と保育実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・養成校の方の訪問指導の際は、事務室で話してもらっていたが、別室で話していただきました。実習中は気が張った状態なので、実習生がどんな状態か見極めたいという先生のお話が聞けて良かった。 ・指導とは言語化していく事、感覚的なものを言葉にする、言葉を引き出し意図を伝えていく事、言葉にする大切さを感じました。 ・保育実習はできるできないではなく学ぶ過程、途中と捉え、養成校で学んだことを実践に結び付けていく場になるようにしていくことが大切だと学んだ。また保育実習ⅠとⅡの違いをよく理解して対応していきたいと感じた。 |
| 保育実習の現状と諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・養成校と顔の見える関係で対話をし、園の受け入れ職員、学生の心地よい実習という時間を作っていくことを目指したい。 ・こども理解につながる記録が書けるように、オリエンテーション時に「日々保育士が記録を取る際に意識しているポイント」を伝えていきたい。 ・保育園側から、養成校にもアプローチする必要があると気づいたので、電話などで意見交換できるようにしていきたい。 ・実習生の引継ぎノートを使用することで、職員間で実習生が1日どんなことをしていたかなどを共有しやすいと思ったので、取り組んでみたい。 |
| 保育実習指導の基本 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習生の受け入れ方など、自分の時とは考え方が大きく変わり、部分・責任実習の行い方も今の保育の仕方に合わせて行えるといののだと感じた。 ・実習は保育者としてのキャリアのスタートということが印象に残りました。 ・事前に目標を聞き、その子のタイプを職員に共有し、指導の仕方や言葉がけも園内で共有して統一できるようにしていきたい。 ・実習生の受け入れをスムーズに行うことができるようマニュアルを作成していきたい。 ・実習生を受け入れる際に安心して実習ができることを第一に、雰囲気づくりや説明書類や説明の仕方などの工夫を行っていく。 |
| 保育実習指導の実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習指導の課題を、グループで話し合うことで、各園の悩みや経験を共有できたことがとても良かった。 ・実習生に対しての価値観はこどもを育てると同じこと。保育者は子どもを主体として保育している。実習生に関しても主体は「学生」だと受け止めることが大切だと学びました。 ・園全体で未来の保育者となる実習生を支えていくことの意識作りやその為の体制を具体的に作っていきたい ・実習中の訪問指導では、時間をかけ保育所と養成校との連携を深めより良い関係性を築いていきたい。 ・職員間でも実習生が話しやすい雰囲気を作ることも意識したい。語り合える振り返りの時間を設けたいと思いました。 |

■ 4-1. 各研修の状況について【6-1】 保育所等実習指導研修 さらに知りたかった内容について

・各科目について、どの科目も満足度が高い状況でしたが、さらに科目ごとにリクエストがあった内容について、抜粋して記載いたします。

| 科目 | 内容 |
|------------------|---|
| 保育所等の社会的役割と保育士養成 | <ul style="list-style-type: none"> ・中高生へ保育士の魅力発信について ・地域や社会に向けた保育士の魅力発信について ・実際に実習生から聞かれた、指導園や指導担当者の言葉や対応で、響いたものや逆に気持ちを削いだ内容について ・養成校として保育園に対して、望んでいる事等 |
| 保育士養成と保育実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成施設との具体的な連携方法 ・実習生を迎える受け入れ側の注意点について ・保育指導者について専門性を高めるための具体的内容や学びの方法 ・学生たちが実習前にどのような授業、実習にたいしてどのように指導方法を受けているのかについて ・保育士養成倫理綱領ハンドブックについて |
| 保育実習の現状と諸課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の学生の背景や特性 ・実習に不安を抱える学生の心理的要因 ・コミュニケーションが苦手な学生への効果的な支援方法 ・実習後の振り返りをより深める問いかけ技術 ・養成校から実習園への評価やフィードバックのもらい方について |
| 保育実習指導の基本 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションなどの受け入れ資料を作成されている園の好事例 ・実習生をつまづくポイントの例や、部分・責任実習での困りごとなど ・男性保育実習生に対する養成校からの実習前指導および、実習受け入れ側の配慮点 ・自己肯定感を下げずに改善を促す伝え方 ・指導者として、実習記録をどのように読み取り、助言につなげる方法 ・部分実習、責任実習の実施内容および、計画などの園側の確認や評価方法について |
| 保育実習指導の実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習日誌の書き方や評価方法について ・養成校の実習指導で何を大切に伝えているのか。どんな内容の講義を行っているのかなど ・実習生や園の保育士の負担を軽減するため、ICTを取り入れることについての配慮点など ・実習日誌のICT化における問題事例や気をつけることなど、実践している園の事例 |

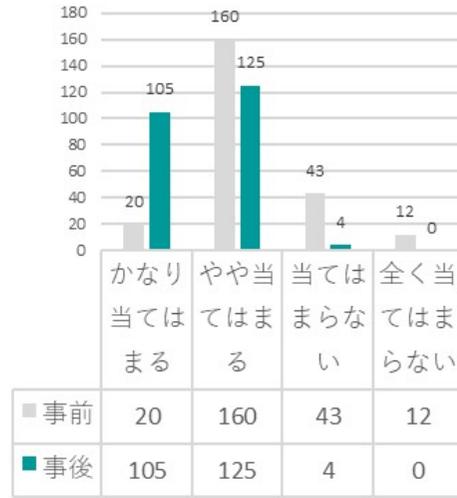
■ 4-1. 各研修の理解度の変化について【6-1】保育所等実習指導研修

※2/26時点で修了と確認できた方*1の受講前・受講後の比較（単位：人）

●保育者養成における社会的役割について理解している



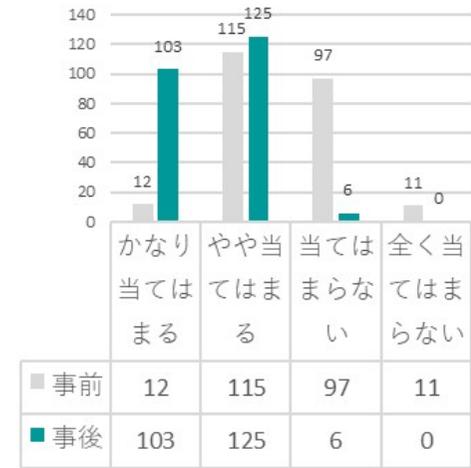
●保育者養成の動向について理解している



●保育所等における保育所実習指導の現状について理解している



●保育実習の課題の整理ができている



●実習生の実態を踏まえた実習について理解している



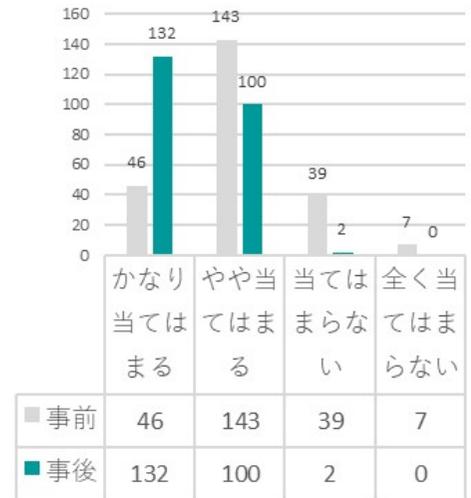
●保育実習の目的と保育実習実施基準を理解している



●指定保育士養成施設との連携について理解している



●実習生の受け入れ体制について理解している



*1 事前課題提出者235人のうち2月26日までに事後課題の提出が未提出だった1名の方を除いた234人が事後課題の人数となっています。

4-1. 各研修の理解度の変化について【6-1】保育所等実習指導研修<オンライン型>※修了者での受講前・受講後の比較（単位：人）

●保育実習の内容と指導法（記録・評価・指導等）について理解している



●効果的な保育実習指導の実例について理解している



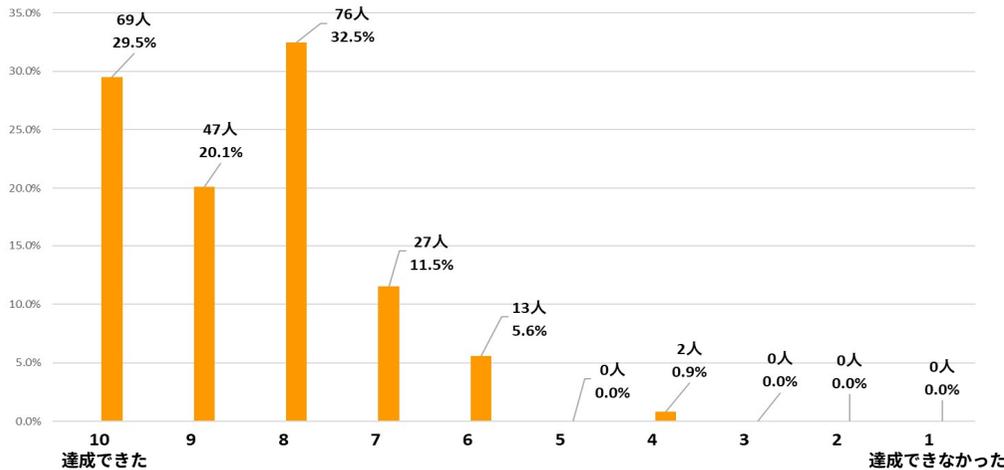
●指定保育士養成施設との保育所等の協働による職員の資質向上について理解している



●保育実習及び実習指導の実践を理解している



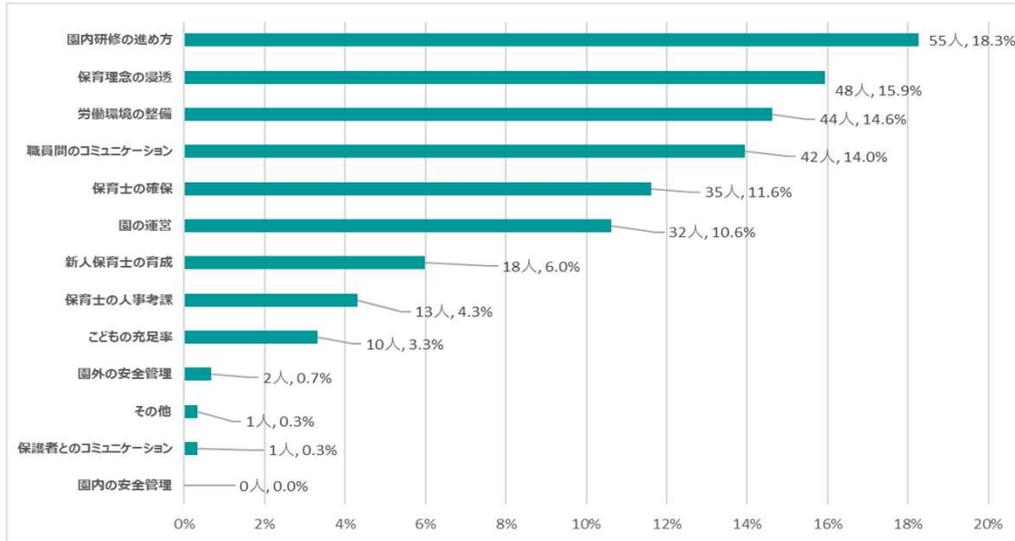
●研修のねらいの達成度<オンライン型>



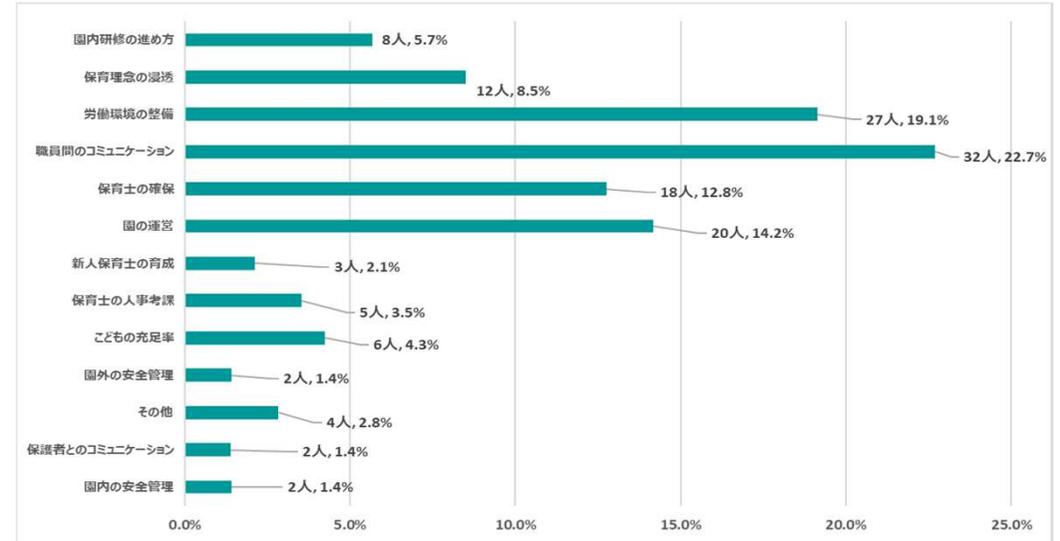
【保育所等実習指導研修 理解度の変化および、達成度についての考察・所感】
 ○全ての項目で、事前の『かなり当てはまる』が事後に増え、『やや当てはまる』『当てはまらない』『全く当てはまらない』が減っており、効果的に理解していただくことができたと考えます。他の研修と比べても『かなり当てはまる』の事前事後での増加幅が大きく、理解度の向上が特に顕著でした。
 ○10段階評価では「8」が最も多く（32.5%）、次いで「10」（29.5%）が高いスコアでした。達成度「6」以上の合計は99.2%、達成度「5」以下の合計は0.9%であり、研修のねらいの達成度は本研修中で最も高い結果となりました。*小数点第2位を四捨五入のため100.1%となっています。

■ 4-2. 事後課題より【運営上の課題と感じていること】（保育所長等研修）

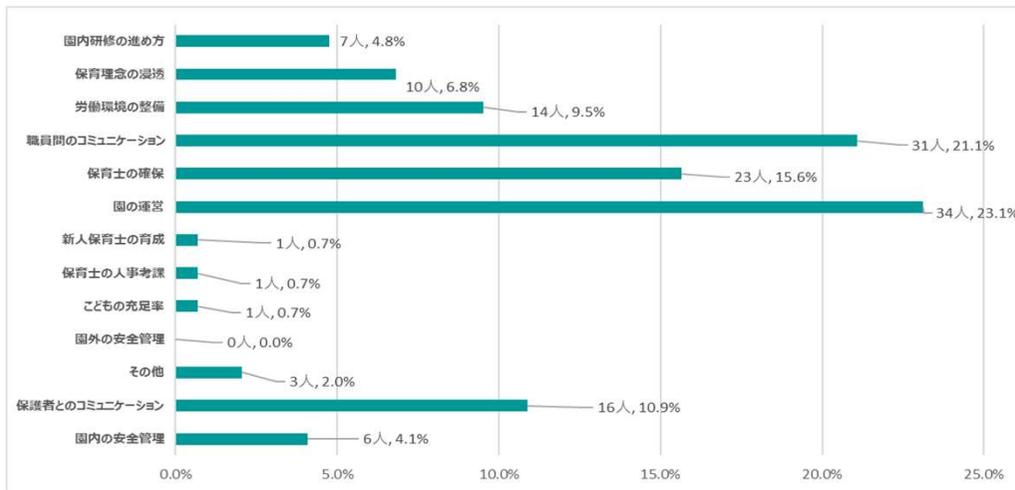
● 中堅保育所長等研修＜オンライン型＞



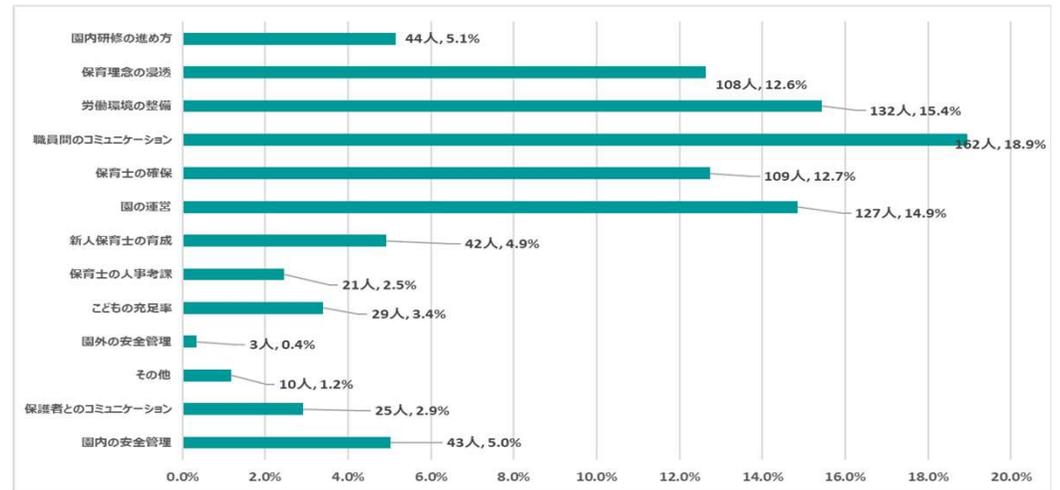
● 初任保育所長等研修＜集合型＞



● 初任保育所長等（就任予定者）研修＜オンライン型＞



● 初任保育所長等研修＜オンライン型＞



【運営上の課題と感じていること】

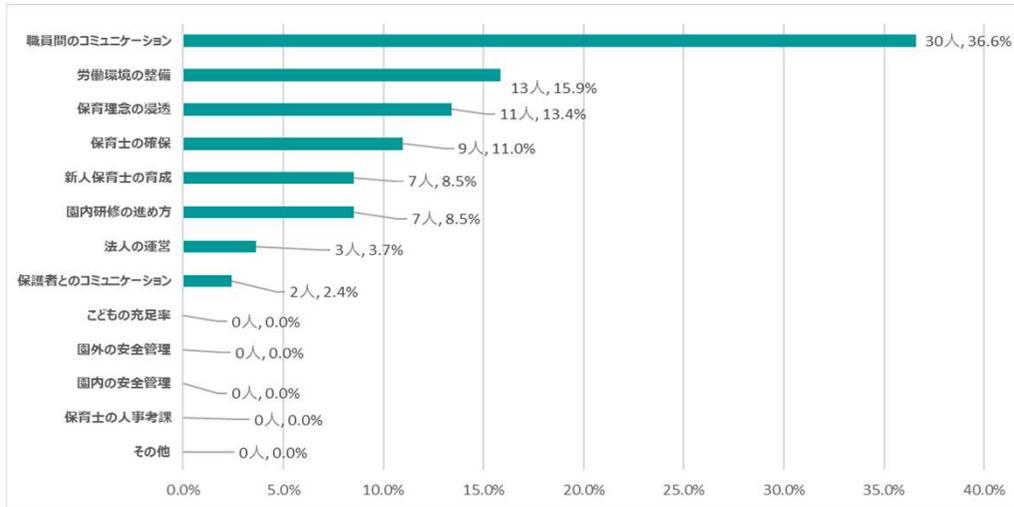
○中堅所長は、園内研修の進め方がTOPで続いて保育理念の浸透、労働環境の整備が3位となりました。経験年数が高い方なので職員間のコミュニケーションや園の運営は安定してきており、園内研修や保育理念の浸透で、より保育の質の向上に重きを置いている様子が伺えます。

○初任所長は、職員間のコミュニケーションがTOPで続いて労働環境の整備、園の運営が3位となりました。中堅所長と比べると経験年数が浅く、職員間でのトラブル等でコミュニケーションに課題があると認識されている様子です。

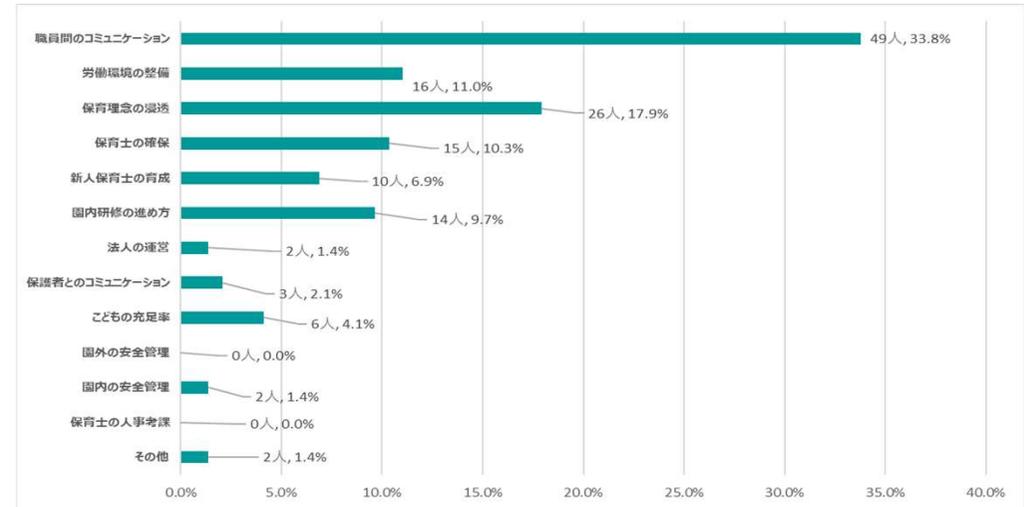
○就任予定者は、園の運営がTOP、続いて職員間のコミュニケーション、保育士の確保が3位となりました。これから就任される方々なので園の運営が気になっている様子が見取れます。

■ 4-2. 事後課題より【運営上の課題と感じていること】（主任保育士研修）

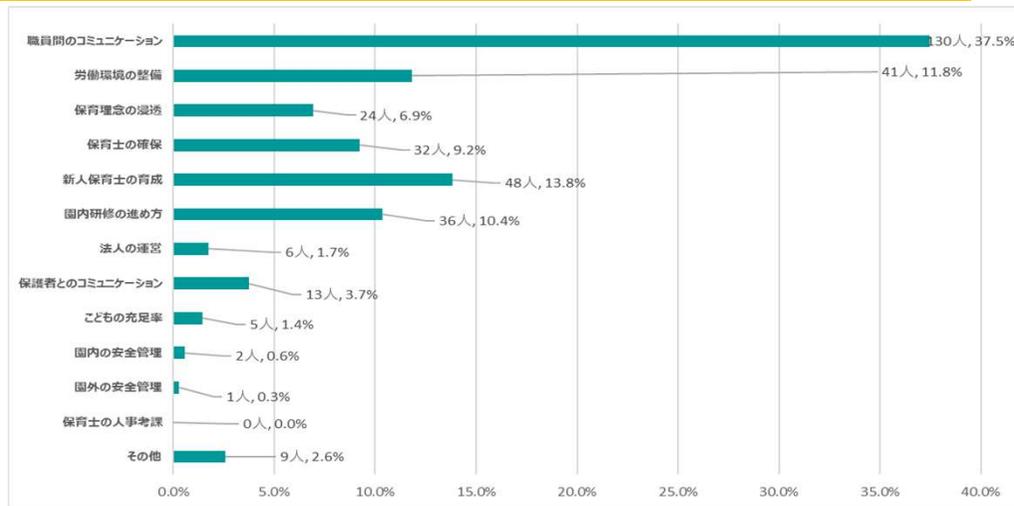
● 中堅主任保育士研修＜集合型＞



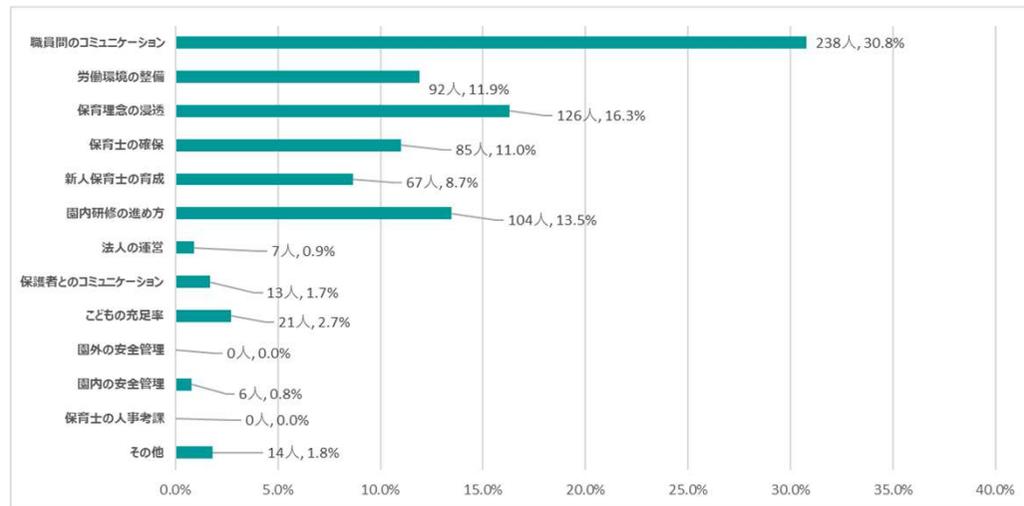
● 初任主任保育士研修＜集合型＞



● 中堅主任保育士研修＜オンライン型＞



● 初任主任保育士研修＜オンライン型＞

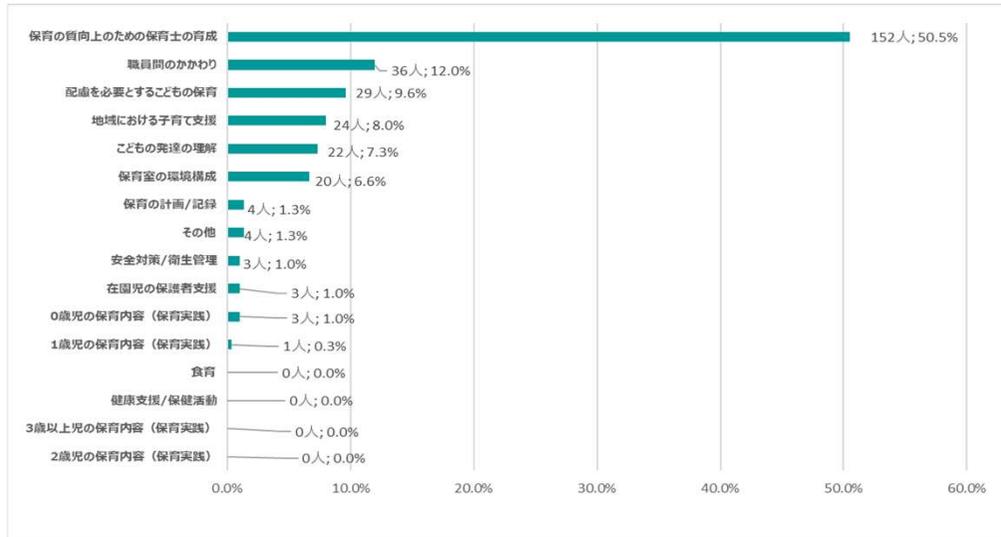


【運営上の課題と感じていること】

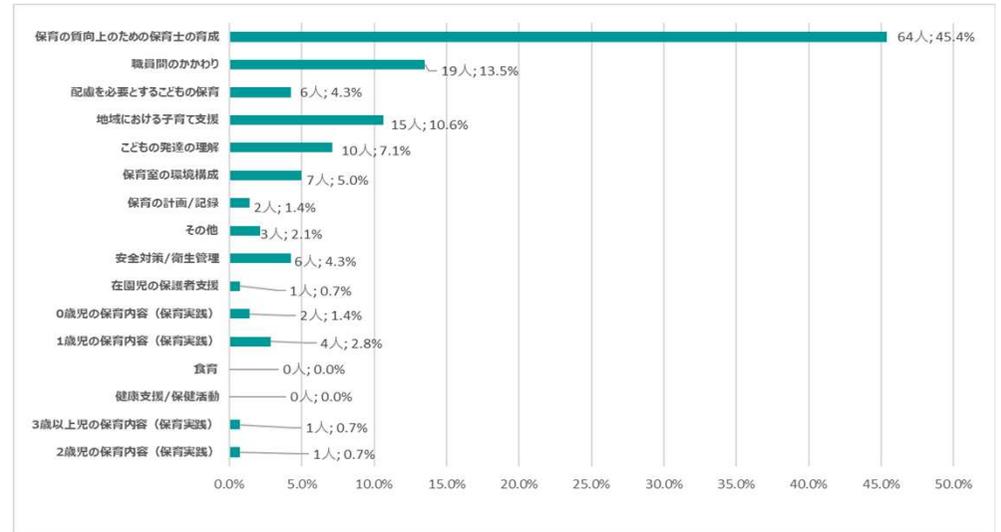
- 主任に関しては、中堅・初任ともいずれも職員間のコミュニケーションが突出してTOPとなっていました。これは年代・経験年数の異なる職員間の調整の難しさ、主任としての立場（管理職と現場の板挟み）意見調整役、チーム内の雰囲気づくりを担っている現状が反映されていると考えられます。
- 中堅主任保育士研修の集合型とオンライン型での課題認識の項目差については、オンライン型の受講者の方は新人保育士の育成や園内研修の進め方に課題を感じている方が多く見受けられました。一方、初任主任保育士研修の集合型とオンライン型では課題感を感じている項目について大きな差は見受けられませんが中堅主任の受講者の方との違いとしては、『保育理念の浸透』という部分について、課題と感じている方が多く見受けられました。

■ 4-2. 事後課題より【保育上の課題と感じていること】（保育所長等研修）

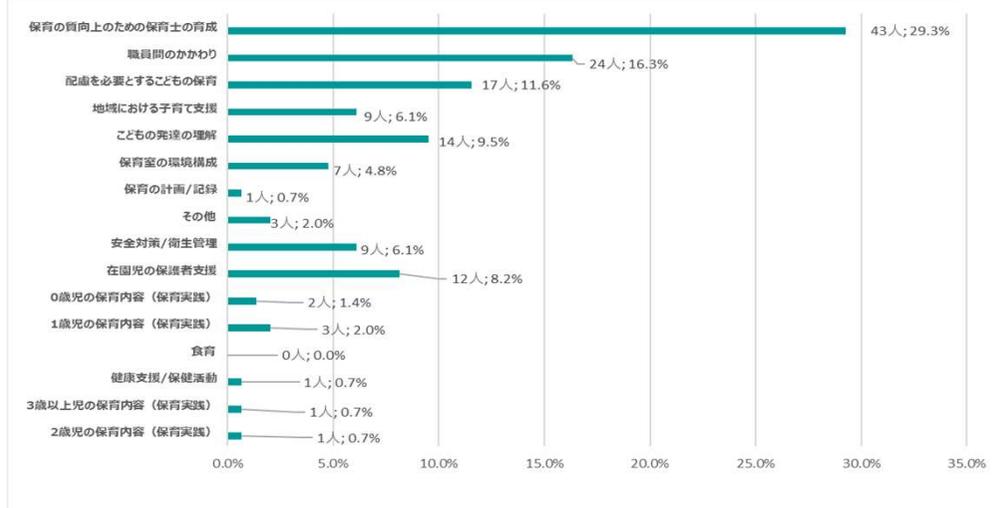
● 中堅保育所長等研修＜オンライン型＞



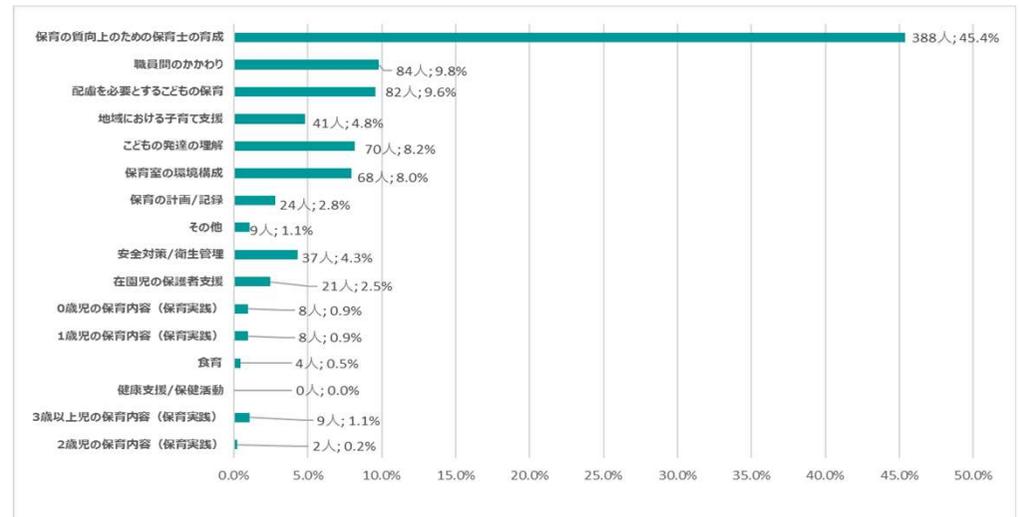
● 初任保育所長等研修＜集合型＞



● 初任保育所長等（就任予定者）研修＜オンライン型＞



● 初任保育所長等研修＜オンライン型＞



【保育上の課題と感じていること】

○共通して、保育の質向上のための保育士の育成が突出して高く、保育士の質向上に不可欠な育成について課題・悩みがあることが伺えます。

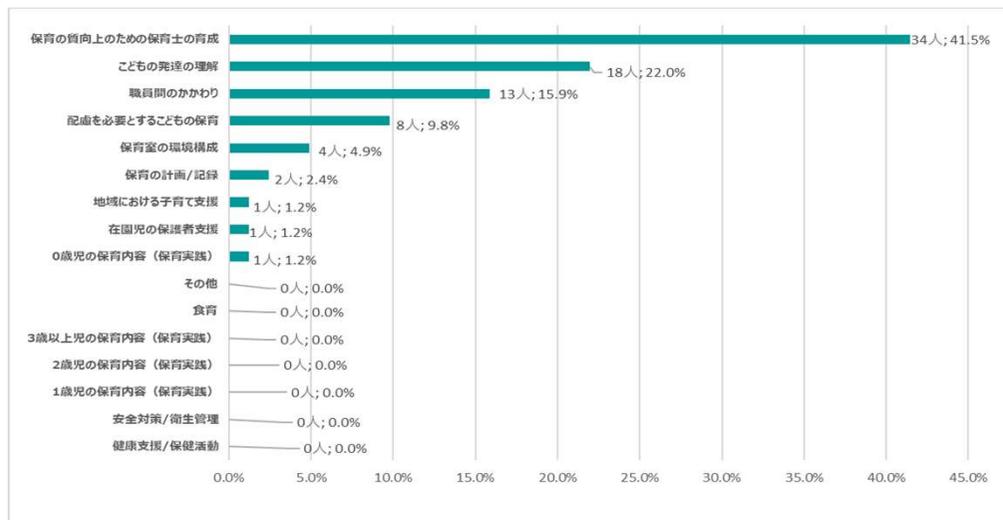
○2位にはいずれも職員間のかかわりが入っており、職員同士、または所長対職員等の人間関係での課題・悩みが多くあるといえます。

○3位には、中堅と就任予定者、初任保育所長＜オンライン型＞では『配慮を必要とするこどもの保育』の項目が入っており、配慮を必要とするお子様に対して悩んでいるようです。

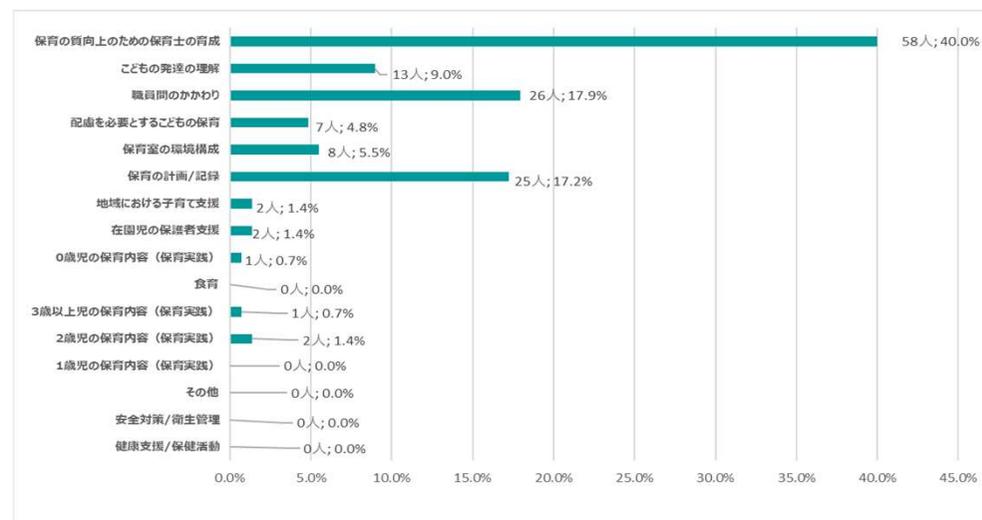
○初任保育所長＜集合＞では『地域における子育て支援』が3位となっており、開かれた保育所づくりについて模索されていることが感じられます。

■ 4-2. 事後課題より【保育上の課題と感じていること】（主任保育士研修）

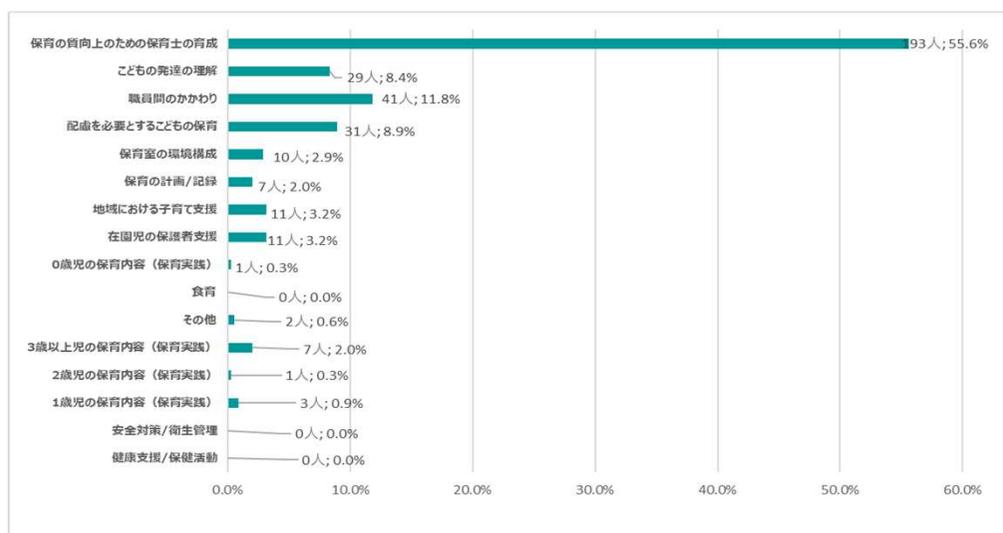
● 中堅主任保育士研修＜集合型＞



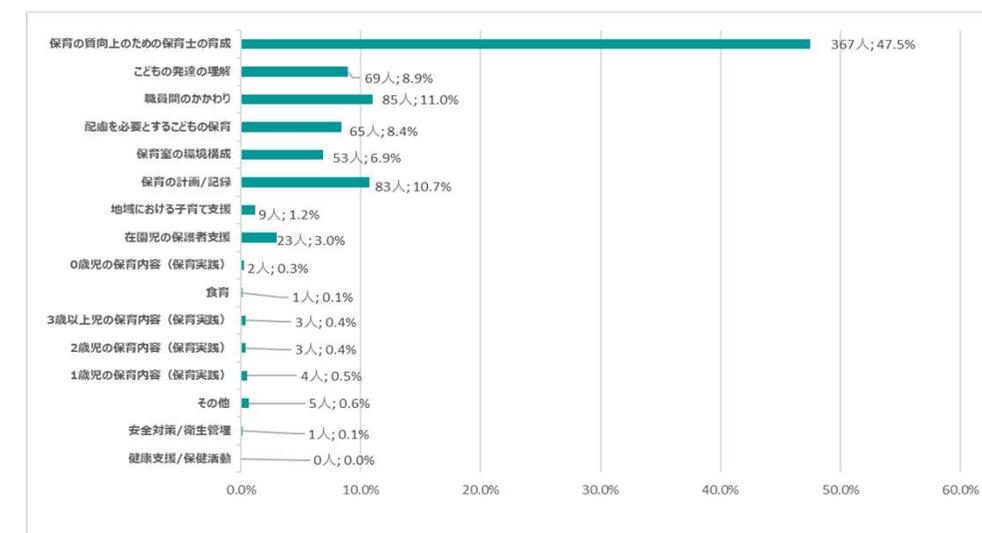
● 初任主任保育士研修＜集合型＞



● 中堅主任保育士研修＜オンライン型＞



● 初任主任保育士研修＜オンライン型＞

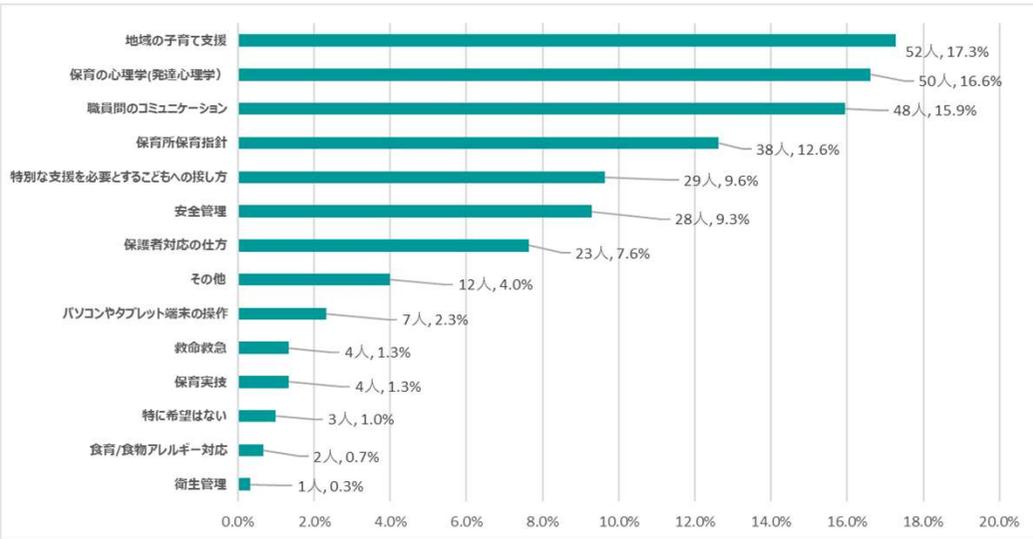


【保育上の課題と感じていること】

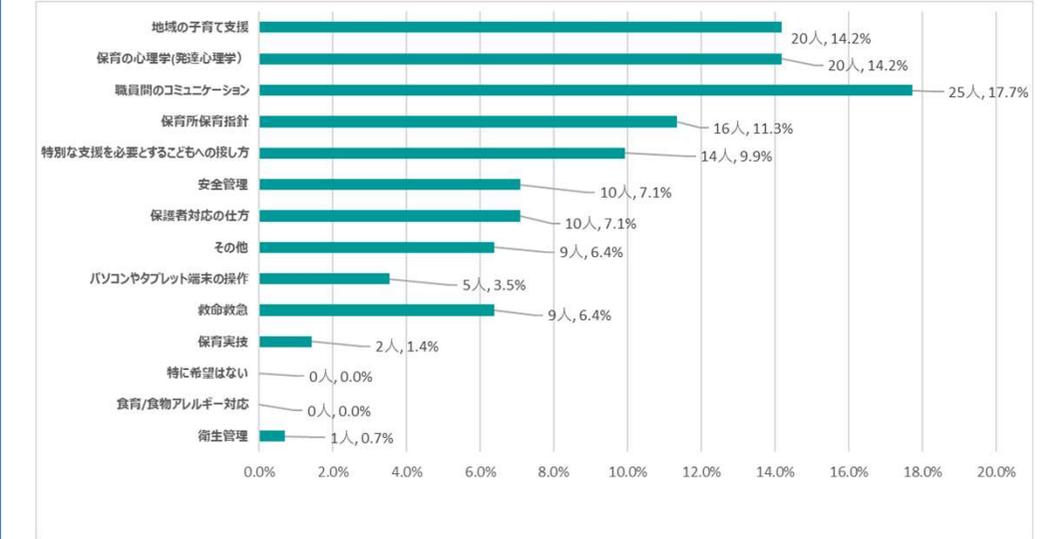
○保育所長と同様、中堅・初任主任とも『保育の質向上のための保育士の育成』が非常に高く、保育士の育成について課題・悩みがあることが伺えます。
 ○中堅主任保育士研修の集合型とオンライン型での課題認識の項目差については、オンライン型の受講者の方は育成に課題を感じている方が多く見受けられました。初任主任保育士研修の集合型とオンライン型では、集合研修に参加されていた方がより職員間のかかわりについて課題認識が高く、さらに『保育の計画と記録』という部分について、課題と感じている方が多く見受けられました。

■ 4-2. 事後課題より【今後習得を希望する知識・技能】（保育所長等研修）

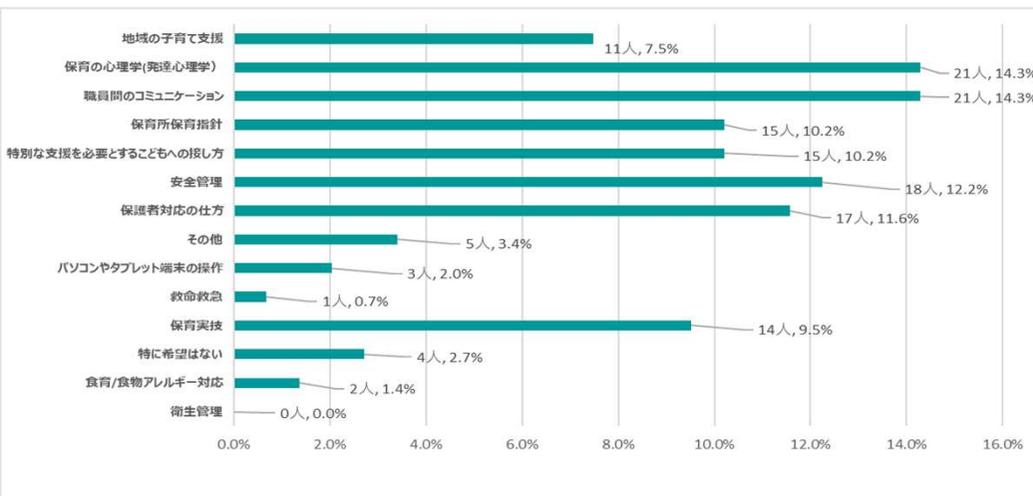
● 中堅保育所長等研修＜オンライン型＞



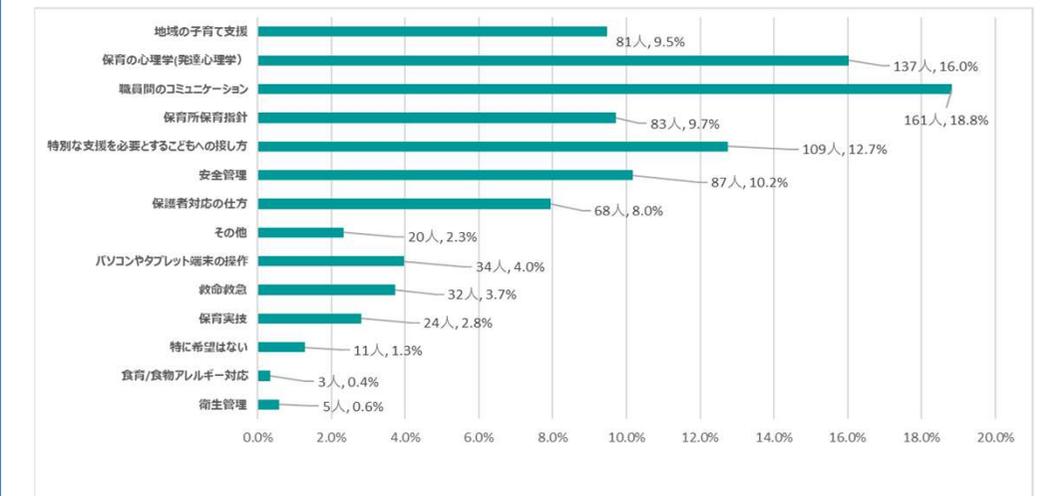
● 初任保育所長等研修＜集合型＞



● 初任保育所長等（就任予定者）研修＜オンライン型＞



● 初任保育所長等研修＜オンライン型＞

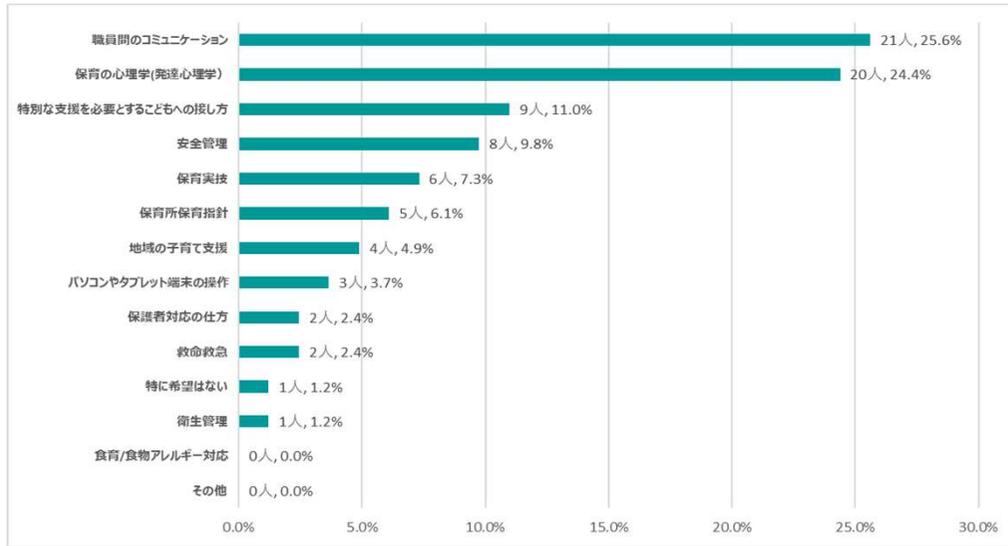


【今後習得を希望する知識・技能】

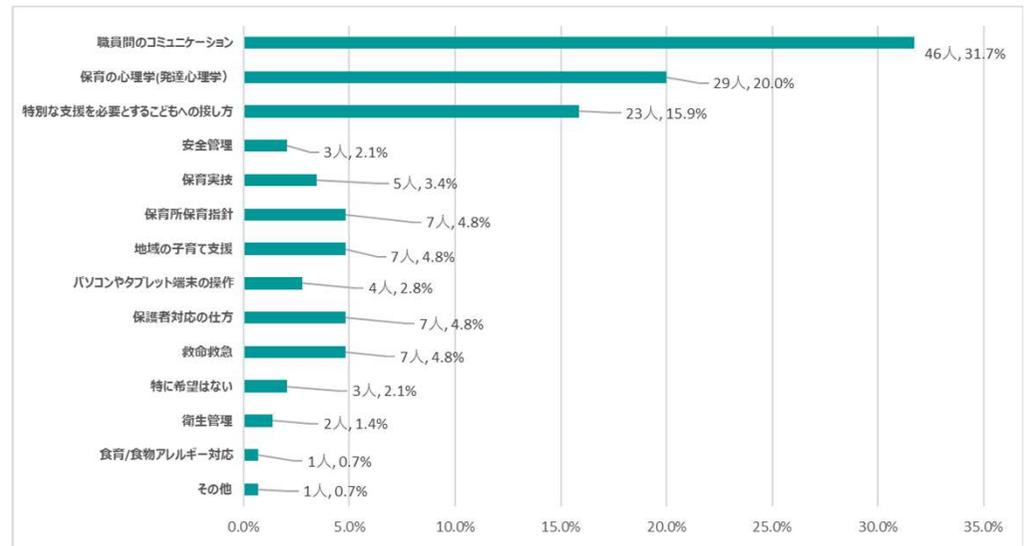
○中堅、初任ともにやや割合は違うものの『地域の子育て支援』『保育の心理学（発達心理学）』『職員間のコミュニケーション』が上位3つを占め、特に中堅所長では、『地域の子育て支援』がTOPとなりました。中堅所長は経験が長いので、すでに『職員間のコミュニケーション』については安定していることが伺えます。初任所長でも『地域の子育て支援』は上位にあがっており、時代の変化とともに、所長は「自園の運営」だけでなく「地域・家庭・行政との連携」を求められていることが考えられます。就任予定者では、『職員間のコミュニケーション』『保育の心理学（発達心理学）』に加えて『安全管理』が3位となっており、ガイドラインの研修を受けて『安全管理』への意識が高まっていることが伺えました。

■ 4-2. 事後課題より【今後習得を希望する知識・技能】（主任保育士研修）

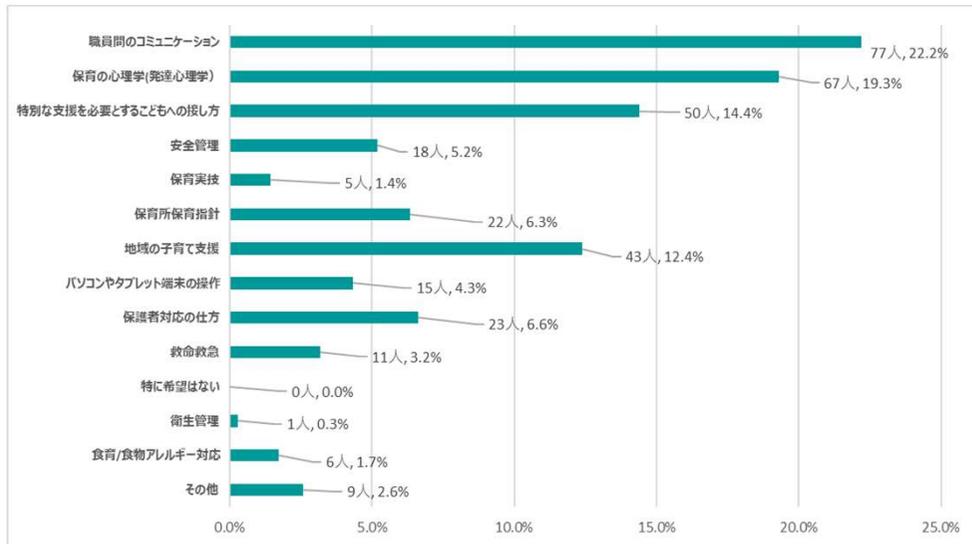
● 中堅主任保育士研修＜集合型＞



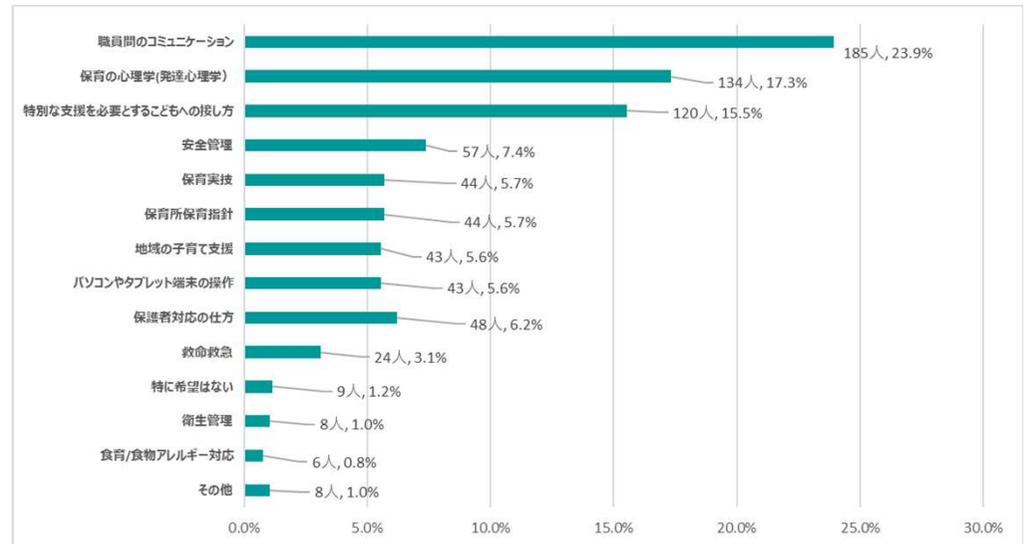
● 初任主任保育士研修＜集合型＞



● 中堅主任保育士研修＜オンライン型＞



● 初任主任保育士研修＜オンライン型＞

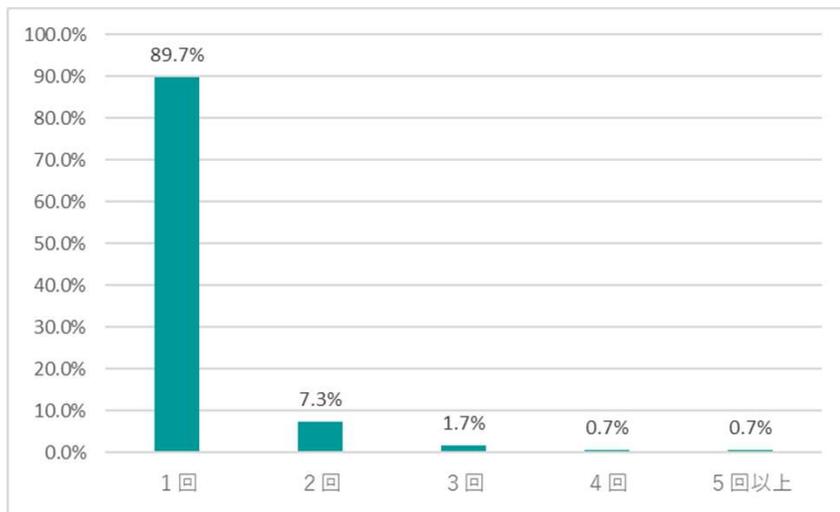


【今後習得を希望する知識・技能】

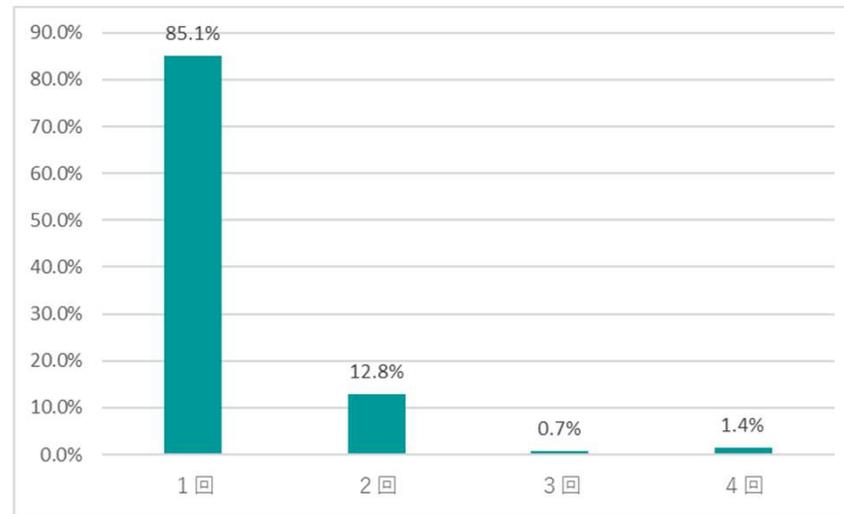
- 共通して、3位までの順位は変わりませんでした。特に『職員間のコミュニケーション』が最上位となり、主任の役割が中堅・初任共に若手育成・ベテランとの調整および意見対立・温度差の調整役であることが研修内のディスカッションや事後課題を通して感じられました。
- 『発達心理』『特別な配慮を必要とするこどもへの接し方』については、時間の関係もあり講義内容としてあまり触れる事ができていないため、科目の内容等でも知りたい内容として記載がありました。

■ 4-2. 事後課題より【今回の研修の参加回数】（保育所長等研修・保育所等実習指導研修）

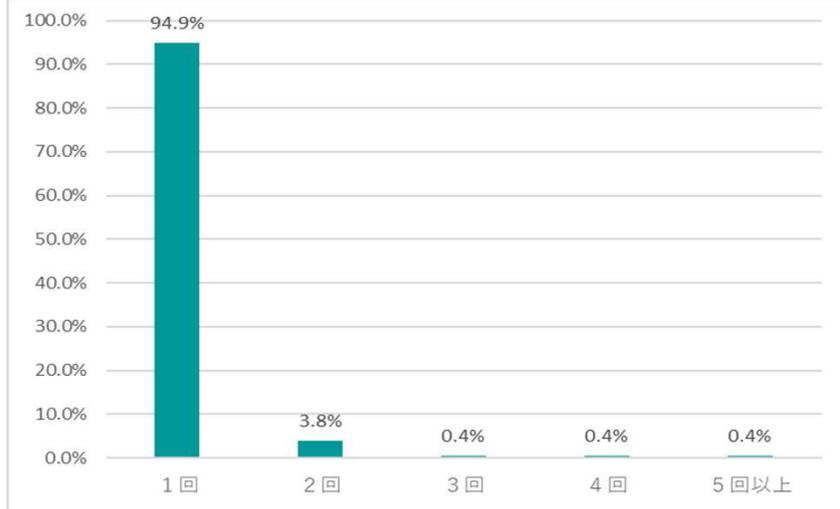
●中堅保育所長等研修<オンライン型>



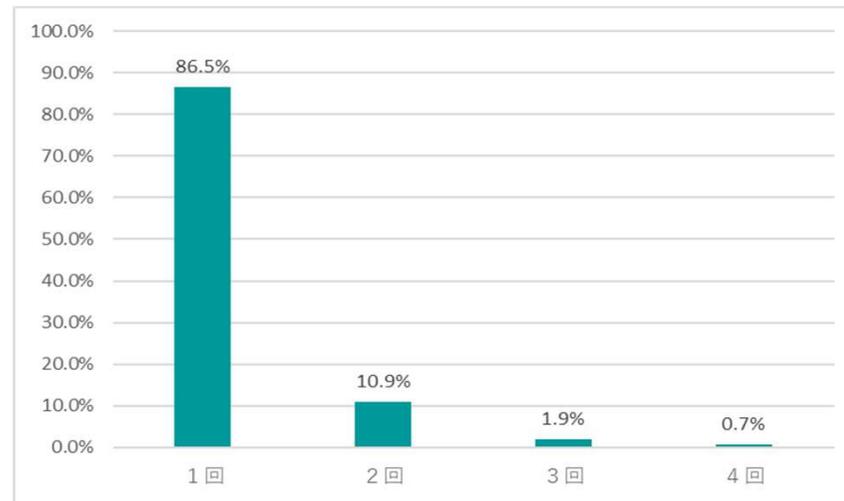
●初任保育所長等研修<集合型>



●保育所等実習指導研修<オンライン型>



●初任保育所長等研修<オンライン型>



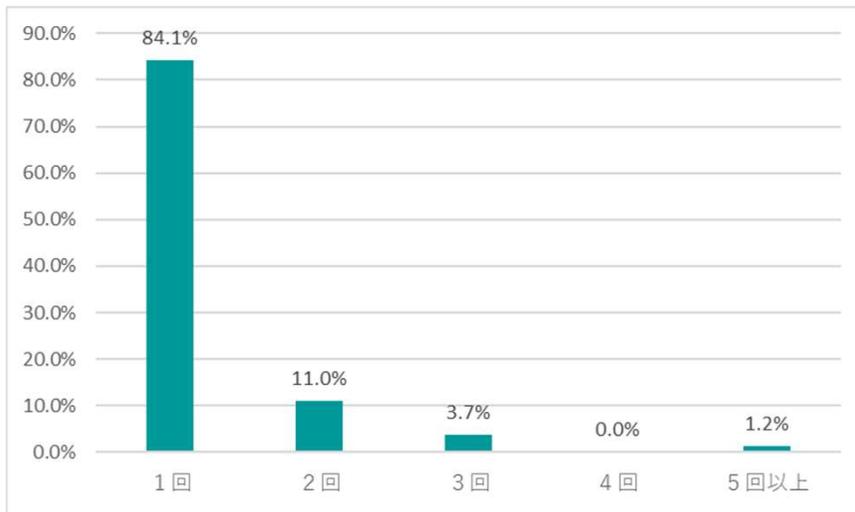
【今回の保育所長等研修の参加回数】

○所長等研修に関しては、複数回参加の方がいずれも一定数見受けられました。初任保育所長等研修では、毎年受講しているという熱心な方からの問い合わせもあり、中堅保育所長等研修でも今年も受講しましたというアンケートもあることから自己研鑽、キャリアアップのための参加の方が一定数いると思われまます。

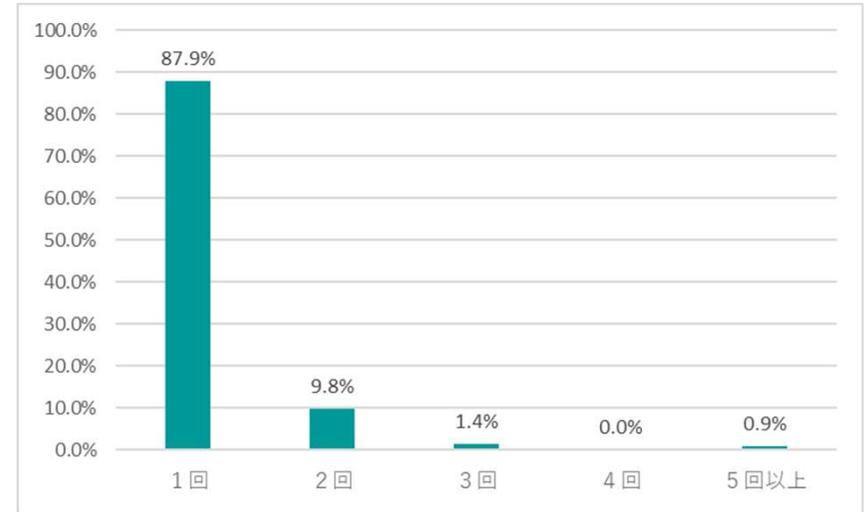
○実習指導研修に関しては、次ページに掲載の初任主任同様1回目の方が、圧倒的に多かったです。

■ 4-2. 事後課題より【今回の研修の参加回数】（主任保育士研修）

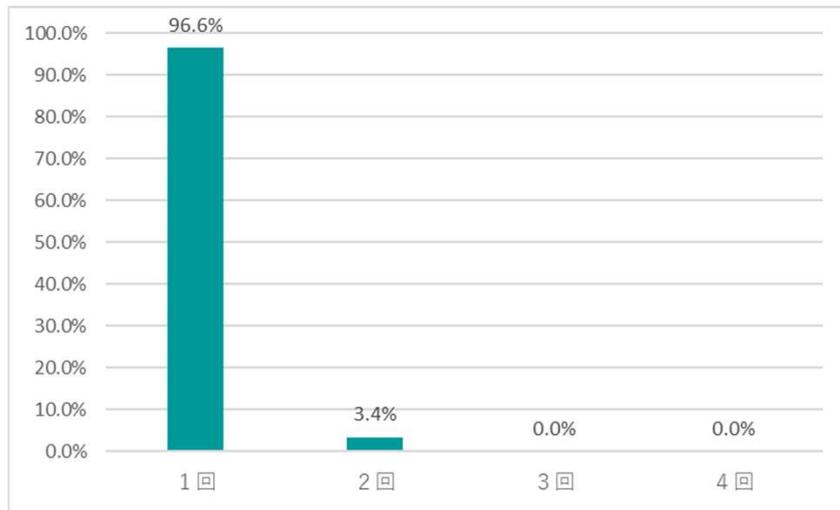
●中堅主任保育士研修＜集合型＞



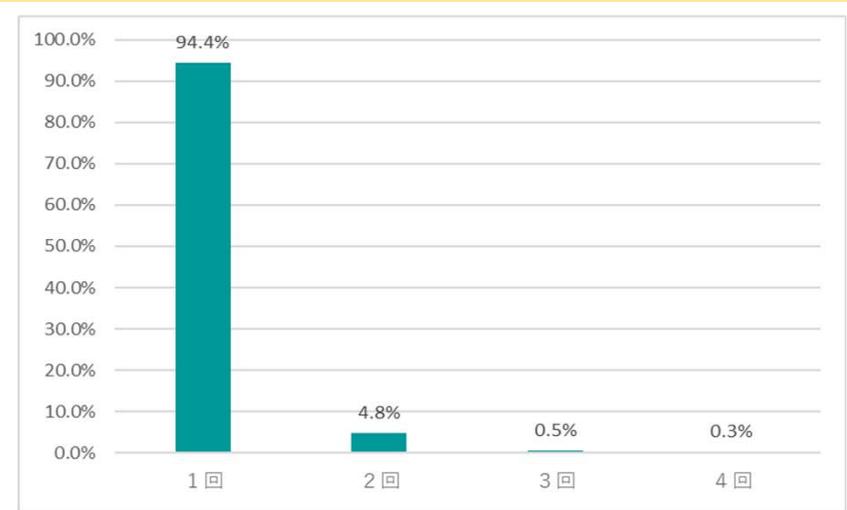
●中堅主任保育士研修＜オンライン型＞



●初任主任保育士研修＜集合型＞



●初任主任保育士研修＜オンライン型＞



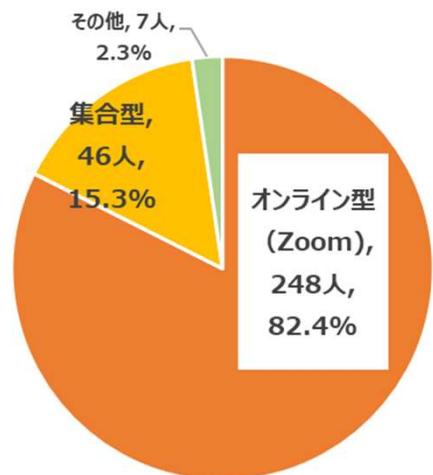
【今回の主任保育士等研修の参加回数】

○主任研修に関しては、集合型・オンライン型ともに中堅主任保育士研修の方が複数回参加の方がやや多く見受けられました。

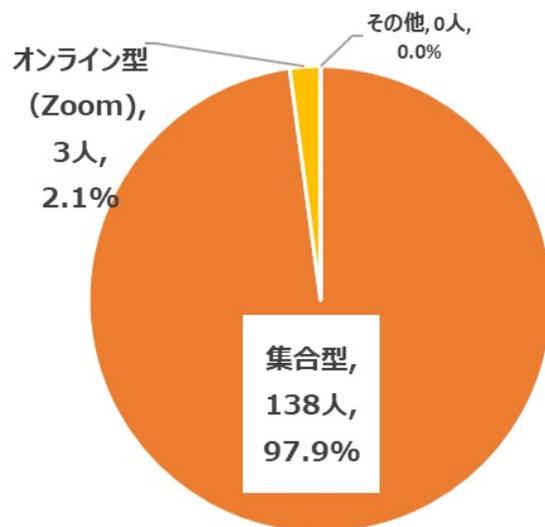
初任主任保育士研修は、経験年数による4回までの制約があることに加えて、募集人数を大幅に超え抽選になったことが要因と思われます。

■ 4-2. 事後課題より【今後の研修受講方法について】（保育所長等研修）

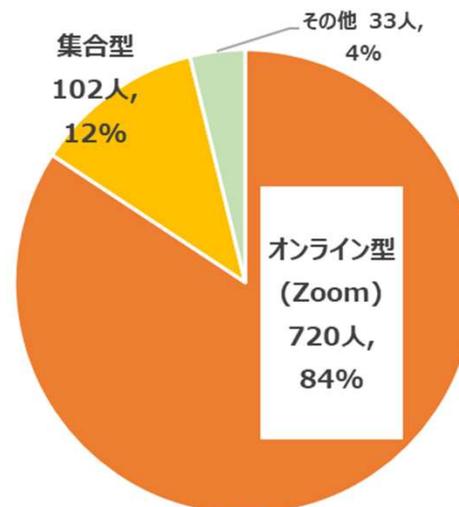
●中堅保育所長等研修
＜オンライン型＞



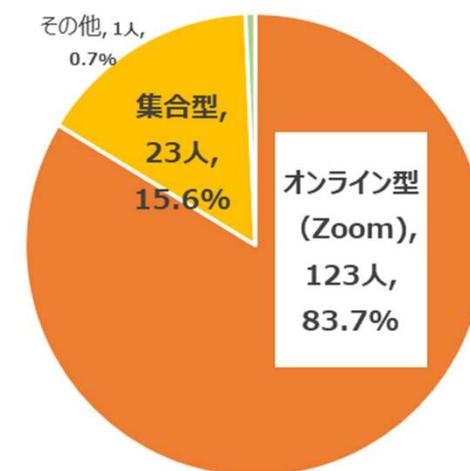
●初任保育所長等研修
＜集合型＞



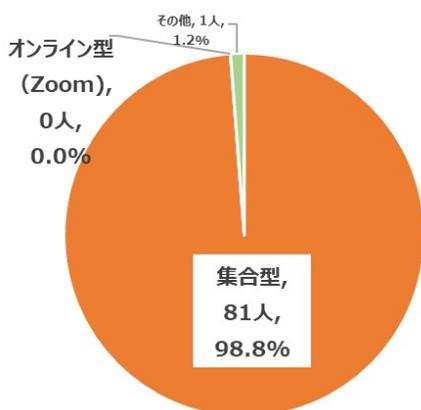
●初任保育所長等研修
＜オンライン型＞



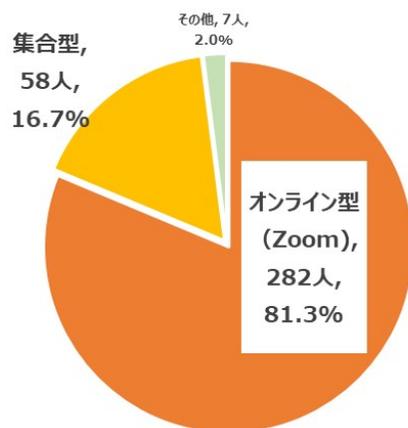
●初任保育所長等（就任予定者）
研修＜オンライン型＞



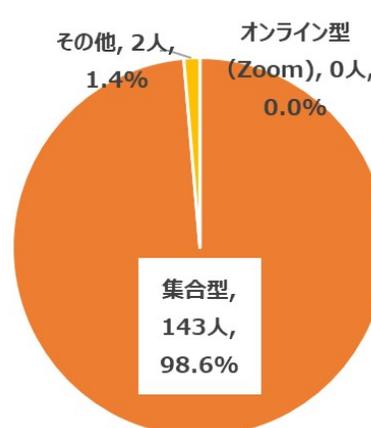
●中堅主任保育士研修
＜集合型＞



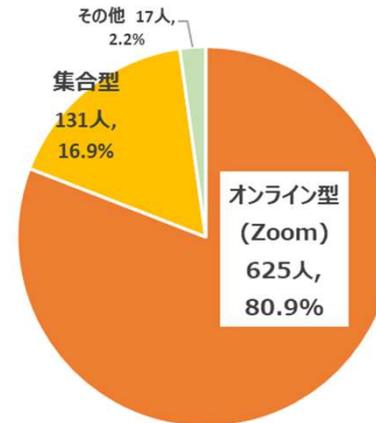
●中堅主任保育士研修
＜オンライン型＞



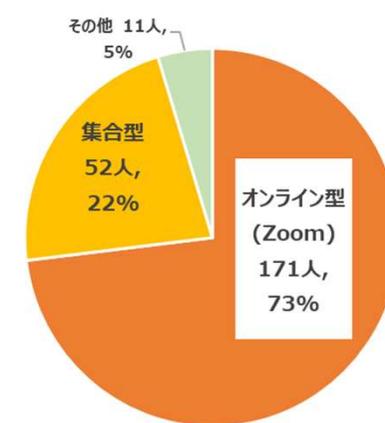
●初任主任保育士研修
＜集合型＞



●初任主任保育士研修
＜オンライン型＞



●保育所等実習指導研修
＜オンライン型＞



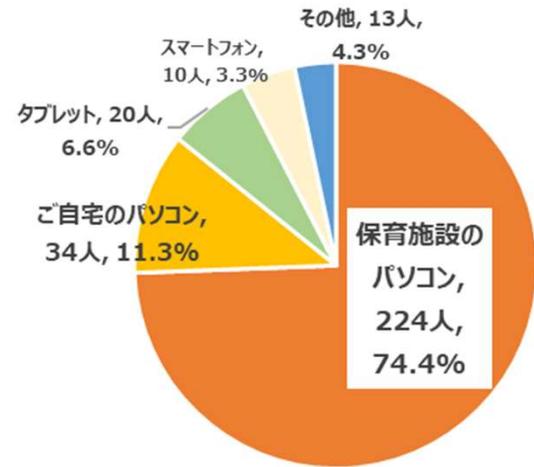
【今後の研修受講方法についての考察・所感】

○集合型研修参加の方は集合型研修、オンライン型研修参加の方はオンライン型研修を今後ご希望の傾向です。特に集合型研修についてはほぼ100%に近い方が今後も集合型研修希望という結果になりました。また、オンライン型研修受講の方も12%～22%が集合型研修を希望と回答されております。開催場所・状況が許せば集合型研修を受講したい層が一定層はいることが見受けられました。

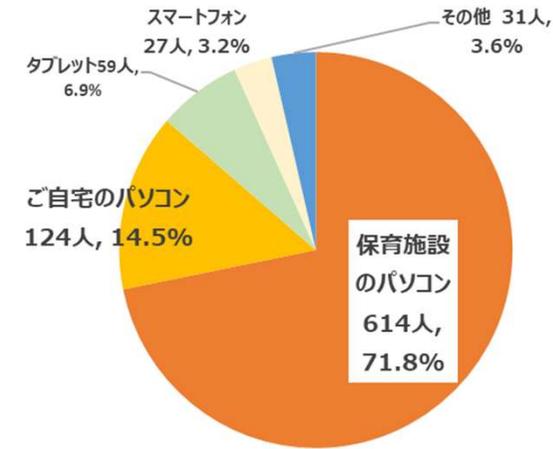
その他は、集合型とオンライン型の組み合わせ、オンデマンド型、研修内容によって両方から選択したい等となります。

■ 4-2. 事後課題より【3日間のオンライン型研修（Zoom）の受講で使用した機器は何ですか】

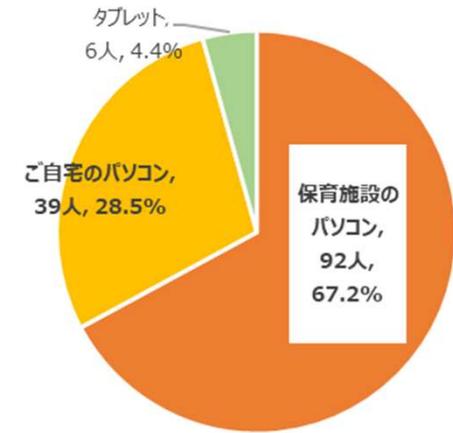
● 中堅保育所長等研修



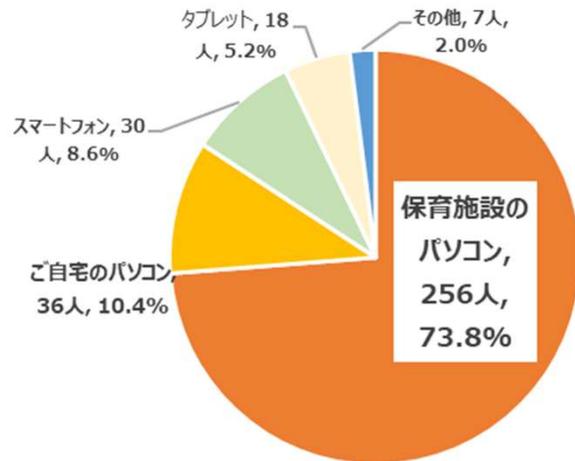
● 初任保育所長等研修



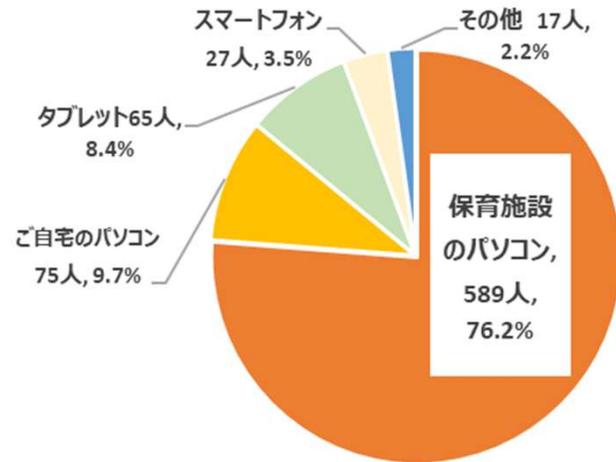
● 初任保育所長等（就任予定者）研修



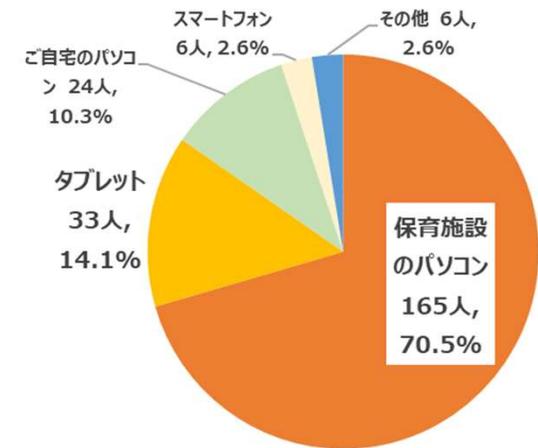
● 中堅主任保育士研修



● 初任主任保育士研修



● 保育所等実習指導研修



【オンライン型研修の受講使用機器についての考察・所感】

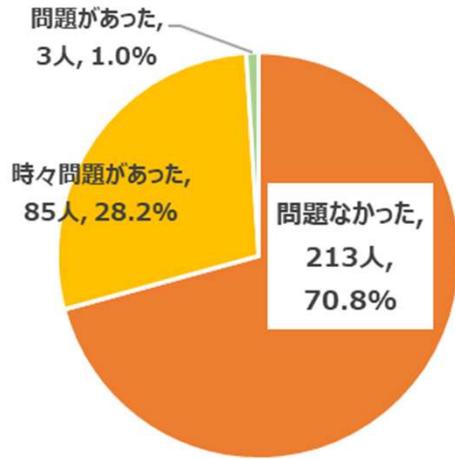
○いずれも保育施設のパソコンを使用しての受講者の方が67.2%～76.2%と多く、実習指導を除くと次いでご自宅のパソコン、タブレット、スマートフォンとなりました。

○実習指導では、タブレットが14.1%と2位となりました。

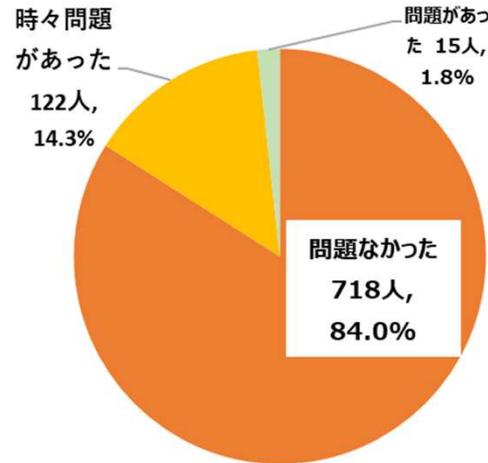
○その他は、自治体のパソコン、3日間で日により自宅のパソコンと施設のパソコンを両方使った等でした。

■ 4-2. 事後課題より【メインルームでの講義中に映像や音声について問題がありましたか】

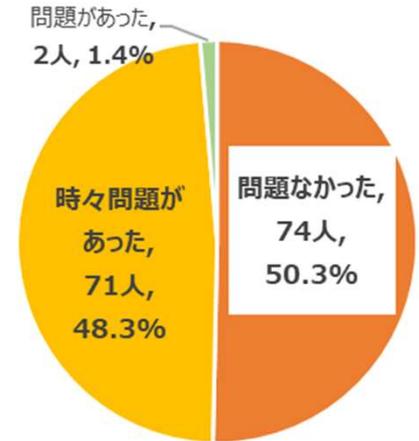
●中堅保育所長等研修



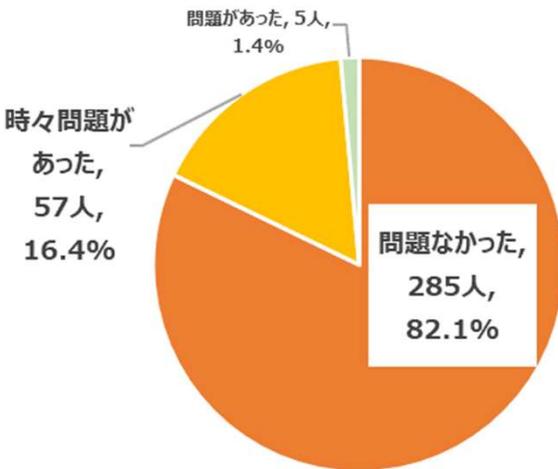
●初任保育所長等研修



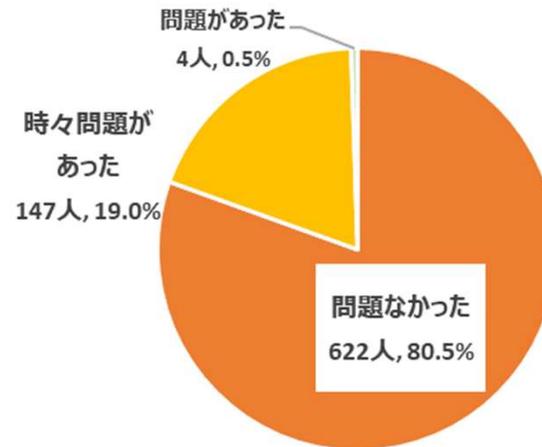
●初任保育所長等（就任予定者）研修



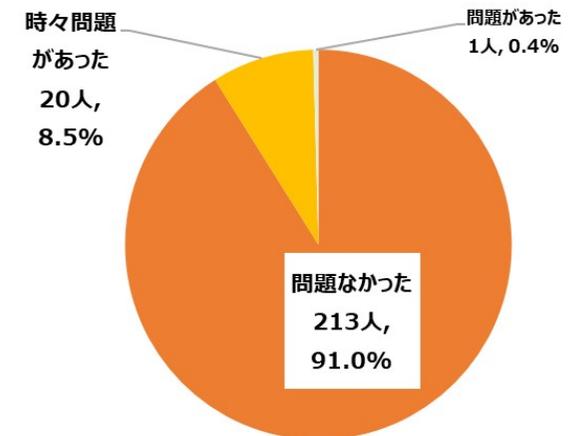
●中堅主任保育士研修



●初任主任保育士研修

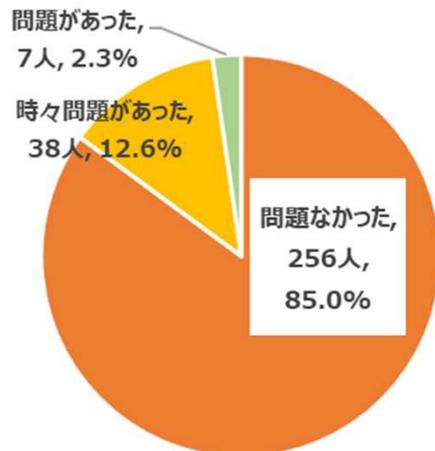


●保育所等実習指導研修

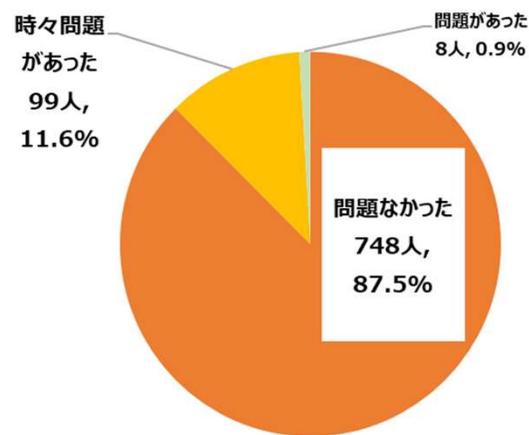


■ 4-2. 事後課題より【グループディスカッション中の映像や音声について問題がありましたか。】

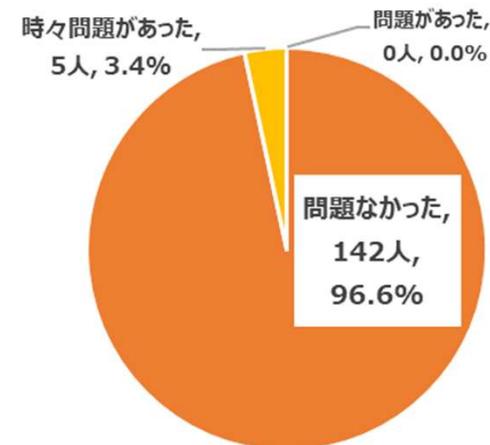
●中堅保育所長等研修



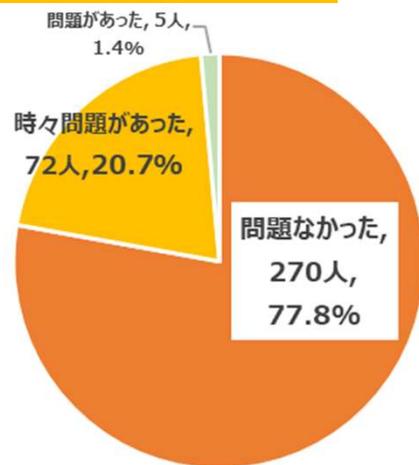
●初任保育所長等研修



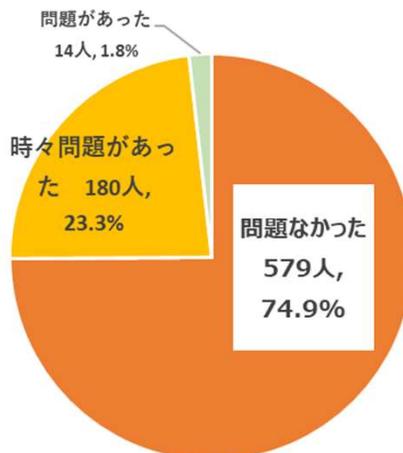
●初任保育所長等（就任予定者）研修



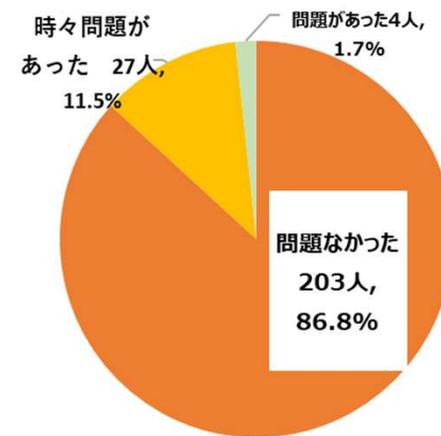
●中堅主任保育士研修



●初任主任保育士研修



●保育所等実習指導研修



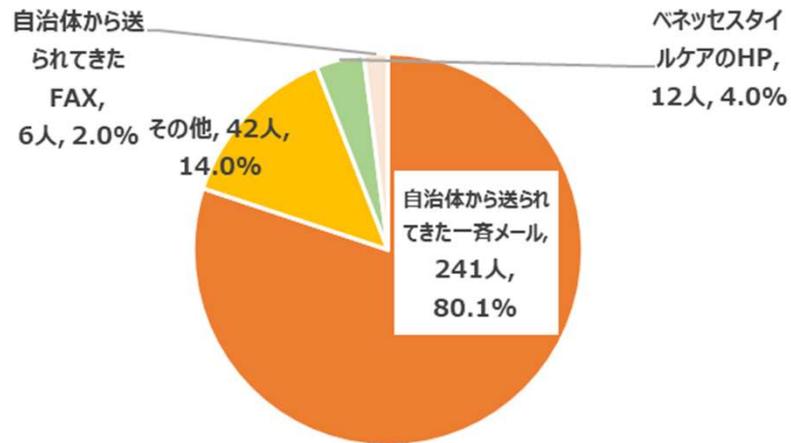
【オンライン型研修時における映像や音声について、講義中およびグループディスカッション中の不具合発生状況についての考察・所感】

○メインルームでの映像や音声については、就任予定者を除き、中堅所長が70.8%とやや低いものの80%~90%が『問題なかった』との回答でした。就任予定者の『時々問題があった』が48.3%については、一部の講師の方で通信環境の不具合で途中からビデオオフでの講義となった研修があったことが影響していると思われます。

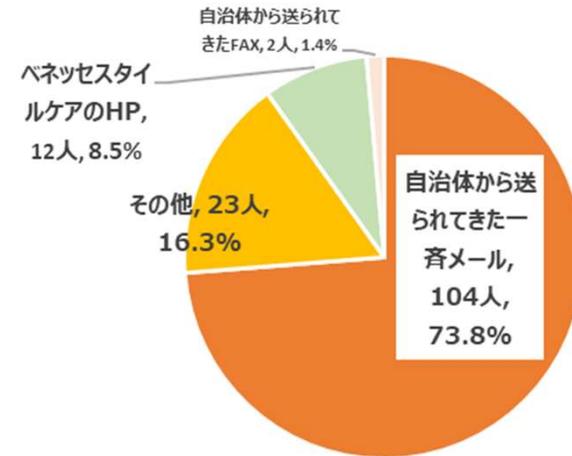
○グループディスカッション中の映像や音声については、『問題なかった』が74.9%~96.6%となりました。特に就任予定者が高いのは、グループディスカッションがなかったためと思われます。映像や音声については問題があった方は高くても2%に留まり概ね問題なく受講できた事が見受けられました。

■ 4-2. 事後課題より【実施を知ったきっかけをお選びください】（保育所長等研修）

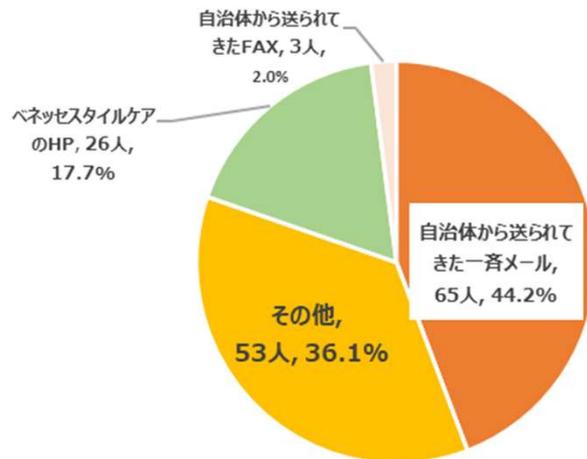
●中堅保育所長等研修<オンライン型>



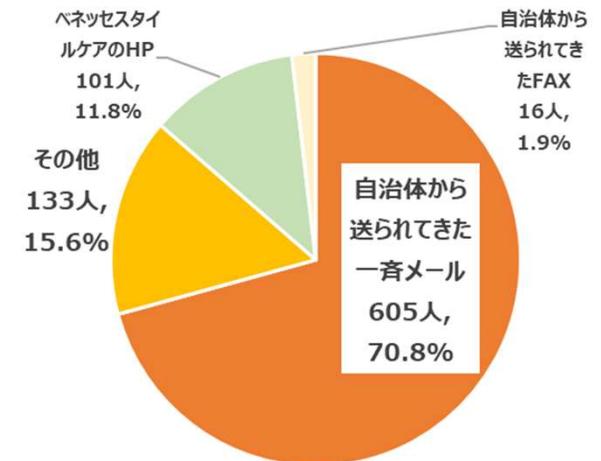
●初任保育所長等研修<集合型>



●初任保育所長等（就任予定者）研修<オンライン型>

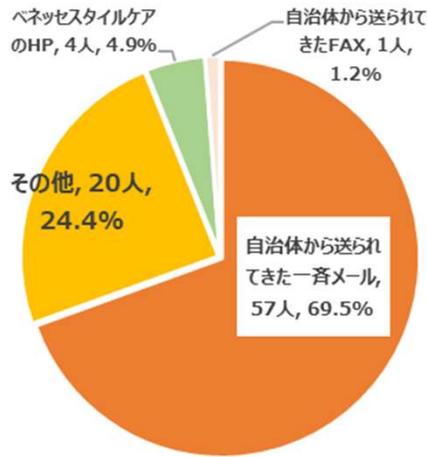


●初任保育所長等研修<オンライン型>

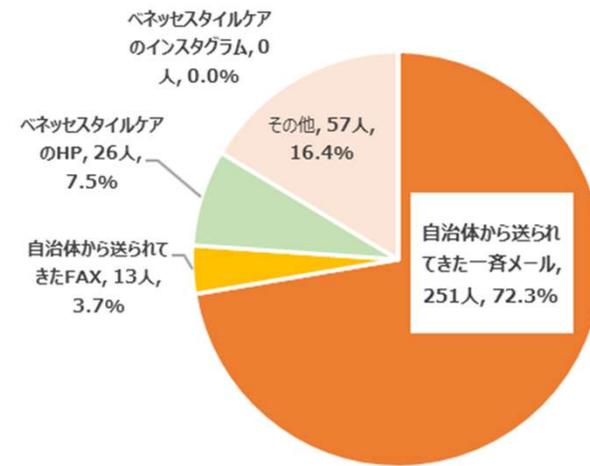


■ 4-2. 事後課題より【実施を知ったきっかけをお選びください】 (主任・保育実習)

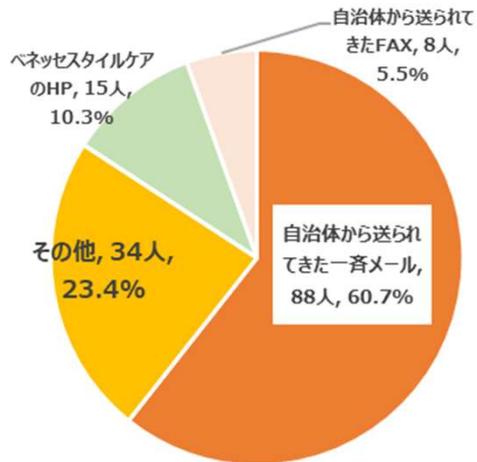
●中堅主任保育士研修<集合型>



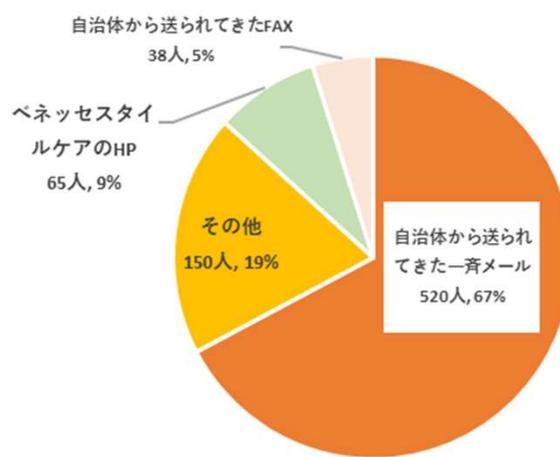
●中堅主任保育士研修<オンライン型>



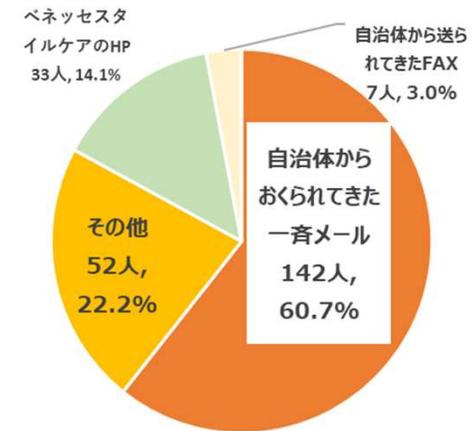
●初任主任保育士研修<集合型>



●初任主任保育士研修<オンライン型>



●保育所等実習指導研修<オンライン型>



【実施告知についての考察・所感】

- 就任予定者以外は、『自治体から送られてきた一斉メール』が圧倒的に多く、特に所長は中堅・初任共に70%を超えていました。
- 就任予定者は、本部から指示があった、上司から受講指示があった、行政から受けるよう指示があった等が多くありました。
- 主任は中堅のオンライン型以外は、その他の割合も多く、中でも園長からの薦め、法人からの指示等が多く見受けられました。
- その他の中では、昨年度受講できなかったで自分でチェックしていた。以前にも受講したので今年も自分で探したという方がいらっしゃいました。

おわりに

全研修とも、集合型、オンライン型含め、満足度に関して非常に高い研修となりました。

集合型研修では、講義が終わった後にも先生に質問をされる方や、受講者同士で連絡先の交換をされている様子もあり、受講者のニーズにあわせた講義内容、受講者同士の交流の場としての役割を担えた事で、受講者から『受講してよかった』という言葉が直接お声かけいただく事がありました。

オンライン型研修でも、受講者が多い状況ではありましたが、グループ討議の際のグループの組み方や、チャット等も活用しながら、オンラインであっても様々な園の運営や保育の様子を学べる研修を企画し、他の受講者の悩みや課題からも、自分事として捉え、研修を受講されている姿もあり、受講者の方から『明日からの園運営や保育につながる研修だった』とのご感想を頂戴しています。

なお、保育所等実習指導研修に関しては、各園の人材不足等の課題も重なり、最新の養成校の状況や講義内容を踏まえ、実習生の受け入れに関して、活発な議論や自園での受け入れの仕組みや受け入れ体制の整備等を行いたいと感じた受講者が多く、事後課題および、事前・事後の理解度の変化からも感じられました。

講義内容の高い満足度以外にも、利用の手引きや、オンライン利用の手引き、テキスト等の格納・参考資料等の提示など、『初めての参加でもわかりやすく、講義を受講する事ができた』『グループディスカッションで同じような施設規模・形態の方と話ができてよかった』という感想等を記入された受講の方もいらっしゃいました。運営側としても受講者の方にとって、不安を軽減し、快適に講義をご受講いただけるよう丁寧な対応を心掛け、昨年度の状況を踏まえ、工夫を行った事に対して、言葉をいただけたことは大変ありがたく感じています。

次年度以降も引き続き、保育の質向上をご支援できるように、今年度、受講者からいただきましたお声や記載内容を踏まえ、さらにブラッシュアップし、改善点等を整理し、さらによりよい研修が開催できるようにしていきたいと考えております。